

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	211	重要事業	総合戦略	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・1	新しい生活様式対応型事業者支援事業		0千円	96,615千円	5,000千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶5_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に新たな生活様式の取組みを実践する市内の中小企業者の事業継続及び事業拡大を支援することを目的とする。 <令和2年度> ①器具備品購入：10万円 ②設備投資：30万円 ③事業継続設備投資：100万円 ④新サービス開発：100万円 ⑤新技術研究開発：500万円 <令和3年度> ①器具備品購入：10万円 ②設備投資：30万円（施工業者は市内企業に限る）
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①器具備品購入：10万円 ②設備投資：30万円（施工業者は市内企業に限る） ③展示会出展補助：30万円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①器具備品購入：10万円 ②設備投資：30万円（施工業者は市内企業に限る） ③展示会出展補助：30万円	①器具備品購入、設備投資補助：30万円 ②事業承継促進化補助：50万円 ③中小企業経営相談補助：10万円	①器具備品購入、設備投資補助：30万円 ②事業承継促進化補助：50万円 ③中小企業経営相談補助：10万円
事業費		35,000	5,000	5,000
財源	国庫	30,000	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,000	5,000	5,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
	単位：件	実績値	0				
総合計画指標 製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
	単位：億円	実績値	-				
総合計画指標 小売業・卸売業の1店舗当たりの年間 商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
	単位：百万円	実績値	-				
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	5,000 千円	令和3年度決算額	38,490 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策の事業所支援の一つとして、新型コロナウイルス対策を講じた事業所に対し て掛かった費用の2/3を補助 申請件数：228件 補助額：96,615,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ①器具備品購入 193件 15,748,000円 ②設備投資 52件 12,924,000円 ③設備投資 58件 45,474,000円 ④新サービス開発 13件 7,469,000円 ⑤新技術研究開発 3件 15,000,000円 <p>○令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策の事業所支援の一つとして、新型コロナウイルス対策を講じた事業所に対し て掛かった費用の2/3を補助 申請件数：195件 補助額：38,490,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ①器具備品購入 148件 12,159,000円 ②設備投資 103件 25,270,000円 ③展示会出展 12件 1,061,000円 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低 政策の推進に寄与 している事業であ る	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低 適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水 準にある	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低 適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	コロナ対策を自主的に実施する事業者に対し費用の一部を補助することで、ウィズコロナ、アフターコロナ を見据えた新しい生活様式に対応していく事業者に多数の活用が図られた。			
課題	感染拡大防止に資する設備投資については市内施工業者に限っているのと同様に、器具備品に関しても購入 する業者を市内業者に限るか検討が必要。 新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、今後は全事業所において新しい生活様式に対応していかな ければならないとの意識づけが必要。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
令和5年 度事業計 画	・新型コロナの動向を見据え、必要な事業を展開していく			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考	※前年度比較			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	212	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・2	商業金融対策事業			775,555千円	745,061千円	1,575,735千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶5_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>目的：金融機関や県保証協会の協力を得て、市内中小企業者の信用力・担保力の不足を補い、融資を実施することにより、中小企業者への金融面からの支援と経営安定を図る。 また、コロナウイルスの影響により、資金繰りの圧迫を避けるべく、融資の充実に努み、臨機応変な支援を実施していく。</p> <p>内容：①小口資金保証料補助 ②経営安定資金保証料補助 ③商工業後継者育成利子補給金 ④経営安定資金利子補給金 ⑤経営振興資金利子補給金 ⑥創業融資利子補給金 ⑦金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑧制度融資損失補償金</p>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①小口資金保証料補助 ②経営安定資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金
事業費		1,575,735	1,441,160	800,000
財源	国庫	48,275	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,505,000	1,404,000	750,000
	一般財源	22,460	37,160	50,000

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	0				
総合計画指標	従業員1人当たりの付加価値額	1,194	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
		単位：万円	実績値	-				
総合計画指標	製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
		単位：億円	実績値	-				
			目標値					
			単位： 実績値					

【令和3年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,575,735千円	令和3年度決算額	238,218千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・小口資金保証料補助 R元：134件 3,081千円、R2：97件 1,468千円、R3：944千円 ・経営安定資金保証料補助（コロナウイルス対策として創設） R2：76件 27,234千円、R3：37件 8,882千円 ・商工業後継者育成利子補給金：H7以降実績なし ・経営安定資金利子補給（延件数）R元：20件、R2：80件、R3 33件 ・経営振興資金利子補給（延件数）R元：13件、R2：5件、R3 10件 ・創業融資利子補給（延件数）R元：72件、R2：19件 ・金融機関への金利ゼロによる預託金 小口資金融資預託金 R元：219件 167,102千円、R2：170件 120,850千円、R3 148件 89,768千円 経営安定資金融資預託金 R元：152件 163,290千円、R2：197件 530,663千円、R3 188件 617,861千円 経営振興資金融資預託金 R元：24件 69,399千円、R2：20件 48,947千円、R3 17件 30,138千円 ・制度融資損失補償金（件数）R元：2件、R2：1件、R3：0件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業者への運転資金や設備導入資金の融資により、経営の安定が図られた。 ・コロナ対応融資を創設し、事業者への融資に関する支援を実施できた。 ・創業者への融資に対する利子を補給することで、創業時の財政的な負担を軽減し、継続的な経営の支援を行った。
課題	①制度融資申請者数の減少傾向（制度内容の見直し） ②コロナウイルス対策に関する融資の検討（継続） ③代位弁済の発生
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	新型コロナウイルス対策として他の支援策が講じられる中、通常の制度融資の利用率の減少も見られる。 新型コロナウイルスが事業者へ与える影響を注視しつつ、制度融資と合わせた支援策を検討する必要がある。
令和5年度事業計画	①小口資金保証料補助 ②商工業後継者育成利子補給 ③経営安定資金利子補給 ④経営振興資金利子補給 ⑤創業融資利子補給 ⑥金融機関への金利ゼロによる預託金 ⑦制度融資損失補償金
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	213	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額（R2）	決算額（R2）	当初予算額（R3）	
7・1・3	工業振興対策			7,232千円	3,196千円	7,182千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進
	▶3_企業の連携・事業承継の支援
	▶4_産学官連携の推進
	▶5_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○工業技術・技能向上対策：商工業が盛んなまちになるため、本市の大部分を占める中小企業が必要とする技術力の向上を支援する。 ○工業販路拡張対策：商工業が盛んなまちになるためには、工業製品の販路の拡張や、新製品・新技術の開発が必要であり、それらに取組む中小企業を支援する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等 ○工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	○工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成 等 ○工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、DX技術革新補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金 等			
	事業費	7,182	7,484	7,484
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	20	20	20
	一般財源	7,162	7,464	7,464

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標 企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	4	目標値	4	8	12	16	20
	単位：件	実績値	0				
総合計画 指標 従業員1人当たりの付加価値額	1,194	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
	単位：万円	実績値	-				
総合計画 指標 製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
	単位：億円	実績値	-				
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,182 千円	令和3年度決算額	1,950 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○工業技術・技能向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師派遣委託：安全体験研修講師派遣委託（参加者数） R元/12企業37名、R2/コロナにより実施できず、R3/コロナにより実施できず ・中小企業経営相談委託：専門家の派遣、指導等の実施 R元/3件 90,000円、R2/コロナにより実施できず、R3/コロナにより実施できず ・人材養成事業助成金：対象経費の1/2、上限30,000円/1企業 R元/0件、R2/6社 87,000円、R3/1社 11,000円 ・産学官研究サポート助成金 R元/2件/1,000千円、R2/実績なし、R3/実績なし <p>○工業販路拡張対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会活用支援助成金（件数/交付額） R元/2件/173千円、R2/コロナの影響によりイベント中止、R3/1件/97千円 ・工業製品開発改善研究事業費補助金（件数/交付額） R元/実績なし、R2/実績なし、R3/実績なし ・たてばやしブランド商品化支援補助金（件数/交付額） R元年度/8件/1,984千円、R2年度/7件/2,134千円、R3年度/2件/1,000千円 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	○工業技術・技能向上対策：事業の承継や労働者の技術習得は、市内企業の振興に必要なである。 ○工業販路拡張対策：新製品・新技術の開発、展示会出展に支援することで、市内企業の技術力向上や販路拡大へつなげることが必要である。 ※コロナの影響で実績が減少しているが、事業へのきめ細やかな支援が一層必要である。
課題	○工業技術・技能向上対策：事業主の高齢化による事業・技術の承継が必要である。また、技術習得及び危機管理意識の向上を図る必要がある。 ○工業販路拡張対策：利用企業が固定化してきているため、周知方法の検討が必要である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） 新型コロナウイルスの影響で各事業の利用が減少するなどの影響が生じている。 既存事業を継続しつつも、状況に応じた対応が必要である。
令和5年度事業計画	○工業技術・技能向上対策 講師派遣委託、中小企業経営相談委託、人材養成助成、産学官サポート助成等 ○工業販路拡張対策 展示会活用支援助成金、ぐんま技術革新チャレンジ補助金、たてばやしブランド商品化支援補助金等
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	214	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・8	企業誘致・支援事業			2,199千円	769千円	1,149千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶17_新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる
施策の方向	▶2_企業の誘致・拡張の推進
	▶3_企業の連携・事業承継の支援
	▶4_産学官連携の推進
	▶5_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>目的：地域の産業集積向上と経済活性化を図るため、新たな工業団地の開発、工場用地等の利用促進、企業立地優位性のPRにより、企業誘致を推進する。</p> <p>内容：本社機能を誘致し、新たな雇用を創出するとともに、社員の移住促進により人口増加を図る。市内企業との連携を強化し、経営の安定・向上を支援するとともに、良好な関係を築くことによって市外への流出を防止する。</p> <p>内容：団地開発の各種手続き、立地環境のPR、立地希望企業と宅建業者等のマッチング、本社機能誘致移住奨励金交付、企業訪問を通じた情報交換・要望把握、企業の業績安定・向上への支援等</p>
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・立地希望企業と宅地建物取引業者とのマッチングや、工場用地等の情報収集・提供により、企業立地の促進及び工業系用地の有効活用を図る。
- ・本市の優れた立地環境を広く東京圏の企業にアピールし、更なる企業立地を推進する。
- ・新たな団地開発・分譲と整合した時期に合わせ、誘致に向けた優遇制度を検討する。
- ・団地内企業や団地外主要企業（従業員30名以上）を定期的に訪問し、要望把握や情報交換を行い、経営の安定・向上を支援する。
- ・同意を得られた企業の情報を市ホームページや企業立地マップで発信・PRすることにより、企業の受注機会拡大を支援する。
- ・工場立地法に基づく地域準則条例（敷地面積に対する緑地・環境施設の面積率緩和）を周知し、土地の有効活用による建替えや増設を促し、設備投資の拡大につなげる。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	事業費	1,149	1,149	1,149
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,149	1,149	1,149

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	0				
総合計画 指標	従業員 1人当たりの付加価値額	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
		実績値	-				
総合計画 指標	製造品出荷額	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,149千円	令和3年度決算額	129千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○新たな工業団地開発 R元：大島地区ほ場整備及び団地開発区域を決定 R2：業務分担協議、土壤調査、環境アセスメント	○企業誘致パンフレット作製 R元：実績なし R2：実績なし R3：実績なし	○分譲済団地の操業支援 R元：東洋水産(株)総合研究所への継続支援、大同薬品工業(株)が竣工 R2：東洋水産(株)総合研究所への継続支援	○企業訪問件数 R元：20社（訪問対象企業数160社） R2：コロナの影響で訪問実績はなし（訪問対象企業数160社） R3：コロナの影響で訪問実績はなし（訪問対象企業数160社）
	○本社機能誘致移住奨励金 R元：申請件数19件、支給金額2,225,000円 R2：申請件数5件、支給金額550,000円 R3：実績なし	○市ホームページを利用した団地内企業の紹介 R元：84社の情報発信（団地内対象企業102社） R2：84社の情報発信（団地内対象企業102社） R3：実績なし	○ぐんま企業立地セミナー参加 R元：群馬県が実施せず、中止 R2：コロナの影響で実施せず R3：群馬県が実施せず、中止	○館林市立地企業マップ作製 R元：実績なし R2：実績なし R3：実績なし

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 高</div> <div style="width: 30%;">政策の推進において不可欠な事業である</div> <div style="width: 30%;"><input checked="" type="checkbox"/> 中</div> </div>	政策の推進に寄与している事業である <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> <div style="width: 30%;">目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある</div> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> </div>
事業の有効性 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 高</div> <div style="width: 30%;">成果が高水準にある</div> <div style="width: 30%;"><input checked="" type="checkbox"/> 中</div> </div>	適切な成果が得られている <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> <div style="width: 30%;">成果が低水準にある</div> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> </div>
事業の効率性 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 高</div> <div style="width: 30%;">費用対効果が高水準にある</div> <div style="width: 30%;"><input checked="" type="checkbox"/> 中</div> </div>	適切な費用対効果が得られている <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> <div style="width: 30%;">費用対効果が低水準にある</div> <div style="width: 30%;"><input type="checkbox"/> 低</div> </div>
評価根拠	本市には企業立地優位性があり、継続的に企業からの引き合いもあることから、進出を希望する企業からの要望に応じられるよう、団地開発計画の事業化を推進し、企業誘致を図る必要がある。 地域経済の活性化のためには、新たな企業を誘致するだけでなく、既存企業の経営安定・向上を支援し、市外への流出を防止していく必要がある。企業にとってのワンストップ窓口として、情報交換や要望把握に努め、連携を強化していかなければならない。
課題	大島地区産業団地の造成が進められているが、団地造成と企業誘致を別の部署で進めていることによる弊害があり、事務分掌や人員配置の見直しが必要と考える。 現時点で企業が進出可能な大規模用地が存在しないことから、分譲可能な時期を迎えるまでは宅建業者と連携し、工業系用地の有効活用を推進しなければならない。 既存企業の業績安定や向上、市外への流出防止のため、情報交換や要望把握に努め、可能な限り協力・支援を行うことにより、連携強化を図っていかなければならない。
【Action】 今後の方向性・内容	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（<input type="checkbox"/> 一部廃止） </div> 団地造成と企業誘致を一体的に推進していくことで、進出希望企業に対する継続的なアプローチが必要である。 企業からの引合いが多数寄せられている現状を見る限り、分譲地の売れ残りという不安はあるものの、今後も団地開発を進める必要がある。 進出企業に対する優遇制度を充実させることで、優良企業の進出を促進する
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 工業団地開発に向けた庁内関係課や県と協議、調整（但し、担当は別部署） 企業立地マッチング促進事業、工場用地等情報提供事業の実施 企業誘致パンフレットの更新、配布 本社機能誘致移住奨励金 団地内企業及び団地外主要企業の訪問 団地内立地企業を紹介するホームページの更新 立地企業マップの更新、配布
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	215	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
6・1・4	林業振興対策事業			0 千円	0 千円	135,000 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	力のある経営者を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するため、資源の高度利用を図る施策の実施、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等を推進を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①林業振興対策事業
○林業・木材産業成長産業化促進対策補助金
木材の加工及び流通コストの削減等による林業・木材産業の成長産業化を図るため、市内林業経営体に対し、高性能林業機械の導入や、木材加工流通施設等の整備にかかる経費の一部を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①林業振興対策事業 ○林業・木材産業成長産業化 促進対策補助金		事業廃止	事業廃止
	事業費	135,000		
財源	国庫	0		
	県費	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	135,000		

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標 担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
	単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標 農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
	単位：千万円	実績値	554				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	135,000 千円	令和3年度決算額	119,637 千円											
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■林業振興対策事業 木材の加工及び流通コストの削減等による林業・木材産業の成長産業化を図るため、市内林業経営体に対し、高性能林業機械の導入や、木材加工流通施設等の整備にかかる経費の一部を補助した。 補助率：事業費の1/2以内（千円未満切り捨て） 事業実施主体：(株)長谷川萬治商店 代表取締役 執行役員社長 長谷川健治 本社：東京都江東区富岡2-11-6 館林事業所：群馬県館林市大島町6007（館林東部工業団地内）</p> <p>事業費の内訳：</p> <table style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>直交集成板大断面集成材兼用加工装置</td> <td style="text-align: right;">222,300千円</td> </tr> <tr> <td>直交集成板大断面集成材兼用加工搬送等装置</td> <td style="text-align: right;">40,000千円</td> </tr> <tr> <td>集塵装置</td> <td style="text-align: right;">6,100千円</td> </tr> <tr> <td>コンプレッサー装置</td> <td style="text-align: right;">1,600千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">270,000千円</td> </tr> </table>				直交集成板大断面集成材兼用加工装置	222,300千円	直交集成板大断面集成材兼用加工搬送等装置	40,000千円	集塵装置	6,100千円	コンプレッサー装置	1,600千円	合 計	270,000千円
直交集成板大断面集成材兼用加工装置	222,300千円													
直交集成板大断面集成材兼用加工搬送等装置	40,000千円													
集塵装置	6,100千円													
コンプレッサー装置	1,600千円													
合 計	270,000千円													

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	木材加工流通施設の機械導入等の取組みであり、林業の無い本市の農業振興への影響は限定的である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	機械等の導入を計画する事業実施主体があれば同様に支援する。					
令和5年度事業計画	事業予定なし					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	216	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・1	商工総務			5,478千円	4,453千円	6,150千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶3_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅リフォーム資金助成金：経済対策として、市内経済の活性化に資するとともに、住宅環境の改善及び移住定住の促進を図る。 ○移住定住促進リフォーム資金助成金：基本は住宅リフォームと同じであるが、移住定住促進を図ることを目的に、市内物件を取得し、市外から市内に居住した方を支援する。 ○多世代同居支援助成金：経済対策として、多世代同居のための個人住宅リフォーム工事を行った者に対し助成金を交付することで、移住者・定住者への移住支援を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ○住宅リフォーム資金助成金 <ul style="list-style-type: none"> 市内の住宅のリフォーム工事に対し助成金を交付する。 ・助成対象者：本市に居住し、当該住宅に居住している者 ・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上） ・助成対象工事：20万円以上（消費税込）で市内に本店のある事業者が施工する工事 ・助成金の額：助成対象経費の10分の1に相当する額とし、3万円を限度とする。 ○移住定住支援リフォーム資金助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・助成対象者：本助成を申請する日の属する年度の3月末日までにリフォーム工事を完了し、本市に転入し、居住する者 ・助成対象住宅：市内に存する住宅（築年数5年以上） ・助成対象工事：20万円以上（消費税込）で市内に本店のある事業者が施工する工事 ・助成金の額：助成対象経費の3分の1に相当する額とし、30万円を限度とする。 ○多世代同居支援助成金 <ul style="list-style-type: none"> 住宅リフォーム資金助成金の交付決定を受けた者で、個人住宅リフォーム工事完了後、速やかに多世代同居すること。 ・助成金の額 一律15万円とする。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム資金助成金 ・移住定住促進リフォーム資金助成金 ・多世代同居支援助成金 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム資金助成金 ・移住定住促進リフォーム資金助成金 ・多世代同居支援助成金 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム資金助成金 ・移住定住促進リフォーム資金助成金 ・多世代同居支援助成金
	事業費	6,150	6,150	6,150
財源	国庫	0	0	0
	県費	194	194	194
	市債	0	0	0
	その他	694	694	694
	一般財源	5,262	5,262	5,262

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	企業立地及び設備投資件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	4	8	12	16	20
		実績値	0				
総合計画 指標	従業員1人当たりの付加価値額	目標値	-	1,208	1,215	1,222	1,230
		実績値	-				
総合計画 指標	製造品出荷額	目標値	-	2,843	2,843	2,844	2,845
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	6,150 千円	令和3年度決算額	4,991 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム資金助成金 (件数/交付額) R元: (56件/1,630千円:うち市外から転入0件/ 0千円) R2: (53件/2,183千円:うち市外から転入3件/ 728千円) R3: (64件/2,207千円:うち市外から転入2件/ 383千円) ・多世代同居支援助成金 (件数/交付額/同居者数) ※H28年度から実施 R元: (実績なし) R2: (3件/450千円/同居者7名:うち市外から転入4名+市内3名) R3: (2件/300千円/同居者5名:うち市外から転入3名+市内2名) 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市内中小事業者の仕事を生み出し、地域経済の循環を目的とした施策としてH23年度から実施しており、一定の経済効果を達成できたと考える。					
課題	利用者の状況を見る限り、リフォームが必要な方が少しでも費用の足しになればということで利用しているケースが多いようである。そのため、市内事業者の価格と市外事業者の価格を比較してメリットが感じられない場合には利用されにくい。 今後、住環境の改善や移住定住促進を前提とした支援をする場合は、空き家への助成等、住宅施策などと統合した形で進めていくことも必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	経済対策としてのリフォーム支援制度を見直し、空き家の利活用・移住定住促進を目的とした施策へ転換、統合していく必要がある。					
令和5年度事業計画	経済対策としてのリフォーム支援制度を見直し					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	217	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	金券発行事業			149,696 千円	296,577 千円	183,248 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶1_技術と個性がある商店の集積

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○金券発行による市内消費の拡大と商業活性化 ・補助金が金券として確実に市内事業者で使用される仕組みにより、市内事業者の売上向上 ・期限内の使用による確実な市内経済の循環及び活性化
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

館林市金券の発行（1枚1,000円）
発行予定数
令和3年度補助金分 32,080千円（32,080枚）
令和3年度販売収入分 19,920千円（19,920枚）
合計 52,000千円

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		令和3年度館林市金券の発行 ・使用期限 令和3年4月1日～令和4年12月31日	令和4年度館林市金券の発行 ・使用期限 令和4年4月1日～令和5年12月31日	令和5年度館林市金券の発行 ・使用期限 令和5年4月1日～令和6年12月31日
	事業費	183,248	183,248	183,248
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	178,705	178,705	178,705
	一般財源	4,543	4,543	4,543

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額 単位：百万円	目標値	-	338	339	339	340
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	218	重要事業	総合戦略	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
7・1・2	商業振興事業			5,615 千円	5,428 千円	5,674 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策の方向	▶3_経営の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○館林商工会議所、中小企業相談所への支援により、商工業の強化・発展を図る。 ○中小企業相談所の経営指導員による経営・金融相談・指導を支援することにより、中小企業者の経営、技術の改善・発達を促進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①地域活性化講演会開催 100千円	
②商工会議所運営費補助 4,500千円	
③中小企業経営指導強化補助 900千円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	事業スケジュール	・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助	・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助	・地域活性化講演会開催 ・商工会議所運営費補助 ・中小企業経営指導強化補助
	事業費	5,674	5,674	5,674
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,674	5,674	5,674

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
総合計画 指標	製造品出荷額	2,842	目標値	-	2,843	2,844	2,844	2,845
		単位：億円	実績値	-				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	5,674千円	令和3年度決算額	5,521千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①地域活性化講演会開催 R元年度：未実施、R2年度：未実施、R3年度：参加者 39人 ②中小企業相談所相談実績 R元年度：3,144件（巡回1,343件、窓口1,801件） R2年度：3,522件（巡回 847件、窓口2,675件） R3年度：2,834件（巡回 807件、窓口2,027件）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施であった地域活性化講演会を開催し、官民連携、公共空間の利活用など政策の推進に寄与することができた。また、館林商工会議所の運営と中小企業経営指導強化を補助することによって、中小企業者の事業継続を支援することができた。					
課題	・ 適正な補助金の執行 ・ 事業の有効性、効率性の検証					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・ 時流を捉え、縮小社会を見据えた地域課題の解決に資する地域活性化講演会の実施 ・ 館林商工会議所との連携					
令和5年度事業計画	①地域活性化講演会開催 ②商工会議所運営費補助 ③中小企業経営指導強化補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	219	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	創業支援事業			8,188 千円	2,067 千円	7,910 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ②創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市） ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ整備	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・士業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・士業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業塾開催 ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） ・創業支援補助金 ・設備費補助（改装・設備費） ・1分PR出演料補助 ・店舗PR（広告宣伝）補助 ・士業導入補助 ・店舗診断 ・創業なんでも相談会開催 ・会社設立支援補助 ・チャレンジショップ運営
	事業費	7,910	8,330	8,330
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	115	483	483
	一般財源	7,795	7,847	7,847

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	3	6	9	12	15
		実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、跡取り、担い手など）の振興の満足度	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		実績値	-				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,910 千円	令和3年度決算額	6,257 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:4件) ①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) 令和元年度:年1回(15人)、令和2年度:年1回※オンライン(4人)、令和3年度:年2回(創業塾6人、創業カフェ6人) ・応用編(5回連続講座、年1回) 令和元年度:年1回(6人)、令和2年度:年1回(6人)、令和3年度:年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和元年度:一人、令和2年度:2人、令和3年度:3人 ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ③店舗診断 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ④創業なんでも相談会 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ⑤会社設立支援補助 令和3年度【新規】2件(株式会社 1件、合同会社 1件) ⑥チャレンジショップ整備		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。		
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	多様化する創業の形態に対応した創業支援を実施する		
令和5年度事業計画	①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) ・応用編(5回連続講座、年1回) ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク(日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市) ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	220	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	たてばやし商業支援事業			8,934 千円	5,213 千円	8,417 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	事業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断	
②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座（全6回） ※最終回にマルシェ出店	
③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験 ・「百年小麦」食育事業 ・「百年小麦」販売促進 ・「百年饅頭」給食導入	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業
	事業費	8,417	8,417	8,417
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	180	180	180
	一般財源	8,237	8,237	8,237

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の の便利さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、 跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	既存商店店舗診断の件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	1				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	8,417 千円	令和3年度決算額	4,277 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度: 0件、令和2年度: 2件、令和3年度: 4件) ■既存商店店舗診断 令和3年度までの累計実績 3件 (令和元年度: 2件、令和2年度: 0件、令和3年度: 1件)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。 既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回った。原因としては、コロナ禍により、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられる。					
課題	・遊休不動産の利活用件数の増加 ・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加					
【Action】 今後の方向性・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 (□ 一部廃止)					
	・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上 ・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上					
令和5年度事業計画	①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進、給食導入					
予算規模見込み	■ 同規模 □ 拡大 □ 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	221	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
5・1・1	労働総務			7,488 千円	5,280 千円	7,586 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	労働行政総務 ①勤労者の余暇活動充実を目的としたサラリーマン菜園を設置し、運営管理する。 ②勤労者の福祉の向上と民主的労使関係の確立のため、勤労者会館を運営管理する。 ③より良い労働環境の整備を目的に、館林市労使教育委員会の運営及び市内労働団体（館林地区労センター、日本労働組合総連合会群馬県連合会館林地域協議会、館林邑楽地区労働者福祉協議会の3団体）の活動に対し補助金交付による支援を行い、健全な労使関係の醸成と労働者の福利厚生を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園）3菜園（あしつぎ、たかね、みどり）を閉園へ3農園（あさひ、なるしま、みその）を農業振興課の事業へ移管を予定・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催）・労働団体への補助金交付	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園）3菜園（あしつぎ、たかね、みどり）を閉園へ3農園（あさひ、なるしま、みその）を農業振興課の事業へ移管を予定・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催）・労働団体への補助金交付	○サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園）3菜園（あしつぎ、たかね、みどり）を閉園へ3農園（あさひ、なるしま、みその）を農業振興課の事業へ移管を予定・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催）・労働団体への補助金交付	○サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園）3菜園（あしつぎ、たかね、みどり）を閉園へ3農園（あさひ、なるしま、みその）を農業振興課の事業へ移管を予定・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 ○勤労者会館の運営管理 ○館林市労使教育委員会の運営・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催）・労働団体への補助金交付
事業費		7,586	7,111	7,111
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	333	81	81
	一般財源	7,253	7,030	7,030

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	サラリーマン菜園利用率	目標値	80	100	100	100	-
		実績値	61.25				
活動指標	労働支援団体数	目標値	3	3	3	3	3
		実績値	3				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,586 千円	令和3年度決算額	3,825 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①サラリーマン菜園設置管理 設置場所：7か所240区画（あさひ53、あしつぎ15、しんじゆく32、たかね44、なるしま27、みその42、みどり27）利用料（年額）：2,000円/区画 利用者数：R01年度184人、R02年度147人、R03年度147人 ②勤労者会館運営管理 ・1階利用状況：労働3団体（館林地区労センター、群馬県連合会館林地域協議会、教職員組合邑楽支部）の事務所。 ・2階利用状況：平成22年度「老朽化した公共施設の今後のあり方内部検討委員会」において耐震診断を実施しない決定以降耐震上の問題を考慮し、上記労働3団体以外には利用させていない。 利用実績：H30年度14回、R元年度14回、R2年度17回、R3年度20回 ③-1 館林市労使教育委員会の活動 新入社員セミナー、優良従業員表彰、勤労者交流ソフトボール大会ほか 【新入社員セミナー参加状況】 H30年度：21事業所120人、令和元年度：25事業所138人、令和2年度中止(コロナ)、R3年度：18事業所102名 ③-2 労働団体事業費補助（3団体） ・館林地区労センター 活動内容：労働祭（メーデー）、非核平和行進ほか ・日本労働組合総連合会群馬県連合会館林地域協議会 活動内容：トータルライフアップ学習会、ふれあいフェスティバル、政策制度要求と提言ほか ・館林邑楽地区労働者福祉協議会 令和3年度より補助金は要しないとして辞退。今後請求なし。			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	①サラリーマン菜園は、土地所有者と土地使用貸借契約（平成29年度～令和3年度の5年間）を締結し、土地を借り受けて実施。現契約の期間中に菜園数や必要区画数を精査し、統廃合を検討する。 ②施設からの移転に向けて各労働団体と協議中である。できるだけ早く（かつ穏便に）結論を出せるよう、今後も団体と話し合いを行っていく。 ③事業の主目的は団体に対する補助金交付による支援であるが、市の事業に対する協力を呼びかけるなどして連携を図り、協力体制を築いていきたい。					
課題	①勤労者対象の菜園だが、現利用者の50%近くが退職者。耕作放棄地の利活用を目的とした全市民対象の農園事業へと方向転換すべき。 ②耐震問題もあって、労働3団体には会館の早期廃止を含め、退去交渉をしている。一方で、安全性が確保されず継続利用を望むのであれば、法的責任や範囲において書面により合意形成が図れるか協議し、今後の方向性を決める必要がある。 ③-1 商工課が事務局を務める労使教育委員会の活動については、労働組合の組織率の低下や労働運動の衰退に伴い、健全な労使関係の醸成に資する活動よりも、労働者の福利厚生の実現を目的としたレクリエーション活動が主になってきている。 ③-2 市内労働団体が行う労働者の福祉向上を図る事業に対し事業費補助金を交付しているが、実施事業がマンネリ化してきている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
令和5年度事業計画	<input type="checkbox"/> サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園） 3菜園（あしつぎ、たかね、みどり）を閉園へ 3農園（あさひ、なるしま、みその）を農業振興課の事業へ移管 ・利用申込受付、利用料徴収、除草等維持管理 <input type="checkbox"/> 勤労者会館の運営管理 <input type="checkbox"/> 館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付					
令和5年度事業計画	<input type="checkbox"/> サラリーマン菜園設置管理（しんじゆく菜園） ・利用料徴収、除草等維持管理 <input type="checkbox"/> 勤労者会館の運営管理 ・退去に向けての協議 <input type="checkbox"/> 館林市労使教育委員会の運営 ・新入社員研修会（東日本電信電話株式会社、館林商工会議所と共催） ・労働団体への補助金交付					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	222	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
5・1・1	雇用安定対策事業			18,699千円	30,905千円	15,579千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶1_若年層の市内就職の促進
	▶2_雇用の促進
	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内企業の人材確保を支援するとともに、技能労働者の育成支援、労働者の雇用形態安定化・定住化を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催） ○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金） ○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催） ○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金） ○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）	○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催） ○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金） ○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）	○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、ものづくりを知るバスツアーの開催） ○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金） ○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）	
	事業費	15,579	15,579	15,579	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	15,579	15,579	15,579	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	企業ガイダンス参加者数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	目標値	500	1,000	1,500	2,000	2,500
		実績値	300				
総合戦略 KPI	UIターン支援奨励金の受給労働者数	目標値	40	40	40	40	40
		実績値	38				
活動指標	職業訓練校入校者数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	5				
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	15,579千円	令和3年度決算額	15,588千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>○若者のUIターン就職支援 地元企業ガイダンスの開催、地元企業情報の発信等</p> <p>○各種奨励金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライアル雇用奨励金 R元年度 5人、R2年度 1人、R3年度 0人 ・障がい者雇用奨励金 R元年度 3人、R2年度 2人、R3年度 2社2人 ・高齢者雇用奨励金 R元年度 7人、R2年度 0人、R3年度 3社3人 ・UIターン支援奨励金 R元年度12社46人、R2年度12社36人、R3年度12社38人 ・正規雇用促進奨励金 R元年度10人、R2年度5人、R3年度 9社12人 ・移住定住促進通勤支援金 R元年度14人、R2年度15人、R3年度17人 <p>※単年度のみ奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3：市民雇用奨励金(令和3年度補正) 4社(4名) ・R2：人材確保補助金(令和2年度補正) 即戦力人材採用 5社(7人) 求人情報発信 45社 <p>○技能労働者の育成支援 館林地区職業訓練運営会への補助</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	<p>各種奨励金とも周知が図れてきたこともあり、利用者が年々増加傾向にある一方で、一部奨励金（トライアル雇用奨励金・障がい者雇用奨励金）については、該当する人材の採用自体を敬遠する企業も依然として多い。</p> <p>企業ガイダンスはオンラインでの開催により対面方式との参加人数の捉え方に差異が出ている。</p>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアル雇用や障がい者雇用に関しては、国により助成金制度が設けられているため、市単の補助による効果は薄い（廃止を検討）。 ・高齢者雇用奨励金は申請件数等の推移を確認しながら、縮小や要綱改定を検討していく。 ・UIターン支援奨励金は移住者支援強化で要綱改定済、雇用と連携した定住支援を検討していく。 ・移住定住促進通勤支援金は雇用施策ではないため、定住促進通学支援金と併せて企画課で取り扱うべきである。 		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
令和5年度事業計画	<p>○若者のUIターン就職支援（地元企業ガイダンスの開催、学生と企業のマッチング）</p> <p>○各種奨励金の交付（UIターン支援奨励金、正規雇用促進奨励金、高齢者雇用奨励金、移住定住促進通勤支援金）</p> <p>○技能労働者の育成支援（館林地区職業訓練運営会への補助）</p>		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	223	重要事業	総合戦略	担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
5・1・1	就労支援事業		4,207千円	3,861千円	4,869千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶3_ワーク・ライフ・バランスの趣旨普及と取組促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	就労困難者（子育て等により離職し再就職を希望する女性、就職できない若者、障がいを持つ方、高齢者等）が就労できるように支援することによって、潜在労働力の雇用拡大につなげる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援各種講座（就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上）及び就労相談の開催 【館林市就労支援事業業務委託】 受託者：NPO法人キッズバレイ 講座：年間12回（一般向け9回、企業向け3回） 相談：年間10回（一般向け講座と同時開催） ・就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） 中高年齢者：1/20(木) 子育て支援(女性)：2/4(金) 障がい者：1月予定(ハローワーク館林にてミニ面接会となる予定) ・各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等） 市広報掲載、市公式HP掲載 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援各種講座（就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上）及び就労相談の開催 ・就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援各種講座（就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上）及び就労相談の開催 ・就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援各種講座（就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上）及び就労相談の開催 ・就職面接会の開催（ハローワーク館林との共催事業） ・各種支援情報の提供（県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等）
事業費		4,869	4,758	4,758
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,869	4,758	4,758

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	就職率	7.6	目標値	-	8	8.5	8.5	9
		単位：%	実績値	-				
活動指標	就職面接会の開催数	5	目標値	5	5	5	5	5
		単位：回	実績値	3				
活動指標	障がい者雇用推進研修会等の参加事業 所数	27	目標値	30	30	30	30	30
		単位：社	実績値	2				
活動指標	女性就職講座・セミナーの開催数	2	目標値	3	3	3	3	3
		単位：回	実績値	9				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,869千円	令和3年度決算額	2,573千円																																
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・就労支援各種講座(過去事業①②③を統合しリニューアル) 就職困難者・勤労者向け講座(仕事スキルアップ)：開催9回、参加者34名 就労相談(仕事に関する悩み相談)：9回18枠、開催6回、利用者7名 事業者向け講座(労働環境整備への意識向上)：開催2回、参加者6名 ・就職面接会の開催(ハローワーク館林との共催事業) 中高年齢者対象：面接件数(R3：56、R2：中止、R元：97) 子育て女性対象：面接件数(R3：17、R2：31、R元：36) 障がい者対象：面接件数(R3：38、R2：中止、R元：①70②68) ・各種支援情報の提供(県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等) 【参考：過去事業】 ①障がい者雇用推進(H30～) <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">研修会</td> <td style="padding-right: 10px;">先進地視察</td> <td>座談会</td> </tr> <tr> <td>H30：15社</td> <td>11社</td> <td>8社</td> </tr> <tr> <td>R元：16社</td> <td>6社</td> <td>5社</td> </tr> <tr> <td colspan="3">R2：3事業とも中止(コロナ)</td> </tr> </table> ②仕事のお悩み相談 R2：2回/2人、R元：12回/1人(旧若者キャリア相談 H30：18回/0人) ③女性の就労支援 スモールアクションプログラム(R元～) R元：6人、R2：9人 ジョブカフェマザーズ H30：10人、R元：6人、R2：中止(コロナ) ④求職者就業相談→R3以降廃止 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">年度</th> <th style="text-align: left;">新規求職者数</th> <th style="text-align: left;">新規求人件数</th> <th style="text-align: left;">紹介件数</th> <th style="text-align: left;">就職者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>17人</td> <td>12件</td> <td>24件</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>15人</td> <td>18件</td> <td>10件</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10人</td> <td>4件</td> <td>4件</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>			研修会	先進地視察	座談会	H30：15社	11社	8社	R元：16社	6社	5社	R2：3事業とも中止(コロナ)			年度	新規求職者数	新規求人件数	紹介件数	就職者数	H30	17人	12件	24件	13人	R元	15人	18件	10件	8人	R2	10人	4件	4件	2人
研修会	先進地視察	座談会																																	
H30：15社	11社	8社																																	
R元：16社	6社	5社																																	
R2：3事業とも中止(コロナ)																																			
年度	新規求職者数	新規求人件数	紹介件数	就職者数																															
H30	17人	12件	24件	13人																															
R元	15人	18件	10件	8人																															
R2	10人	4件	4件	2人																															

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	就職困難者を対象にした就労支援講座を9回、事業者向け講座を2回開催し、コロナ禍で人数を制限しながらではあったものの40名の受講があり、概ね好評をいただいた。 また、仕事の悩みを解消できる就労相談については7名の利用があり、次のステップに進めそうだとの感想もいただいた。 市民がスキルアップできる場を安定して提供していくことで、就労の促進につながった。
課題	少子高齢化の進展によって労働力人口が減少し、市内事業所が人手不足に陥ることが見込まれる。 女性、就職できない若者(ひきこもり)、障がい者、高齢者等の就職困難者は、仕事に必要なスキルが不足しており、就労につながらない状況。また、就労しても定着できず早期離職する者も多く、市内事業者は慢性的な人材不足である。事業者側も人材不足を解消したい気持ちはあるものの、受け入れる体制づくりができておらず、就労環境の整備や、人材育成への意識向上を促進する必要がある。 働く意欲のあるかたがその能力や適性に応じて働けるように、今後も、労働者・事業者の両側から継続して支援していくことが必要である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) ・就職困難者については、就労支援各種講座及び就労相談にて仕事のスキルアップと就労に関する悩みを解消し、就職面接会で就職を促進することで、一体的にサポートしていく。また、勤労者のトラブル等には、国や県の支援情報を提供する。
令和5年度事業計画	・就労支援各種講座(就職困難者・勤労者向け：仕事スキルアップ、事業者向け：労働環境整備への意識向上)及び就労相談の開催 ・就職面接会の開催(ハローワーク館林との共催事業) ・各種支援情報の提供(県の労働相談やメンタルヘルス相談、国の出張サポートステーション等)
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	224	重要事業	○	総合戦略		担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
5・1・1	勤労者金融対策			16,109千円	8,410千円	14,251千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶19_生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる
施策の方向	▶4_勤労者向け融資制度の維持

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	住宅取得や生活に必要な資金を融資することにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定を図る。取扱金融機関に対し、融資（残）額の一定割合を預託する。 ・勤労者住宅資金：融資限度額1,000万円、融資年利2.3%、融資期間20年以内、預託率3/10 ・勤労者生活資金：融資限度額 200万円、融資年利2.1%（使途が教育・育児・介護のときは1.9%）、融資期間5年以内、預託率1/4
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・融資実績に応じた金融機関への資金預託
- ・勤労者向けの住宅資金・生活資金融資の斡旋
- 【勤労者住宅資金】
融資限度額1,000万円、融資年利2.3%、融資期間20年以内、預託率3/10
[令和3年度]
預託状況：8件 4,343,000円
新規融資：0件
- 【勤労者生活資金】
融資限度額 200万円、融資年利2.1%（使途が教育・育児・介護のときは1.9%）、融資期間5年以内、預託率1/4
[令和3年度]
預託状況：1件 5,000円
新規融資：0件

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金・生活資金融資の斡旋 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金・生活資金融資の斡旋 	<ul style="list-style-type: none"> ・融資実績に応じた金融機関への資金預託 ・勤労者向けの住宅資金・生活資金融資の斡旋
	事業費	14,251	11,848	11,848
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	14,251	11,848	11,848
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	新規融資件数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	0				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	14,251千円	令和3年度決算額	5,676千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 勤労者住宅資金融資 新規融資 R元年度0件、R2年度0件（継続預託11件）、R3年度0件（継続預託9件） ・ 勤労者生活資金融資 新規融資 R元年度0件、R2年度0件（継続預託3件）、R3年度0件（継続預託1件）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	近年、民間金融機関におけるローン商品の充実により新規利用がない状況。 新型コロナウイルス感染症流行の影響で、給与の減額や退職の増加により生活費が不足する方が増えると予想したが、令和3年9月現在で新規申込みはない。 緊急時のセーフティネットとしての役割は終了していると思われる。 今後は勤労者の生活の安定及び移住・定住の促進として、住宅ローンの利子補給など別の形で支援した方がよいと考える。					
課題	民間金融機関の融資利率が本制度よりも低金利であること、国(住宅融資支援機構)の融資制度や民間金融機関のローン商品が充実し、かつ、ネット上で完結するなど手続きが簡単になっていることから、市の制度融資を活用する必要性がなくなっている様子。 勤労者向け融資制度は、他自治体でも同様で、両毛6市においてもすでに3市が廃止、1市が廃止検討中という状況。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	新規の利用がないことから、緊急時のセーフティネットとしての役割は終了していると思われる。 新規受付は終了し、今後は融資実績に応じた金融機関への資金預託のみとする。					
令和5年度事業計画	・ 融資実績に応じた金融機関への資金預託					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	225	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・7	国際都市交流事業			841 千円	0 千円	831 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶3_食に対する意識の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	友好都市である沖縄県名護市と「やんばるの産業まつり」及び「館林市産業祭」を通して物産交流を図るとともに、相互の特産品や加工品のPRを行う。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①物産交流事業
 友好都市である名護市の「やんばる産業まつり」や本市の「館林市産業祭」で双方の物産を販売し都市間の交流を図る。
 ○やんばる産業まつり参加
 ○館林市産業祭名護市出店

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①物産交流事業 ○やんばる産業まつり参加 ○館林市産業祭名護市出店		①物産交流事業 ○やんばる産業まつり参加 ○館林市産業祭名護市出店	①物産交流事業 ○やんばる産業まつり参加 ○館林市産業祭名護市出店
	事業費	831	831	831
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	831	831	831

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	831 千円	令和3年度決算額	0 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■物産交流事業 令和元年度：邑楽館林地域の農産物(きゅうり・トマト・梨)を現地の市場価格よりも安く提供することができ、館林市の知名度向上につながった。また、市内に工場を持つブルドックソース株式会社のドレッシングを持って行き、販売を行い、地域産業の知名度の貢献に努めた。 令和2年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	市役所以外の「やんばるの産業まつり」の参加がないので、交流の拡大のためには市役所以外の組織等(邑楽館林農業協同組合など)の参加が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	名護市が事業見直しを行い、「やんばるの産業まつり」の開催場所は那覇市又は沖縄本島南東部にて実施となった。 開催予定の会場が狭くコロナが収束しても交流都市は招待しないことになったため、名護市現地で行う物産販売事業は廃止とする。					
令和5年度事業計画	事業予定なし					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	226	重要事業	総合戦略	担当部署	農業振興課 農業振興係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・2	農業総務			5,994 千円	8,926 千円	7,723 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	木に接する機会が少なくなった子供達に、親子が協力して物を作り上げる喜びを体験してもらうことで木(木材)に親しんでもらうことを目的とする。 内水面漁業振興の一環として市内3漁業組合に、魚族資源枯渇の防止やレクリエーション釣り場の活性化を図るため、稚魚(鮒・鰻)、魚卵等の購入、放流に対する事業費等の一部補助を目的として漁業協同組合稚魚等放流事業を行う。
----------------	--

令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①農業総務	○渡良瀬川鉍毒根絶期成同盟会等負担金 渡良瀬川による鉍毒の根絶を期し、沿岸耕土の改良を推進し、農業生産力の増強に資する。
○木とのふれあい事業補助金	木に親しんでもらうため、産業祭等のイベントにおいて親と子の木工広場の開催を支援する。
○漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金	内水面漁業の振興の一環として稚魚(鮒・鰻)、魚卵等の購入、放流に対する事業費等の一部を助成する。
○収入保険加入促進助成金	災害や農産物価格の下落等のリスクに備え加入する収入保険の保険料の一部を助成する。

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①農業総務			
	○渡良瀬川鉍毒根絶期成同盟会等負担金			
	○木とのふれあい事業補助金			
	○漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金			
	○収入保険加入促進助成金			
事業費		7,723	7,723	7,723
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,723	7,723	7,723

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	目標値	597	597	598	599	600
		実績値	554				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,723 千円	令和3年度決算額	69,567 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 渡良瀬川鉞毒根絶期成同盟会等負担金 令和元年度：89,000円、令和2年度：89,000円、令和3年度：89,000円 ■ 木とのふれあい事業補助金 親と子の木工広場 令和元年度（R元.11.17）：大人274 子供327 計602 令和2年度：新型コロナで開催中止 令和3年度（R3.11.23）：大人80 子供58 計138 ■ 漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金 稚魚等放流事業 令和元年度（鮎2,100kg、鰻13kg、魚卵270万粒） 令和2年度（鮎2,130kg、鰻20kg、魚卵600万粒） 令和3年度（鮎2,430kg、鰻20kg、魚卵300万粒） ■ 収入保険加入促進助成金 令和2年度：61人（新規32人、既加入29人）、令和3年度：29人（新規28人、既加入1人）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。		
課題	収入保険の加入促進については、一定の効果があつたため、事業の継続期間について検討する必要がある。		
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	引続き、各団体等を通して事業継続のための必要な支援を実施していく。		
令和5年度事業計画	○ 渡良瀬川鉞毒根絶期成同盟会等負担金 ○ 木とのふれあい事業補助金 ○ 漁業協同組合稚魚等放流事業費補助金 ○ 収入保険加入促進助成金		
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小
備考	※前年度比較		

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	227	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	農業振興対策事業			12,599 千円	7,177 千円	7,329 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	有害鳥獣対策事業、園芸用廃ビニール再生処理事業、耕作放棄地再生事業等の農業環境の整備を行うことにより、農家が安心して農業に従事し、農産物を安定して提供できるまちを目指す。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①農業振興対策事業
 - 有害鳥獣捕獲委託
農作物の被害を未然に防ぐために捕獲の要請があった地区において、館林猟友会に銃器による鳥類の捕獲を委託する。
 - 農用地利用計画図更新等業務委託
農業振興地域整備計画に記載した農用地区域内農地の利用状況及び市内荒廃農地の発生・解消状況の図面を整備する。
 - 園芸用廃ビニール再生処理費補助金
廃ビニールや廃プラスチック等の農業用廃資材の適正処理を推進する。
 - 耕作放棄地再生事業費補助金【重要事業】
農業者の高齢化や後継者不足等により耕作放棄地は年々増加傾向にあるため、耕作放棄地解消に係る費用の一部を補助することで、生産者の経済的負担を軽減し、耕作放棄地の解消及び発生の防止を推進する。
 - 農業施設災害復旧費補助金
農業災害が発生した場合、被害を受けた農業者等に対して生産力の維持と経営安定に必要な助成措置を講じる。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○耕作放棄地再生事業費補助【重】 ○農業施設災害復旧費補助金		①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○耕作放棄地再生事業費補助【重】 ○農業施設災害復旧費補助金	①農業振興対策 ○有害鳥獣捕獲委託 ○農用地利用計画図更新等業務委託 ○園芸用廃ビニール再生処理費補助金 ○耕作放棄地再生事業費補助【重】 ○農業施設災害復旧費補助金	
	事業費	7,329	7,239	7,239	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	237	237	237
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	7,092	7,002	7,002	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	目標値	597	597	598	599	600
		実績値	554				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,329 千円	令和3年度決算額	4,855 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■有害鳥獣捕獲委託 捕獲実績：令和元年度（鳥類404、獣類15）、令和2年度（鳥類404、獣類―）、令和3年度（鳥類339、獣類3） ■農用地利用計画図更新等業務委託 更新実績 令和元年度：農用地71筆、放棄地450筆 令和2年度：農用地49筆、放棄地188筆 令和3年度：農用地19筆、放棄地131筆 ■園芸用廃ビニール再生処理費補助金 廃ビニール回収実績 令和元年度：14,282kg、令和2年度：11,525kg、令和3年度：20,560kg 廃ポリ回収実績 令和元年度：73,782kg、令和2年度：62,416kg、令和3年度：67,685kg ■農業施設災害復旧費補助金 令和元年度から令和3年度まで実績なし			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	有害鳥獣による農作物への被害件数は年々増加している。 廃ビニールの再生処理費用が値上がりしており、農家及び関係機関の負担が増えている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	有害鳥獣対策については、引続き猟友会と連携を図っていく。 廃ビニールの再生処理費用については、農業者及び関係機関の負担割合が適切となるよう連携を図る。					
令和5年度事業計画	<input type="checkbox"/> 有害鳥獣捕獲委託 <input type="checkbox"/> 農用地利用計画図更新等業務委託 <input type="checkbox"/> 園芸用廃ビニール再生処理費補助金 <input type="checkbox"/> 農業施設災害復旧費補助金					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	228	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	経営所得安定対策事業			28,278 千円	25,246 千円	27,247 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業経営の安定と国内競争力の確保や戦略作物への作付転換を促し、食糧自給率向上を目指すとともに、農業の規模拡大や農用地の集団化と効率化を図り、農業の生産性向上とコスト削減による競争力強化を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①経営所得安定対策事業 経営所得安定対策等直接支払交付金等の交付や加工用米出荷助成により、農家の所得安定を図る。 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金</p> <p>②農地中間管理事業 農地借受の希望者を公募し、貸付相手を選定し農地を貸付けすることで、農地の有効利用や農業経営の効率化を図る。 ○機構集積協力金</p> <p>③経営継承・発展等支援事業 持続可能な力強い農業を実現するため、地域での話し合いから中心的な担い手を定め、その担い手への農地集積・集約化を推進し、地域農業のあり方を定めた「人・農地プラン」の作成・見直しを支援する。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②農地中間管理事業 ○機構集積協力金 ③経営継承・発展等支援事業	①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②農地中間管理事業 ○機構集積協力金 ③経営継承・発展等支援事業	①経営所得安定対策事業 ○農業再生協議会運営費負担金 ○経営所得安定対策等推進事業費補助金 ②農地中間管理事業 ○機構集積協力金 ③経営継承・発展等支援事業
	事業費	27,247	27,247	27,247
財源	国庫	0	0	0
	県費	8,082	8,082	8,082
	市債	0	0	0
	その他	565	565	565
	一般財源	18,600	18,600	18,600

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：% 実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円 実績値	554				
		目標値					
		単位： 実績値					
		目標値					
		単位： 実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	27,247 千円	令和3年度決算額	24,008 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 経営所得安定対策事業 加工用米出荷助成金対象俵数 令和元年度：45,537俵、令和2年度：38,560俵、令和3年度：43,436俵 転作率（転作物作付面積/総水田面積） 令和元年度：49.5%、令和2年度：50.6%、令和3年度：52.1% ■ 経営継承・発展等支援事業 令和3年度までに実質化された人・農地プラン 3地区（谷田川北部地区、野辺地区、郷谷地区）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。		
課題	近年の米の需要は、食文化の変化や少子高齢化等により減少し続けている。		
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	食糧自給率の維持向上のため、引続き、水田のフル活用を図り、加工用米、麦など戦略作物への転作の取組を推進する。		
令和5年度事業計画	<input type="checkbox"/> 経営所得安定対策事業 <input type="checkbox"/> 経営継承・発展等支援事業		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	229	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	担い手育成支援事業			7,433 千円	4,871 千円	15,841 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農産物を安定して供給するまちにするために、認定農業者を始めとするこれからの地域農業の担い手となる農家に、経営改善に役立つ補助事業の実施や情報提供等の支援を行い、意欲のある農業者を育てる。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①担い手支援事業【重要事業】	○園芸産地育成事業費補助金 ・「野菜王国ぐんま」 「儲かる野菜経営と活力ある野菜産地」を実現するためにその目標達成に向けた積極的な取組を支援する。 ・園芸施設支援事業補助金 耐用年数5年以上のハウス被覆材の整備に要する経費について、その経費の一部を補助する。
○新技術導入事業費補助金	農産物の収量向上や経営安定に資する新技術導入を支援する。
○農業用機械導入支援事業費補助金	高性能の大型機械を導入し、農作業の省力化・効率化等に取り組む農業者に対し、その導入経費の一部を補助する。
○農業団体協議会等負担金・補助金	農業研究会連絡協議会活動促進費補助金、認定農業者協議会補助金、邑楽館林農業協同組合青年部館林明和支部活動負担金、生命を育む農業のまち邑楽館林推進協議会負担金
②農業制度資金事業	○農業近代化資金利子補給金

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①担い手支援事業【重】 ○園芸産地育成事業費補助金 ○新技術導入事業費補助金 ○農業用機械導入支援事業費補助金 ○農業団体協議会等負担金・補助金 ②農業制度資金事業 ○農業近代化資金利子補給金		①担い手支援事業【重】 ○園芸産地育成事業費補助金 ○新技術導入事業費補助金 ○農業用機械導入支援事業費補助金 ○農業団体協議会等負担金・補助金 ②農業制度資金事業 ○農業近代化資金利子補給金	①担い手支援事業【重】 ○園芸産地育成事業費補助金 ○新技術導入事業費補助金 ○農業用機械導入支援事業費補助金 ○農業団体協議会等負担金・補助金 ②農業制度資金事業 ○農業近代化資金利子補給金
	事業費	15,841	15,841	15,841
財源	国庫	0	0	0
	県費	10,000	10,000	10,000
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,841	5,841	5,841

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	15,841 千円	令和3年度決算額	5,325 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■担い手支援事業【重要事業】 ○園芸産地育成事業費補助金 環境制御装置導入支援（県補助） 令和2年度：1件 2,840㎡ ハウス被覆資材張替補助（市補助） 令和元年度：1件 462㎡、令和2年度：1件 500㎡、令和3年度：5件 5,129㎡ ○新技術導入事業費補助金（市補助） 令和元年度：4件（炭酸ガス発生1、自動灌水2、環境測定1） 令和2年度：3件（天窓減速機1、細霧システム1、炭酸ガス発生1） 令和3年度：3件（炭酸ガス発生2、自動灌水1） ○農業用機械導入支援事業費補助金 県補助 1件（シーダー用ロータリー） 市補助 3件（コンバイン1、田植機2） ■農業制度資金事業 ○農業近代化資金利子補給金 令和3年度までの累計実績 17件（うち新規7件）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	農業用生産資材・機械価格が高騰しており、農家経営を圧迫している。 市内の中心経営体は大規模な個人経営が殆どであり、法人化が進んでいない。					
【Action】 今後の方向性・内容	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止（□ 一部廃止）					
	引続き、営農意欲のある農業者に対し、農業用施設や機械等の導入支援を行う。 法人化を促進し、営農の合理性を高め、生産力を向上させ、本市の農業生産力の維持・向上を目指す。					
令和5年度事業計画	○園芸産地育成事業費補助金 ○新技術導入事業費補助金 ○農業用機械導入支援事業費補助金 ○農業団体協議会等負担金・補助金 ○農業近代化資金利子補給金					
予算規模見込み	■ 同規模	□ 拡大	□ 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	230	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	新規就農支援事業			4,422 千円	832 千円	3,117 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業に興味のある者、これから農業を始めようとする者に、実践的な農業の体験等様々な情報を提供し、農業に対する興味を高め、農業を生業として選択できる環境及び条件整備を図る。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①新規就農支援事業【重要事業】
- 邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金
邑楽館林管内1市5町と邑楽館林農業協同組合で構成する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を設置し、新規就農を目指す者を関係機関が連携して支援するもの。
 - 新規就農者営農支援補助金
農業後継者及び担い手の確保、育成を図るため、新規就農者等の営農に要する経費に対し、その一部を補助する。
 - 新規就農者研修支援補助金
新規就農を目指す者の研修を支援することで、就農に対する意欲の向上、新規就農者の掘り起こし及び獲得の推進を図る。
 - 農業次世代人材投資事業補助金
準備型：都道府県が認める農業大学校等の研修機関で研修を受けた者に対し、交付主体（県又は青年農業者等育成センター）が資金を交付して研修実施を支援するもの。／経営開始型：独立自営で新規就農した者に対し、経営が安定するまでの一定の期間、資金を交付するもの。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①新規就農者支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業補助金	①新規就農者支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業補助金	①新規就農者支援事業【重】 ○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業補助金
事業費		3,117	3,117	3,117
財源	国庫	0	0	0
	県費	1,500	1,500	1,500
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,617	1,617	1,617

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,117千円	令和3年度決算額	2,817千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■新規就農支援事業【重要事業】 ○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会 令和3年度までの相談会等累計実績（相談会3回、現地説明会3回、視察1回、意見交換会1回） ○新規就農者営農支援補助金（市補助） 令和3年度までの累計実績（3名） ○新規就農者研修支援補助金（市補助） 令和3年度までの累計実績（1名） ○農業次世代人材投資事業補助金 令和3年度までの累計実績（1名）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。					
課題	農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、いかに新規就農者の掘り起こしができるか。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引続き、「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」を中心に関係機関と連携し、新規就農を目指す者を支援す る。					
令和5年 度事業計 画	○邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会負担金 ○新規就農者営農支援補助金 ○新規就農者研修支援補助金 ○農業次世代人材投資事業費補助金 ○新規就農者育成総合対策事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	231	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	安全・安心野菜の生産地づくり支援事業			120 千円	120 千円	500 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	化学肥料等を使用しない有機栽培・自然農法の取組みを支援し、市内の安全・安心野菜の生産地づくりを図るとともに、市内で生産される農作物の付加価値を高め農産物のブランド化を推進する。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①安全・安心野菜の生産地づくり支援事業【重要事業】

○有機農法取組者支援事業費補助金

化学肥料等を使用しない有機栽培・自然農法に取り組む者を支援し市内で生産される農作物の付加価値を高める。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①安全・安心野菜の生産地づくり 支援事業【重】 ○有機農法取組者支援事業費 補助金	①安全・安心野菜の生産地づくり 支援事業【重】 ○有機農法取組者支援事業費 補助金	①安全・安心野菜の生産地づくり 支援事業【重】 ○有機農法取組者支援事業費 補助金
事業費		500	500	500
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	500	500	500

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	500 千円	令和3年度決算額	174 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■安全・安心野菜の生産地づくり支援事業【重要事業】 ○有機農法取組者支援事業費補助金 令和3年度 2件（有機JAS認証取得2件）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。		
課題	有機農法や自然農法などに取組む生産者の情報が少ない。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	農作物の高付加価値化を更に進めるため、農商工連携活性化プロジェクト事業へ統合し、商業や工業などの他産業との連携を図る。		
令和5年度事業計画	農商工連携活性化プロジェクト事業へ統合		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	232	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	スマート農業推進プロジェクト事業			1,251 千円	1,026 千円	1,958 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	スマート農業の推進を図るため、ICTを活用して農業の実証分析を行い、作業の効率化、軽労働化、品質安定など魅力ある農業の推進を目指す。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①スマート農業推進プロジェクト事業【重要事業】

○先端農業技術活用実証業務委託

畜産のICT化を推進し、経営の効率化及び省力化を図るため、本市畜産農家（肉牛・酪農家）にICT機等導入し実証業務を行う。

○ICT機器導入支援事業費補助金

農業の省力化及び効率化のためICTを活用して農業用機械を導入する担い手の農業者へ導入経費の一部を補助し、スマート農業の推進を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ○先端農業技術活用実証業務委託 ○ICT機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ○先端農業技術活用実証業務委託 ○ICT機器導入支援事業費補助金	①スマート農業推進プロジェクト事業【重】 ○先端農業技術活用実証業務委託 ○ICT機器導入支援事業費補助金
	事業費	1,958	1,958	1,958
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,958	1,958	1,958

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,958 千円	令和3年度決算額	1,885 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■スマート農業推進プロジェクト事業【重要事業】 ○先端農業技術活用実証業務委託 令和元年度：水位センサー及びセンサーカメラ 令和2年度：水位センサー兼環境測定器及びスマート農業試験実証 令和3年度：分娩監視装置及び発情発見装置、監視カメラ ○ICT機器導入支援事業費補助金 令和3年度：6件（ドローン2件、操作資格取得講習3件、アシストスーツ1件）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	ICT機器は、改良のスピードが速く次々と新機種が販売され、また、導入コストもかかるため、積極的に導入する農業者が少ない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	担い手不足の解消のためには、生産性向上につながるスマート機器の導入が必要不可欠であり、本市農業に適したICT機器を検証し、農業のスマート化が進むよう導入を支援していく。					
令和5年度事業計画	○先端農業技術活用実証業務委託 ○ICT機器導入支援事業費補助金					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	233	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・3	農商工連携活性化プロジェクト事業			1,684 千円	1,451 千円	2,641 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業・商業・工業・観光関係者間での連携の構築・強化をし、本市での地域農業と関連産業の活性化促進のための協議・研究を行い、地産地消と館林ブランド化の推進に向けた課題解決・方策等の検証を行う。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①農商工連携活性化プロジェクト事業【重要事業】

- フードシェッドプロジェクト支援業務委託
 - ・フードシェッドプロジェクト支援業務委託
農商工連携や地産地消に向けた調査・分析、会議等のコーディネート業務を委託し、異業種間の協力体制を強化する。
 - ・たてばやしブランド化加工品実証業務委託
市内で生産した小麦「きぬの波」を使用した商品化の実証実験により館林ブランド化の推進を図る。
- 農産物加工商品化支援事業費補助金
農商工連携や6次産業化に取り組む者に対し、農産物の加工に要する機械・設備の導入にかかる経費について、その経費の一部を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	2,641	2,641	2,641	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	2,641	2,641	2,641	

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	595	目標値	597	597	598	599	600
		単位：千万円	実績値	554				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	2,641 千円	令和3年度決算額	2,098 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■農商工連携活性化プロジェクト事業【重要事業】 ○フードシェッドプロジェクト 令和3年度までの活動実績（交流会：3回、個別意見交換12団体、ミニマルシェ2回） ○農産物加工商品化支援事業費補助金 令和元年度 冷凍庫、ワインセラー 令和2年度 真空包装機、テーブル型冷蔵庫、ガステーブル、ブレンダー、真空包装機、シーラー 令和3年度 冷凍ショーケース、冷蔵ショーケース、真空包装機			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	生産部門である1次産業に注力する生産者が多く、農産物の付加価値を高める6次産業化が進んでいない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	農作物の高付加価値化を更に進めるため、商業、工業、観光業などの他産業との連携を図る。					
令和5年度事業計画	○フードシェッドプロジェクト支援業務委託 ○農産物加工商品化支援事業費補助金					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	234	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・4	畜産振興対策事業			5,648 千円	7,742 千円	6,048 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内酪農家をはじめとする畜産農家の支援を行う事により、飼料高騰、暑熱被害、素牛価格高騰の負担を軽減し、安定した畜産物を提供できるまちを目指す。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①畜産振興対策事業【重要事業】
- 優良雌牛導入費補助金
搾乳牛の導入・育成を補助することにより生乳の増産を図る。
 - 飼料自給率向上対策事業費補助金
耕種農家を対象に、畜産農家との利用供給を目的とした飼料用イネを作付けした場合、その取組み給与面積に応じて補助金を交付し、粗飼料の安定供給を図るもの。
 - 乳牛育成牧場施設整備費補助金
令和元年の台風19号により損壊した牧柵等の修繕を行うため、修繕にかかる経費を補助する。
 - 畜産関連団体への補助金・負担金
農協肉牛部会枝肉共進会負担金、家畜伝染病予防対策事業費補助金、乳牛育成牧場管理運営費補助金、酪農振興協議会活動促進事業費補助金

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○乳牛育成牧場施設整備費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金		①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金	①畜産振興対策事業【重】 ○優良雌牛導入費補助金 ○飼料自給率向上対策事業費補助金 ○畜産関連団体への補助金・負担金	
	事業費	6,048	5,448	5,448	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	6,048	5,448	5,448	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		実績値 単位：%	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	目標値	597	597	598	599	600
		実績値 単位：千万円	554				
		目標値					
		実績値 単位：					
		目標値					
		実績値 単位：					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	6,048 千円	令和3年度決算額	5,205 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 畜産振興対策事業【重要事業】 ○ 優良雌牛導入実績 令和元年度：40頭、令和2年度：32頭、令和3年度：34頭 ○ 飼料自給率向上対策事業実績（耕畜連携事業対象圃場面積） 令和元年度：91,532㎡、令和2年度：82,840㎡、令和3年度：79,019㎡ ○ 乳牛育成牧場施設整備費補助金 整備内容：水飲槽2基、飼料物置1基			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳産出額の減少によるものと思われる。					
課題	世代交代がなく廃業を予定している小規模畜産農家が多い。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	これからの畜産業を担う若手畜産農家に対して効率的な経営に取組めるよう支援を行う。					
令和5年 度事業計 画	○ 優良雌牛導入費補助金 ○ 飼料自給率向上対策事業費補助金 ○ 乳牛育成牧場施設整備費補助金 ○ 畜産関連団体への補助金・負担金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	235	重要事業		総合戦略		担当部署	農業振興課 農業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・4	環境保全型農業総合推進事業			819 千円	556 千円	900 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶2_付加価値の向上と効率化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	環境との調和を図りながら、消費者のニーズに対応した安全で良質な農産物を生産する農業を推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①環境保全型農業総合推進事業 ○畜産ふん尿臭気等対策用消臭剤 地域と調和した畜産環境の維持を図るため、消臭剤を購入し市内畜産農家へ配布する。 ○畜産施設整備事業費補助金 家畜ふん尿処理施設の導入や修繕に対して補助をすることで、畜産の環境整備を推進する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金	①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金	①環境保全型農業総合推進事業 ○消臭剤配布 ○畜産施設整備事業費補助金
事業費		900	900	900
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	900	900	900

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		実績値	62.5				
総合計画 指標	農産物出荷額	目標値	597	597	598	599	600
		実績値	554				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	900 千円	令和3年度決算額	882 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■環境保全型農業総合推進事業 ○畜産ふん尿臭気等対策用消臭剤 令和元年度 敷料散布：57袋、希釈液散布：3ヶ所、餌混：5袋 令和2年度 敷料散布：58袋、悪臭対策資材：10袋、土壌改良資材：1箱、餌混：3袋 令和3年度 敷料散布：92袋、悪臭対策資材：18袋、土壌改良資材：2箱 ○畜産施設整備事業費補助金 令和元年度 スキッドステアローダー修繕1件、フロントローダー修繕1件 令和2年度 パンクリーナー修繕2件、堆肥舎修繕1件 令和3年度 乾燥施設修繕4件、糞尿処理器修繕1件、スターマニアスプレッター1件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところ が大きい。農産物出荷額は年度目標を下回っている。未達成の要因は、畜産部門における肉用牛価格及び生乳 産出額の減少によるものと思われる。					
課題	周辺住民からの臭いに対する苦情					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	堆肥舎等の整備促進及び進消臭剤の配布により苦情低減の維持を図る。					
令和5年 度事業計 画	○畜産ふん尿臭気等対策用消臭剤 ○畜産施設整備事業費補助金					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	236	重要事業	総合戦略	担当部署	農業振興課 土地改良係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・5	土地改良事業			58,878千円	53,481千円	72,607千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>国営・県営事業により造成された施設の適正な維持管理のために組織された協議会等へ負担金の支出を行い、安定した地域用水の確保を図る。農道や水路等に対し、整備・改修・修繕を行うことにより、農業生産の確立とインフラの保全を図る。農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。</p>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ・土地改良事業の円滑な実施や、造成された施設の適正な維持管理のために組織された協議会等の負担金。</p> <p>②土地改良事業（市単独） ・農業や水路等の整備、改修、修繕を行うことにより、農業生産の確立とインフラの保全を図る。</p> <p>③土地改良事業費補助金 ・地域の農業生産基盤の整備を図るため、土地改良区及び管理団体等が行う小規模な土地改良事業に要する経費に対し補助する。</p> <p>④基幹水利施設管理事業 ・国営事業で造成された施設（太田頭首工、邑楽頭首工、邑楽東部第1排水機場）の維持管理費。</p> <p>⑤多面的機能支払交付金 ・農業や農村が持つ多面的な機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ②土地改良事業（市単独） ③土地改良事業費補助金 ④基幹水利施設管理事業 ⑤多面的機能支払交付金		①渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ②土地改良事業（市単独） ③土地改良事業費補助金 ④基幹水利施設管理事業 ⑤多面的機能支払交付金	①渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ②土地改良事業（市単独） ③土地改良事業費補助金 ④基幹水利施設管理事業 ⑤多面的機能支払交付金
	事業費	72,607	72,365	72,365
財源	国庫	19,559	19,189	19,189
	県費	9,780	9,595	9,595
	市債	0	3,400	900
	その他	5	5	5
	一般財源	43,263	40,176	42,676

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
活動指標	多面的機能支払交付金事業活動組織数	10	目標値	11	12	12	13	13
		単位：組織数	実績値	13				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	72,607 千円	令和3年度決算額	69,515 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 令和元年度：6件 令和2年度：5件 令和3年度：5件 ■ 土地改良事業（市単独） <ul style="list-style-type: none"> ・ 農道や用排水路等の維持管理 令和元年度：14件 令和2年度：6件 令和3年度：8件 ■ 土地改良事業費補助金 令和元年度：2件 令和2年度：3件 令和3年度：5件 ■ 基幹水利施設管理事業 令和元年度：3件 令和2年度：3件 令和3年度：3件 ■ 多面的機能支払交付金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動組織数 令和元年度：10組織 令和2年度：11組織 令和3年度：13組織 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。多面的機能支払交付金事業活動組織数は、年度目標を上回っている。達成要因は、農家へのPR活動によるところが大きい。					
課題	現在、市内の農道や水路等の農業施設は経年による老朽化が進み、多くの施設で更新の時期を迎えており、維持管理費用が増加傾向にあるため、多面的支払交付金のような国県の補助金を有効活用し地域と共同して保全管理を推進することが重要となる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	安定した地域用水の確保及び農業生産の確立とインフラの保全、地域資源の適切な保全管理推進のため事業を継続する。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡良瀬川沿岸土地改良事業水利協議会等負担金 ・ 土地改良事業（市単独） ・ 土地改良事業費補助金 ・ 基幹水利施設管理事業 ・ 多面的機能支払交付金 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	237	重要事業	○	総合戦略		担当部署	農業振興課 土地改良係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・5	小規模農村整備事業			44,697千円	35,323千円	12,388千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	営農環境を整えるため、県費補助事業により農道や水路等の整備を行い、生産効率の向上と農業競争力の強化を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①小規模農村整備事業【重要事業】
- ・内谷地区（日向町）農道整備工事、延長51.0m、幅員4.8m
 - ・谷田川北部地区（上赤生田町）農道整備工事、延長200.0m、幅員5.0m

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①小規模農村整備事業【重】 ・内谷地区（日向町）農道整備工事、延長51.0m、幅員4.8m ・谷田川北部地区（上赤生田町）農道整備工事、延長200.0m、幅員5.0m	①小規模農村整備事業【重】 ・四ツ谷地区水門扉体交換2基	①小規模農村整備事業【重】 ・市内農道整備
事業費		12,388	9,933	10,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	3,745	3,472	3,500
	市債	7,600	5,800	5,850
	その他	0	0	0
	一般財源	1,043	661	650

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	925				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	12,388 千円	令和3年度決算額	10,726 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■小規模農村整備事業 ・農道整備 令和元年度完成 離地区 (延長L=122.9m 幅員W=5.9m~6.7m) 令和元年度完成 陣谷地区 (延長L=66.2m 幅員W=4.5m) 令和2年度完成 大曾根地区 (延長L=427.9m 幅員W=5.5m) 令和2年度完成 新倉前地区 (延長L=240.3m 幅員W=5.0m) 令和3年度完成 内谷地区 (延長L=219.9m 幅員W=4.8m) ・農道舗装 令和元年度完成 谷田川北部地区 (延長L=325.0m 幅員W=4.0m) 令和2年度完成 谷田川北部2地区 (延長L=131.1m 幅員W=5.0m) 令和3年度完成 谷田川北部3地区 (延長L=200.0m 幅員W=5.0m)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。農用地利用集積面積は、年度目標を上回っている。各指標の達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。					
課題	補助対象基準が、下限2,000千円以上～上限30,000千円以下とされていることから、対象事業が限定されてしまう。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	営農環境を整え、生産効率の向上と農業競争力の強化を図るため事業を継続する。					
令和5年度事業計画	・早川田遊水地排水ポンプオーバーホール					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	238	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	農業振興課 土地改良係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・5	農村地域基盤整備事業			9,790千円	12,875千円	9,953千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ほ場整備を実施し、農地の大区画化による生産性の向上と農業構造の改善による近代化を進め、担い手への農地集積により、意欲ある経営体が活躍できる環境整備を推進し、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図る。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①農村地域基盤整備事業【重要事業】

- ・野辺地区
県営計画調査（補償物件調査、区画形状検討、道路規模検討、水利計算、計画平面図作成、概算工事費、経済効果、計画概要書）
- ・木戸地区
県営計画調査（補償物件調査、区画形状検討、道路規模検討、水利計算、計画平面図作成、概算工事費、経済効果、計画概要書）
- ・大島地区
県営計画調査（現地踏査、土壌調査）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①農村地域基盤整備事業【重】		①農村地域基盤整備事業【重】	①農村地域基盤整備事業【重】
	・野辺地区 県営計画調査		・野辺地区 県営計画調査、土地改良区設立 申請	・野辺地区 換地業務、実施設計
	・木戸地区 県営計画調査		・木戸地区 県営計画調査	・木戸地区 県営計画調査、土地改良区設立 申請
	・大島地区 県営計画調査		・大島地区 県営計画調査	・大島地区 県営計画調査
	事業費	9,953	19,673	23,150
財源	国庫	0	2,519	2,500
	県費	0	1,007	1,000
	市債	0	0	3,330
	その他	0	0	0
	一般財源	9,953	16,147	16,320

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65.0
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	農用地利用集積面積	840	目標値	900	930	960	990	1,020
		単位：ha	実績値	925				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	9,953 千円	令和3年度決算額	6,911 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■農村地域基盤整備事業 令和元年度 県営計画調査申請（野辺地区、木戸地区、大島地区） 令和2年度 県営計画調査（野辺地区、木戸地区） 令和3年度 県営計画調査（野辺地区、木戸地区、大島地区）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	担い手の農地利用集積状況は、年度目標を上回っている。農用地利用集積面積は、年度目標を上回っている。各指標の達成要因は、農地利用の最適化の促進によるところが大きい。					
課題	県営事業となるため、人員、予算等調整が必要となる。事業化後には法手続き、換地作業、土地改良区運営等の膨大な業務量に対し、迅速に処理する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	ほ場整備事業を契機とし、生産コストの低減を図る農地の大区画化、所得向上を目指した高収益作物への転換を可能とする水田の汎用化・畑地化を実施。また、担い手への農地集積を後押しし、担い手の経営体質強化を図り競争力を高め、効率的かつ安定的な農業経営の確立を図るため事業を継続する。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・野辺地区 換地業務、実施設計 ・木戸地区 県営計画調査、地区界測量、経営体育成促進換地等調整、土地改良区設立申請等法手続き ・大島地区 県営計画調査 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	239	重要事業		総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・1	農業委員会運営			13,478千円	12,445千円	14,193千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業委員会は農地法その他法令に基づく許認可等業務のほか、担い手への農地等の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の支援等、農地等の利用の最適化を推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①農地利用最適化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農用地利用集積事業（担い手の農地利用集積） 農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより遊休農地の増加が予想されることから、地域の農業事情に精通した農業委員、農地利用最適化推進委員の知識や人脈を活かし、国、県が推進する農地中間管理機構を活用するとともに、担い手へ農地の集積・集約化を推進する。 ・遊休農地の発生防止・解消事業 農業委員、農地利用最適化推進委員による農地パトロール及び農地利用状況調査を行うことにより遊休農地の状況を把握するとともに、遊休農地の所有者等に対して意向調査を実施し、所有者の意向に沿って農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。 <p>②農業委員会業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業	①農地利用最適化推進事業 ・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ②農業委員会業務 ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金	①農地利用最適化推進事業 ・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ②農業委員会業務 ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金	①農地利用最適化推進事業 ・農用地利用集積事業 ・遊休農地の発生防止・解消事業 ②農業委員会業務 ・農業委員会交付金 ・農地利用最適化交付金 ・農業委員会事務処理委託金	
	事業費	14,193	14,193	14,193	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	5,635	5,635	5,635
		市債	0	0	0
その他		560	560	560	
	一般財源	7,998	7,998	7,998	

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	担い手の農地利用集積状況	58.2	目標値	60.5	61.6	62.7	63.9	65
		単位：%	実績値	62.5				
総合計画 指標	荒廃農地面積	35	目標値	29	26	23	20	17
		単位：ha	実績値	40				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	14,193 千円	令和3年度決算額	13,357 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 担い手の農地利用集積状況 ・ 令和3年度の集積率 62.5% (令和元年度: 58.2% 令和2年度: 62.2% 令和3年度: 62.5%) ■ 荒廃農地面積 ・ 令和3年度の面積: 40ha (令和元年度: 35ha 令和2年度: 40ha 令和3年度: 40ha)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標について、担い手の農地利用集積状況は年度目標を上回っている。荒廃農地面積は年度目標を下回っている。各指標における荒廃農地面積の未達成の要因は、農作物価格の低迷・農業従事者の高齢化等に伴う離農農家の増加や後継者不足のほか、生産性が低く耕作不便農地などの地理的悪条件等により耕作されない農地が増加することが考えられる。					
課題	農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより遊休農地の増加が予想されることから、国、県が推進する農地中間管理機構を活用した農地利用を推進していく必要がある。研修等を活かし農業委員・農地利用最適化推進委員による更なる現場活動が必要となる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	遊休農地の増加が予想される中、周辺農地の営農に悪影響を及ぼす恐れのある遊休農地になる前の段階での呼びかけや、農地パトロールによる早期発見に努めるとともに、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。					
令和5年度事業計画	・ 農業委員、農地利用最適化推進委員による農地の集積・集約化の推進 ・ 農地パトロールによる遊休農地の発生防止・解消 ・ 地域の実態に沿った担い手の育成・確保 ・ 各種研修への参加を通して、職員の法令業務に対する知識・スキルアップを図る ・ 現地研修会や県等主催研修会・会議への出席により農地利用最適化に向けた知識の向上を図る					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	240	重要事業		総合戦略		担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
6・1・1	国有農地等管理事業			147千円	147千円	294千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	戦後、国は自作農創設のため、小作農地を買収し、小作人に売り渡しが行われた。 このとき、国により買収された農地のうち小作人の経営面積が零細であったり、都市計画事業区域内にあり、農地以外の用途に買収される可能性の高い農地が国有農地として残された。この農地の適正な貸付、未貸付地の荒廃防止、無断使用の監視、倒木等による隣接地の被害防止を図ることを目的とし、県から委託を受け、除草等の管理を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①国有農地等管理事業 自作農創設特別措置法により、国が買収したが売り渡しが行われなかった農地を群馬県より委託を受け、除草等の管理を行う。</p> <p>○除草等業務 [高根町]篠竹等伐採 [加法師町・緑町二丁目]除草 計3筆</p> <p>②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①国有農地等管理事業 ・篠竹等伐採・除草業務委託		①国有農地等管理事業 ・篠竹等伐採・除草業務委託	①国有農地等管理事業 ・篠竹等伐採・除草業務委託
	②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金		②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金	②国有農地等管理事業 ・国有農地等管理事務取扱交付金
事業費		294	294	294
財源	国庫	294	294	294
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	除草等作業回数	1	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	294 千円	令和3年度決算額	291 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 国有農地の管理状況 ・ 令和元年度：貸付地2筆 458㎡ 未貸付地23筆 4,004㎡ ・ 令和2年度：貸付地1筆 244㎡ 未貸付地25筆 4,390㎡ ・ 令和3年度：貸付地0筆 未貸付地27筆 4,716㎡ ■ 国有農地除草等管理業務 ・ 令和3年度の実績：高根町・加法師町（1回除草等） （令和元年度：高根町 令和2年度：高根町 令和3年度：高根町・加法師町；全て1回除草等）		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	指標については、自作農創設特別措置法により、国が買収したが売り渡しが行われなかった農地を群馬県より委託を受け、適切に管理している。		
課題	群馬県より委託を受けての業務となるため、今後も適切な事務、管理が必要である。 平成21年の農地法の改正により、自作農を創設する目的で農地の買収・売渡しの仕組みが廃止となり、国有農地を保有し続ける目的が消失したことから、農林水産省において早期に処分すること要する。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	群馬県より委託を受けての業務であるため、今後も適切な事務、管理を行う。		
令和5年度事業計画	前年度同様、継続して県より委託を受け、適切な管理（篠竹等伐採・除草の定期的な施工）を行う		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	241	重要事業	総合戦略	担当部署	農業委員会事務局 農地係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・2	農業後継者対策事業			236千円	42千円	256千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農家の担い手である農業後継者及び「館林市農業青年会議」の団体活動への指導・育成事業や、新規就農者への支援事業により、農業後継者の育成・確保を図る。 家族経営協定普及促進事業では、家族内での農業後継者や女性農業者の役割の明確化、近代的な農業経営の実現を図るため、普及活動を実施する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①農業後継者対策事業
- ・新規就農者支援事業
意欲的な新規就農者育成のため、自立経営を志す若者の力を結集し、技術経営の安定を図りながら、農業を魅力ある職業とするため、関係機関の協力を得て、高収益事業、ゆとりある農業経営、活力と潤いのある農業の実現に向けて積極的に支援する。
専業農家で40歳未満の新規就農者に「新規就農者就農激励金」として2万円を交付する。
 - ・農業青年会議活動支援事業
農業の担い手である農業後継者育成を図るため、その組織団体である「農業青年会議」の活動促進や、ビジョンと意欲ある農業経営者の育成のため各種事業支援を行う。
 - ・家族経営協定普及推進事業
家族経営内での農業後継者や女性農業者の役割の明確化、近代的な農業経営の実現を図るため、家族経営協定の必要性についての普及活動を実施する。
 - ・農業塾開催事業
国際化や新農業基本法等厳しく移り変わる農業情勢の中において、意欲ある農業後継者等を積極的に支援し、より一層の経営感覚を身につけてもらうため、農業委員会の積極的な支援を受けながら平成12年度より農業青年会議の自主的事業として、先進的な農業経営を行っている団体や知識経験者等を講師に迎え講演会等を開催する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費 補助金		①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費 補助金	①農業後継者対策事業 ・新規就農者就農激励金 ・館林市農業青年会議活動促進費 補助金
	事業費	256	256	256
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	256	256	256

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	新規就農者就農激励金交付者数	1	目標値	2	2	2	3	3
		単位：人	実績値	2				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	256 千円	令和3年度決算額	42 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■新規就農者就農激励金交付者数 令和3年度の交付実績：2名 (令和元年度：1名 令和2年度：1名 令和3年度：2名)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、新規就農者就農激励金交付者数は年度目標を達成している。					
課題	農業者の高齢化や減少が進み、農業生産基盤の脆弱化が危惧されており、地域農業を支える担い手・新規就農者の確保育成がますます重要となっているが、人口減少が進む中での人材確保は、一層厳しさを増している状況にある。親元就農のみならず、他分野からの新規参入を含め多様な人材確保が求められている。しかし、新規参入においては、「農地の確保」「資金の確保」「営農技術の習得」など多くの課題がある。そこで農業を魅力ある職業とするため、関係機関の協力を得て、高収益事業、ゆとりある農業経営、活力と潤いのある農業の実現に向けて積極的に支援する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	人・農地プランを活用し、地域の実態に沿った担い手の育成・確保を図るとともに、新規参入者が長期にわたり営農を継続できるよう、就農前の相談から営農開始後の定着に至るまで、県や市などの関係機関と連携したサポート体制の強化を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者就農激励金交付 ・農業青年会議、認定農業者協議会、農業委員会の主催による農業塾の開催 ・「館林市農業青年会議」への活動促進費補助 ・農業委員、農地利用最適化推進委員による家族経営協定についての普及活動 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	242	重要事業	総合戦略	担当部署	農業委員会事務局 農地係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
6・1・1	農業者年金事業		485千円	456千円	485千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶20_安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる
施策の方向	▶1_営農環境の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<p>農業者年金は、国民年金の第一号被保険者である農業者が、より豊かな老後生活を過ごすことができるよう国民年金に上乗せした公的年金制度である。加入資格は60歳未満で年間60日以上農業に従事していることであり、保険料は全額が社会保険料控除となるなど農業者をサポートするものとなっている。要件を満たす農業者への加入推進、加入・脱退・支給停止などの諸手続き、加入者の加入情報管理などを行う業務を独立行政法人農業者年金基金から委託されている。</p>
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①農業者年金事業 農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局による農業者への戸別訪問などの加入推進活動を行う。 また、農業者年金制度に関する研修会等へ参加し、制度の習得を行うとともに、幅広い年代に周知を行い、制度の認知と加入者の増加を図る。 ○農業者年金受給者数 120人 (R3.12.1現在) ○農業者年金新規加入者目標数 2人</p> <p>②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動		①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動	①農業者年金事業 ・農業者への戸別訪問などの加入推進活動
	②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料		②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料	②農業者年金事業 ・農業者年金基金業務委託手数料
事業費		485	485	485
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	485	485	485
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	農業者年金新規加入者数	5	目標値	2	2	2	2	2
		単位：人	実績値	2				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	485 千円	令和3年度決算額	450 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 農業者年金加入者数 ・ 令和3年度加入者数：161名 (令和元年度：183名 令和2年度：165名 令和3年度：161名) ■ 農業者年金新規加入者数 ・ 令和3年度の加入実績：2名 (令和元年度：5名 令和2年度：1名 令和3年度：2名)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、農業者年金新規加入者数は年度目標を達成している。					
課題	農業後継者不足や新規就農者が減少している中、新規加入者の確保が課題となっており、農業者年金制度について地元の農業委員や農地利用最適化推進委員から農業者へより広く周知する必要がある。また、女性や40歳未満の農業者の新規加入者の増加を図るため、戸別訪問などによる世帯員全員へのアプローチが必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	農業者年金の制度（農業者の老後生活を支える唯一無二の公的年金）の意義及び必要性について農業者の理解が深まり、農業者年金に入っていて良かったという農業者が一人でも増えるよう、関係機関・団体・委員等が研修会等へ参加し、自ら制度への理解を深めつつ、連携を密にして制度の周知・啓発や加入推進活動等に取り組む。					
令和5年 度事業計 画	・ 農業委員、農地利用最適化推進委員、事務局による農業者への制度の周知、加入推進、戸別訪問 ・ 研修会等への参加 ・ 主催事業開催時の周知活動等					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	243	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 観光振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・7	国際・都市間交流事業			451 千円	0 千円	446 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	友好都市名護市と花を通じた交流を図る。 ・つつじまつりへの招へい ・名護さくらまつりへの参加
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
・つつじまつりへの公式訪問団招へい ・名護さくらまつりへの参加 オープニングセレモニー、パレードに参加し、本市のPRを行う。 ※令和3年度コロナ禍により上記いずれも中止	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加 ※令和3年度コロナ禍により中止	つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加	つつじまつりの招へい 名護さくらまつりへの参加
事業費		451	451	451
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	451	451	451

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	名護市との交流事業実施回数【R4.6追加】	2	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	446千円	令和3年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■本市「つつじまつり」への沖縄県名護市訪問団の歓迎 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 平成31年4月27日(土)～29日(月) 参加者：名護市副市長、名護さくらの女王ほか ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 ・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 ■沖縄県名護市「名護」「名護さくら祭り」への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 令和2年1月24日(金)～26日(日) 参加者：市議会議長ほか3名(観光協会として+1名) 名護さくらの女王発表祝賀会、名護さくら祭りオープニングイベント等への参加 ・令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 ・令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止となった。沖縄県名護市は、本市の友好都市であり、当事業を継続的に実施することにより、都市間の交流を図ることができる。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における直接訪問型以外の交流方法 ・市内における名護市のPR ・名護市における館林市のPR 					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現地での「名護さくらまつり」への参加、市内「つつじまつり」への招聘の継続。 ・物産交流等も含めた、新たな総合交流について検討を行う。 					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本市「つつじまつり」への沖縄県名護市訪問団の歓迎 ・沖縄県名護市「名護」「名護さくら祭り」への参加 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	244	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 観光振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・4	観光総務			4,553千円	8,137千円	4,553千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶3_連携によるブランドの発信

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金 ・ 市観光協会の運営のための補助金支出 ・ 館林まつり運営のための補助金支出
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
各種負担金・補助金の支出 ・ 群馬県観光物産国際協会負担金 300,000円 ・ 両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 800,000円 ・ 邑楽館林物産振興協会負担金 90,000円 ・ 市観光協会補助金 3,130,000円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	各種負担金・補助金の支出		各種負担金・補助金の支出	各種負担金・補助金の支出
	事業費	4,553	8,137	11,957
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,553	8,137	11,957

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	観光客入込数【総合戦略KPIを兼ねる】 【R4.6追加】	目標値	1,541,220	1,567,729	1,594,694	1,622,122	1,650,000
		実績値	553,631				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,553千円	令和3年度決算額	4,308千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金 ②市観光協会の運営のための補助金支出 ③各種負担金・補助金の支出 ・群馬県観光物産国際協会負担金 270,000円 ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 800,000円 ・邑楽館林物産振興協会負担金 90,000円 ・市観光協会補助金 3,130,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	①各種負担金・補助金の支出 ・群馬県観光物産国際協会負担金 270,000円 ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 800,000円 ・邑楽館林物産振興協会負担金 90,000円 ・市観光協会補助金 3,130,000円					
課題	①館林まつりについてはR元年度より主管課を変更。つつじのまち観光課は手筒花火を担当するものとし、これに関する費用は適宜主管課と協議するものとする。令和2,3年度は中止となったが、次回開催時に点火方向を変更することとし、より安全性を高め、新型コロナウイルスの感染拡大状況次第で観客席を増やす予定である。 ②茂林寺南岸用地の除草等については、つつじが岡公園等維持管理業務委託に含まれているため、予算なし。(そのため、南岸用地に関する予算はない。)					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引き続き、館林市観光協会をはじめ、各種関係団体の育成・支援や連携を図りながら地域において持続可能な観光振興を展開する。					
令和5年度事業計画	【各種負担金・補助金の支出】 ①広域での観光振興キャンペーン等に対する参加負担金支出 ②市観光協会の運営のための補助金支出 ①各種負担金・補助金の支出 ・群馬県観光物産国際協会負担金 ・両毛地域・東武鉄道観光誘客連絡会議負担金 ・邑楽館林物産振興協会負担金 ・市観光協会補助金					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	245	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課	観光振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・4	観光事業			15,538千円	13,605千円	20,655千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶3_連携によるブランドの発信

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 本市の積極的なPR活動と関係機関との連携による誘客活動 観光客の受け入れ体制の整備 「花のまち館林」観光行事の実施 新たな観光資源の掘り起こしと多様化するニーズへの取り組み
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○観光事業【重】	
<ul style="list-style-type: none"> 観光事業の実施（花ハスマつり・桜とこいのぼりの里まつり開催） 駅前観光案内所の運営 貸自転車「ぼんチャリ」事業の運営 観光宣伝看板の設置管理、観光案内印刷物等の作成 Tatebayashi Webフォトコンテストの開催 友好都市との交流事業 インバウンド対策事業 アニメツアーリズム推進事業（宇宙よりも遠い場所の活用事業） 	
○駅前観光案内所運営事業	
<ul style="list-style-type: none"> 駅前観光案内所の運営 東口ロータリーから館林東西駅前広場連絡通路内に移転 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①観光事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業の実施 貸自転車事業の運営 観光案内印刷物等の作成 観光宣伝看板の設置管理 友好都市との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業【重】 観光事業の実施 貸自転車事業の運営 観光案内印刷物等の作成 観光宣伝看板の設置管理 友好都市との交流事業 	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業【重】 観光事業の実施 貸自転車事業の運営 観光案内印刷物等の作成 観光宣伝看板の設置管理 友好都市との交流事業
	②駅前観光案内所運営事業	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所の運営 観光案内所の移転 	<ul style="list-style-type: none"> 館林駅前観光案内所運営事業 観光案内所の運営 	<ul style="list-style-type: none"> 館林駅前観光案内所運営事業 観光案内所の運営
事業費		14,207	16,788	14,207
財源	国庫	1,000	1,000	1,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	13,207	15,788	13,207

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	観光客入込数【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	1,541,220	1,567,729	1,594,694	1,622,122	1,650,000
		実績値	553,631				
総合計画 指標	観光ボランティアガイドの登録者数 【総合戦略KPIを兼ねる】	目標値	70	72	75	77	80
		実績値	56				
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		実績値	62,283				
活動指標	観光案内人数	目標値	5,506	6,332	7,282	8,374	9,630
		実績値	6,111				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	20,655千円	令和3年度決算額	18,439千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①自転車貸出実績 H28:856台、H29:863台、H30:1,176台、R1:1,027台、R2:976台、R3:2,095台 貸出業務は3か所の自転車預所(館林ヒルズホテル、茂林寺、多々良沼)に委託 ②天童市農業まつり縮小により、相互物産交流を実施(うどん、落雁等販売) ③花ハスまつり(R3年度も縮小開催)： 花ハス遊覧船乗船数 H29:5,500人、H30:6,430人、R1:5,425人、R2:2,141人、R3:3,863人 ④放送番組：TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」放映協力金、番組内CM作成・放映等。 ⑤桜まつり(R2年度は緊急事態宣言(4/16)後中止)： 観光入込客数 H28:53,600人、H29:61,200人、H30:57,600人、H31:57,600人、R2:17,760人、R3:一人(中止) ⑥こいのぼりの里まつり(R2年度は緊急事態宣言(4/16)後鶴生田川(城町)のみ中止) 観光入込客数 H28:261,400人、H29:266,000人、H30:211,600人、R1:240,400人、R2:102,380人、R3:一人(中止) ⑦ググッとぐんま(群馬デスティネーションキャンペーン)： 通常は都内キャンペーンや商談会実施。R2年度はコロナウイルス感染拡大に伴い中止。 ⑧館林駅前観光案内所運営事業 ・観光案内利用者数 H28:22,223人、H29:12,663人、H30:11,877人、R1:9,364人、R2:4,788人、R3:6,111人		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	①観光客受け入れ体制の充実 ②『日本遺産「里沼」とつつじのまち館林』観光行事の実施 ③アニメツーリズムの推進(TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」関連) ④本市のPRのため、広域にわたる観光物産宣伝の実施
課題	①駅前観光案内所の運営方法の検討 ②日本遺産「里沼」を活用した体験型観光の創出及びPR ③TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用したアニメツーリズム ④館林市観光協会の法人化に関する研究・検討
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	①館林駅観光案内所の運営方法の検討 ②日本遺産「里沼」を活用した体験型観光の創出及びPR ③TVアニメ「宇宙よりも遠い場所」を活用したアニメツーリズム ④館林市観光協会の法人化に関する研究・検討
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・花ハスまつり開催に関する事 ・放送番組開催に関する事 ・桜とこいのぼりの里まつり開催に関する事 ・観光・物産宣伝に関する事 ・山形県天童市観光物産交流に関する事 ・つつじが岡公園の宣伝に関する事 ・旅行商品造成に関する事 ・つつじまつり式典設営業務委託料 ・Webフォトコンテスト事業に関する事 ・里沼体験コンテンツ開催に関する事 ・館林駅観光案内所の運営に関する事
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	246	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	公園管理			78,131千円	64,081千円	89,489千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶1_観光資源の創出と活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の都市公園の中でも歴史ある観光型の公園であり、四季を通して市民をはじめ多くの観光客に安全に安心して利用していただくため、適正に管理すると共に、更なる集客策を追求する。さらに、「つつじまつり」の開催による、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじが岡公園管理事業【重】
- ・つつじが岡公園の維持管理業務
 - ・つつじが岡公園再整備基本計画の策定
 - ・公園設備の保守および点検
 - ・つつじまつりの運営
 - ・公共施設の利活用

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備計画策定	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の社会実験	○つつじが岡公園管理事業【重】 ・つつじが岡公園の維持管理業務委託履行確認業務の実施 ・公園内建物（総合管理事務所、秋元別邸）の保守及び点検 ・公園内施設や電気設備の保守及び点検 ・公園内高木剪定業務の実施 ・つつじまつり運営 ・公園施設使用許可事務 ・公園再整備事業の実施	
	事業費	89,489	89,489	89,489	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		74,353	74,353	74,353	
	一般財源	15,136	15,136	15,136	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		実績値	62,283				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	89,489千円	令和3年度決算額	67,876千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ つつじまつり入園者数 令和元年度：有料人数 91,048人 入園料収入 53,437千円 総入園者数 約129千人 令和2年度：つつじまつり中止 令和3年度：有料人数 43,521人 入園料収入 24,724千円 総入園者数 約62千人 ・ 四季型の充実、インバウンド事業 令和元年度：正面券売所看板設置(インバウンド)、大徒渉池濾過ポンプ、滅菌機等交換など 令和2年度：維持管理の業務委託化、旧公園内及び観光案内所放送設備改修工事、AED1台増設、ケヤキ剪定4本 令和3年度：つつじが岡公園等維持管理業務委託、つつじが岡公園再整備基本計画策定業務委託、樹木管理、園内清掃業務委託 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	つつじが岡公園は、国指定名勝「躑躅ヶ岡」を有し、本市を代表する観光名所となっている。つつじまつりを中心とした集客力の向上を図るとともに、四季折々の花が楽しめる空間としての魅力増進と、新たなコンテンツの充実により、新規来訪者の獲得など、年間を通じた集客力の向上が求められている。なお、新型コロナウイルスの影響で、令和2年度は「つつじまつり」を中止したが、令和3年度は、規模を縮小し開催した。令和4年度も同様の開催を検討している。					
課題	①つつじまつりの有料入園者数・入園料収入が減少傾向となっている ②体験型観光の充実による通年での誘客が求められている ③新型コロナウイルス感染症対策・来園者の安全安心の確保が求められている					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	年間を通じて老若男女に利用される四季型公園を目指して、園内の物販・飲食の充実を図り、地域住民の日常利用の増加や観光地としての集客力を強化するとともに、里沼のロケーションを活かした心地よい空間の更なる向上を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設維持管理の安定化（業務委託の更新） ※つつじが岡公園等維持管理業務委託（3か年の長期継続契約：R2.4.1～R5.3.31） ・ 公園施設工事、修繕 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	247	重要事業	○	総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	つつじ保護育成事業			9,114千円	7,069千円	6,442千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発
施策の方向	▶2_公園・緑地の魅力の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の都市公園の中でも歴史ある観光型の公園であり、国指定名勝「躑躅ヶ岡」のつつじを保護育成しながら後世に伝えていくため、丁寧な管理と調査を行っていきと共に、貴重な文化財として地元の小中学生などに、貴重さ大切さをPRする。さらに、「つつじまつり」の開催による、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじ保護育成事業【重】
- ・ ツツジの保護管理（病虫害防除、整枝剪定、施肥、灌水などの肥培管理）
 - ・ 樹勢回復、開花保持のための調査（開花調査、着花調査、土中水分調査、花芽調査、着蕾率調査等）
 - ・ 後継木の育成（品種の保持、歴史的文化的価値の継承、観賞的価値の高い品種の育成）
 - ・ 館林のつつじ啓発活動（歴史的文化的価値の理解促進つつじガイド指導育成、館林つつじサポーターズ倶楽部事務局運営）
 - ・ 文化財保護（文化財の保護、行為申請、保存活用計画策定準備のための関係機関協議）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		○つつじ保護育成【重】 ・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施 ・ 土壌分析業務の実施 ・ 灌水パイプ布設工事の実施 ・ ツツジ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施 ・ 土壌分析業務の実施 ・ ツツジ移植工事の実施	○つつじ保護育成【重】 ・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施 ・ 土壌分析業務の実施 ・ ツツジ移植工事の実施
	事業費	3,786	3,786	3,786
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,200	1,200	1,200
	一般財源	2,586	2,586	2,586

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		実績値	62,283				
活動指標	つつじサポーターズ倶楽部個人会員数	目標値	571	581	591	601	611
		実績値	426				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	6,442 千円	令和3年度決算額	3,197 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 灌水パイプ敷設 令和元年度：141.0m 令和2年度：142.0m 令和3年度：134.0m ・ つつじ植栽 令和元年度：5本 令和2年度：8本 令和3年度：10本 ・ つつじガイドボランティア案内人数実績 令和元年度：467回7,641名 令和2年度：つつじまつり中止 令和3年度：コロナ感染防止により案内実績はなし 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	古木管理について、平成25年度に開花不良があったため、平成26年度から県林業試験場との共同研究により、着花調査等を実施している。 ※着花指数（H26年度3.75、H27年度3.60、H28年度3.98、H29～R元年度4.00、R2年度3.88、R3年度3.87）⇒ 安定 なお、公園の維持管理については、令和2年度から業者への維持管理業務委託を行っている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ つつじの保護管理の継続（樹勢回復、開花保持のための調査、後継木の育成、つつじ保護育成対策委員会） ・ 維持管理の安定化（技術の継承） ・ 文化財の保護、行為申請、館林のつつじ啓発活動 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	国指定名勝「躑躅ヶ岡」をはじめとする園内のつつじ定植エリアでは、つつじの保護育成の徹底と、つつじまつりを中心とした集客力の向上を図るとともに、周辺エリアを含めた賑わいの創出を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ つつじの保護管理（樹勢回復、開花保持のための調査、後継木の育成、つつじ保護育成対策委員会） ・ 公園施設維持管理の安定化（業務委託の更新） ※つつじが岡公園等維持管理業務委託（3か年の長期継続契約：R2.4.1～R5.3.31） ・ 館林のつつじ啓発活動 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	248	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	つつじのまち観光課 観光振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	つつじが岡ふれあいセンター運営事業			14,106千円	10,027千円	13,212千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」と観光協会グッズ等を販売する「売店」の運営を行う。また、団体受入も可能とした飲食スペースである「フードコート」を運営する施設管理運営業者と連携して、多くの公園利用者に楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじが岡ふれあいセンター運営事業
- ・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催
 - ・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務
 - ・日本遺産「里沼」ガイドセンターとしての管理運営
 - ・フードコート施設管理運営業者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施
 - ・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし
 - ・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理
 - ・誘客業務（パンフレット作成など）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業	○つつじが岡ふれあいセンター運営事業
	・つつじ映像学習館の運営管理	・つつじ映像学習館の運営管理	・つつじ映像学習館の運営管理	・つつじ映像学習館の運営管理
	・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理	・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理	・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理	・売店及びアニメツーリズム展示の運営管理
	・ギャラリーや展示物の運営管理	・ギャラリーや展示物の運営管理	・ギャラリーや展示物の運営管理	・ギャラリーや展示物の運営管理
	・フードコート施設管理運営業者との連携調整	・フードコート施設管理運営業者との連携調整	・フードコート施設管理運営業者との連携調整	・フードコート施設管理運営業者との連携調整
事業費	13,212	13,212	13,212	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	4,781	4,781	4,781
	一般財源	8,431	8,431	8,431

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	映像学習館の入館者数	目標値	2,300	2,645	3,042	3,498	4,023
		実績値	1,650				
活動指標	ふれあいセンターフードコートの入場者数	目標値	20,000	21,000	22,050	23,153	24,310
		実績値	22,341				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	13,212 千円	令和3年度決算額	11,084 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催 ・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務 ・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営 ・フードコート施設管理運営者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施 ・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし ・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理 ・誘客業務（パンフレット作成など） 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	公園に通年で誘客するための核となる施設として、立体映像等を活用して満開のつつじを体感できる施設「つつじ映像学習館」と観光協会グッズ等を販売する「売店」の運営を行う。また、団体受入も可能とした飲食スペースである「フードコート」を運営する施設管理運営者と連携して、多くの公園利用者を楽しんでいただくとともに、さらなる魅力向上を図る。 都市公園法、館林市公園条例、つつじを愛し保護する条例		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじが岡ふれあいセンターでの営業活動を通して、つつじ映像学習館やフードコート・売店の利用促進、入館料・使用料の増加を目指す。 ・つつじ映像学習館内コンテンツを充実させるために、より魅力的な空間作りを行う。 ・イベント等を実施するごとに、様々な手段を用いて情報発信し、周知をはかる。 ・つつじ映像学習館及びつつじが岡公園をより多くの方に認知していただくため、企画展を継続的に実施する。 ・つつじが岡公園周辺施設と連携し、誘客促進する。 ・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしてのコンテンツを充実させる。 ・新作4D映像の広告宣伝 		
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	年間を通して誘客促進をするため、向井千秋記念子ども科学館との連携を図る。		
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじの啓発、学習活動、企画展示（ギャラリー展示など）開催 ・入館料徴収事務、4Dシアター等管理運営及び案内・PR業務 ・日本遺産「里沼」ガイダンスセンターとしての管理運営 ・フードコート施設管理運営者と公園利用者増へ向けて、協働事業の実施 ・売店運営の充実とアニメツーリズム来訪者へのおもてなし ・施設全体の機械警備、設備機器の保守点検など安全安心な施設管理 ・向井千秋記念子ども科学館との共通券の販売 		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	249	重要事業		総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・6	サイクリングターミナル運営			2,817 千円	2,547 千円	1,401 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶2_多様な観光客への対応

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	サイクリングターミナル+南側公園用地を一体的に運営する事業者を官民連携手法により公募・選定し、令和6年度に新たな施設の営業を開始。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○サイクリングターミナル運営	「つつじが岡公園再整備基本計画」を基に、都市計画用途地域の変更を検討していく。
----------------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		○サイクリングターミナル運営事業 ・策定審議会	○サイクリングターミナル運営事業 ・高圧受電設備使用再開前点検・工事 ・トランス更新工事 ・受電設備清掃・点検業務委託 ・指定管理者選定委員会+P-PFI 事業者選定委員会報償費 ・改修工事詳細設計業務委託 ・南側公園用地測量 ・用地詳細設計業務委託	○サイクリングターミナル運営事業 ・受電設備清掃・点検業務委託 ・施設改修工事	
	事業費	1,401	1,401	1,401	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	1,401	1,401	1,401	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,401 千円	令和3年度決算額	1,286 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	平成30年度：施設巡視、除草等 ・利活用に向けた庁内調整会議（計5回） 令和元年度：施設巡視、除草等 ・若い世代へのサウンディング調査（計3回） アウトドア事業者アンケート、市場型サウンディング調査 令和2年度：施設巡視、除草、ケヤキの剪定8本等 サウンディング型市場調査説明会・対話実施（計21回） 令和3年度：施設巡視、除草、つつじが岡公園再整備基本計画策定審議会（計3回）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市の政策として、令和6年にサイクリングターミナル及び南側の現在未供用の公園用地を運用開始しなければならない。					
課題	都市計画用途地域が第一種低層住居専用地域であり、現状のままだと施設の営業実態と合わずに民間事業者の継続的運営が厳しい。また、南側の現在未供用となっている公園用地の活用が求められている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・施設維持管理（樹木剪定、除草、巡回警備） ・高圧受電設備使用再開前点検・工事 ・トランス更新工事 ・改修工事詳細設計業務委託（設備劣化調査等を含む） ・サイクリングターミナル指定管理者選定		・パークPFI事業者選定（南側公園用地） ・南側公園用地測量・地質調査業務委託 ・南側公園用地詳細設計業務委託			
令和5年度事業計画	・サイクリングターミナル改修工事 ・南側公園用地造成工事					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	250	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	文化振興課	日本遺産推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
2・1・1	日本遺産推進事業			32,123千円	29,604千円	31,032千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち ▶Ⅳ_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶15_地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる ▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策の方向	▶6_日本遺産を活用した地域の魅力発信や環境整備 ▶1_観光資源の創出と活用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市に存在する文化・歴史と観光・産業等を融合させ、令和元年度文化庁日本遺産に認定された「里沼(SATO-NUMA)」を地域活性化や外国人インバウンド等の向上につなげる。「里沼」ストーリーと地域に点在する構成文化財のもつ価値・意義を市民に伝えることにより、シビックプライド醸成による地域活性化、観光・インバウンド増加による経済効果を目的とする。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
1. 日本遺産推進事業	
①事業概要：「日本遺産」認定後の推進組織の運営及び、地域活性化計画に位置付けられた各種事業の展開を推進する。歴史や文化財と、本市に存在する観光や産業などを融合させ、郷土愛(シビックプライド)の醸成による地域振興や国内外からの来訪者による交流人口、定住者を含めた関係人口の増加を目指す。	
②事業内容：	
(1)「里沼」の調査・研究・普及・啓発 →(A)調査・研究事業の実施 (B)普及・啓発事業の実施 (C)先進地事例の視察、外部研修会等への参加 (D)展示会・PRイベント等の開催	
(2)里沼シティプロモーション →(A)群馬ダイヤモンドベガサス連携事業 (B)インターネットを活用した情報発信	
2. 「里沼」体感！ワークショップ事業	
①事業概要：「里沼」を活かしたワークショップを具体的に展開し、本市の魅力向上やコト消費の充実につなげる。	
②事業内容：	
(1)「里沼」題材の各種ワークショップの開催 →(A)地域プレイヤーと連携したワークショップ実施 (2)里沼カヌー・カヤック講座の開講 →(A)(B)里沼カヌー・カヤック講座・体験会実施 (C)城沼水面利用ルール策定・届出制度運用 (3)体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 →(A)新ワークショッププログラム創出のための検討	
3. 日本遺産推進協議会等支援事業	
①事業概要：日本遺産推進事業と同じ (*日本遺産「里沼」地域活性化計画に位置付けた協議会事業[令和元～6年度])	
②事業内容：	
(1)館林市「日本遺産」推進協議会事務局 →(A)館林市「日本遺産」推進協議会の運営 (B)文化庁補助事業の執行 (C)スマベーション連絡協議会の運営 (D)推進協議会補助金・貸付金の管理	
(2)経済部局と連携した文化庁補助事業の実施→(A)日本遺産及び「里沼」ロゴ許認可事務 (B)庁内タスクフォース会議への参加と関係課調整	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	日本遺産推進事業 ・「里沼」の調査・研究・普及・啓発 ・「里沼」体感！ワークショップ事業 ・「里沼」題材の各種WSの開催 ・里沼カヌー・カヤック講座の開講 ・体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 日本遺産推進協議会等支援事業 ・経済部局(商工課・観光課)と連携した文化庁補助事業の実施 ・館林市「日本遺産」推進協議会事務局	日本遺産推進事業 ・「里沼」の調査・研究・普及・啓発 ・里沼シティプロモーション ・「里沼」体感！ワークショップ事業 ・「里沼」題材の各種WSの開催 ・里沼カヌー・カヤック講座の開講 ・体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 日本遺産推進協議会等支援事業 ・経済部局(商工課・観光課)と連携した推進協議会事業の実施 ・館林市「日本遺産」推進協議会事務局	日本遺産推進事業 ・「里沼」の調査・研究・普及・啓発 ・里沼シティプロモーション ・「里沼」体感！ワークショップ事業 ・「里沼」題材の各種WSの開催 ・里沼カヌー・カヤック講座の開講 ・体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 日本遺産推進協議会等支援事業 ・経済部局(商工課・観光課)と連携した推進協議会事業の実施 ・館林市「日本遺産」推進協議会事務局	日本遺産推進事業 ・「里沼」の調査・研究・普及・啓発 ・里沼シティプロモーション ・「里沼」体感！ワークショップ事業 ・「里沼」題材の各種WSの開催 ・里沼カヌー・カヤック講座の開講 ・体験型プログラム創出を目的とした調査・検討 日本遺産推進協議会等支援事業 ・経済部局(商工課・観光課)と連携した推進協議会事業の実施 ・館林市「日本遺産」推進協議会事務局	
	事業費	31,032	26,000	26,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	31,032	26,000	26,000	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小・中学生における日本遺産「里沼」の認知度	0	目標値	63.0	66.0	68.0	70.0	73.0
		単位：%	実績値	61.6				
活動指標	日本遺産「里沼」関連で開発された商品・サービス数	0	目標値	20	25	28	30	32
		単位：件	実績値	34				
活動指標	日本遺産への協力件数(市民・ガイド団体+民間事業者等)	8	目標値	25	30	32	33	35
		単位：件	実績値	735				
活動指標	観光客入込み数	150	目標値	189	196	200	200	200
		単位：万人	実績値	50				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	31,032 千円	令和3年度決算額	29,280 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>【平成30年度】《文化振興課にて申請事務。6月補正にて商工費⇒総務費へ組替え》平成30年度末までに文化庁(3回)、県(2回)との協議、先進地視察(桐生市・宇都宮市・足利市・行田市)、PR活動・アンケート調査(武鷹館つつじまつり、市民講座等)、ワークショップ(中部公民館歴史散策講座)、異才発掘ROCKETプロジェクトにおける講座等を実施。申請事務を進めるとともに、地域の魅力を掘り起こし、地元住民へ伝える取組みを推進。日本遺産を通じた地域活性化計画(まちづくり計画)も併せて作成。文化財係で進める歴史文化基本構想策定の補助も行う。(平成30年12月策定済)※日本遺産については、平成31年1月23日に文化庁へ申請</p> <p>【平成31年・令和元年度】《引続き文化振興課にて事務実施》4月24日文化庁よりヒアリングが実施され、5月20日「日本遺産」認定。認定に伴い、6月27日館林市「日本遺産」推進協議会を設立。補助金交付決定後、6分野17事業実施。[商工課・つつじのまち観光課・文化振興課]庁内調整会議16回、国県との協議10回、日本遺産「里沼」を普及啓発するためのシンポジウムをはじめとする啓発活動38回、里沼を体感するためのWS活動11回実施。</p> <p>【令和2年度】引続き文化振興課にて事務を行う。新型コロナウイルスの影響により上半期は事業実施が困難であるものの、7月27日第2回館林市「日本遺産」推進協議会、11月に館林市ヌマベーション連絡協議会を開催。文化庁補助金を活用し、人材育成・普及啓発・調査研究・情報発信・活用整備分野における各種事業を展開した。</p> <p>【令和3年度】文化振興課に日本遺産推進係を新設し、企画課が担っていた推進協議会事務局事業を統合。引続き新型コロナウイルスの影響により大規模なイベント・PR活動等は開催できなかったが、市単事業及び推進協議会事業を中心に人材育成、普及啓発、調査研究、情報発信、活用整備の各分野での事業を展開した。特に新規事業として、里沼カヌー・カヤック講座や市内小・中学校の総合学習と連携した普及によるシビックプライド醸成に取り組んだ。</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	日本遺産推進事業は、第6次総合計画において重要事業に位置しており、日本遺産「里沼」認定を通して、本市の文化・歴史を観光・産業と結びつけることで、地域振興へと繋げることができる。また、地元住民が自分たちの地域の魅力を再認識することで、地域活性化や魅力あるまちづくりへの気運の醸成を図ることができる。
課題	(1) 地域活性化を進めるにあたり、事業推進に適した体制づくり・人材確保が必要。 (2) 各種事業展開に向けた庁内における高いレベルでの共通認識(庁内連携)。 (3) 地域で活躍するプレイヤーの発掘・選定・活動支援。 (4) 地域住民が館林市の魅力を再認識できるような機会(普及活動・連携事業)の提供。 (5) 円滑に事業推進できるための予算(推進協議会の原資等)及び人員確保。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止) ■文化庁は、令和3年度に日本遺産再審査制度を導入した。認定6年間経過後のストーリー浸透や各種事業展開の継続性、事業推進体制の「自走」など、地域活性化の度合いを検証し、取組みが不十分な場合は「認定取消し」措置が行われる。 ■本市においては(A)活動者の「自走」(=行政の資金投入はあるものの、組織運営や事業実施自体はプレイヤーを統括できる人材が担っている状態)と、(B)資金面での「自走」(=推進体制が将来的に法人化・会社化し、独立採算(一部行政からの資金援助)での組織運営、事業実施ができていく状態)と段階的に区分し、(A)の成果が出つつある状況。令和4～6年度で早期に(A)活動者の「自走」を実現し、段階的に(B)資金面での「自走」への移行に向けた検討に着手したい。 ■本市においては日本遺産「里沼」に対して①シビックプライド醸成、②ブランディングを主眼として取り組んできたが、収益化が難しく且つ地道な普及活動が鍵を握る①については、引き続き館林市が主体となって普及啓発や人材育成、調査研究分野における下支えを行う必要がある。一方で情報発信や活用整備に関する②は、民間事業者や民間活動者の巻き込みが重要であることから、現在検討が進められている観光協会法人化等の動きと密接に連動させ、日本遺産「里沼」の推進を図っていくことが重要。
令和5年度事業計画	■令和3年度より日本遺産推進係が新設されたが、事業を継続していくための庁内体制(人員配置・予算確保等)整備が必要。日本遺産「里沼」は文化財部局だけでなく、企画部局・経済部局と連携し、全庁的に「里沼」地域活性化計画事業を推進・展開する必要があることから、教育委員会ではなく政策企画部に移して司令塔機能を強化することが重要である。 ■地域活性化計画に位置付けた16事業(令和元～3年度)→10事業(*統合集約：令和4年度～)を引続き実施しながら、活動指標に掲げた4つのKPIの達成に向けて取り組んでいく。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	251	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
2・1・6	まちひとしごと創生推進事業			15,488千円	1,483千円	15,915千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
基本目的	▶V_公民連携を推進し地域経営の視点を持つ持続可能なまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶29_時代に対応できる自立した持続可能なまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進
施策の方向	▶1_総合計画及び総合戦略の着実な実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	急激な少子高齢化の進展に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京への人口一極集中を是正し、持続可能な社会形成を行うために、第2期総合戦略に基づき、各施策を着実に実施する。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①まちひとしごと創生推進事業【重要事業】
- ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証を行う。
 - ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等と連携し、移住相談会を実施するなど、U I J ターンのための情報提供を行う。
 - ・各種移住定住施策を推進し、人口減少の緩和と交流人口の拡大を図る。
 - （婚活支援事業補助金）
男女の出会いの場を提供する事業又は結婚を促進するための事業を行う団体に対し、事業費の一部を補助する。
 - （わくわく地方生活実現支援金）
地域経済の活性化と移住・定住の促進を図るため、東京圏からの移住者等に対し支援金を支給する。
 - （市有地活用移住定住支援金）
移住者が市有地を購入し、居住住宅を建設した場合に支援金を支給する。
 - （定住促進通学支援金）
若者の定住化を促進するため、市内から東京都等に通学する者に対して支援金を支給する。
 - （移住促進まちなか新築住宅取得支援金）
まちなかの定住人口増加及び活性化のために、まちなかに新たに住宅を取得した者に支援金を支給する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進		①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進	①まちひとしごと創生推進事業【重】 ・第2期総合戦略の進行管理及び事業の検証 ・ふるさと回帰支援センターや群馬県等との連携推進 ・各種移住定住施策の推進
	事業費	15,915	14,669	14,669
財源	国庫	3,450	3,450	3,450
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,465	11,219	11,219

【関連する指標】

総合戦略 KPI	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	移住定住の相談人数（累計）	27	目標値	30	60	90	120	150
			実績値	27				
総合戦略 KPI	東京都でのPR活動回数（累計）	2	目標値	2	4	6	8	10
			実績値	7				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活イベント参加者数（累計）	65	目標値	89	178	267	356	445
			実績値	0				
総合戦略 KPI	市の支援による婚活事業でのカップル成立数（累計）	5	目標値	10	20	30	40	50
			実績値	0				

【令和3年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和3年度予算額	15,915千円	令和3年度決算額	5,327千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【第2期総合戦略の進行管理及び事業検証】 目標達成に向け順調に推移している指標割合 令和元年度：51.6% 令和2年度：46.4% 令和3年度：143.6% ※令和元年度及び2年度は、第1期総合戦略の実績。		
	各種移住定住施策 【令和3年度】 ・婚活支援事業補助金 1件 159,170円 ・わくわく地方生活実現支援金 3件 1,800,000円 ・市有地活用移住定住支援金 1件 500,000円 ・定住促進通学支援金 115件 2,245,330円 ・移住促進まちなか新築住宅取得支援金 1件 450,000円 【令和2年度】 ・婚活支援事業補助金 0件 0円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円 ・市有地活用移住定住支援金 0件 0円 ・定住促進通学支援金 46件 893,000円 【令和元年度】 ・婚活支援事業補助金 4件 739,130円 ・わくわく地方生活実現支援金 0件 0円 ・市有地活用移住定住支援金 0件 0円		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	・東京都でのPR回数や市の支援による婚活イベント参加者数をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大により実績に影響が出たものが多い。 ・一方で、定住促進通学支援金については、PRを強化し、通学を再開した学生が増えたことから件数が大きく伸びている。 ・わくわく地方生活実現支援金（移住支援金）についても、地方移住への関心の高まりや制度の浸透などにより、申請及び問い合わせ件数も増えてきている。
課題	移住支援全般について、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により非対面でのイベントが主流となっている。以前までは東京都内で群馬県全体の相談会を開催するなど、群馬県への移住に興味がある方を広くターゲットとできたが、オンラインの場合は対面イベントと比べて参加のハードルが高く、また個々の市町村の知名度などが求められる。また、結婚支援に関しても同様に、対面での開催が難しく、非対面（オンライン）への対応が必要不可欠だと思われる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	地方創生（まち・ひと・しごと総合戦略の推進）は、人口減少対策を目的としており、持続可能なまちづくりのために必要不可欠な事業である。他市町と同様の施策を実施していても、本市への移住者の増加は見込めないことから、本市の優位性を生かした施策を検討しなければならない。このため、既存事業の効果検証を行い、常に事業の改善を図る必要がある。
令和5年度事業計画	・総合戦略の進捗管理 ・移住関連イベントの実施 ・各種移住定住施策の実施 ・移住コーディネーターとの協働による情報発信 ・婚活事業の支援
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	252	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
8・6・1	空家対策事業			2,373 千円	1,363 千円	3,255千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶7_健全な市街地の形成
	▶2_健全な市街地の形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	年々増加する空き家の問題に対し、購入費用または家賃の助成等の支援をし、居住可能な空き家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①空家利活用事業【重要事業】

- ・空家利活用助成金
市内市外の方を問わず、市内の空き家を自ら居住する目的で購入または賃借した場合に、購入費用の一部または家賃の一部を助成する。また貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付し、空き家利活用促進のために、空き家バンク登録者に対しても、登録助成金を支給する。
- ・空き家情報登録制度（空き家バンク）
「空き家情報登録制度」を設け、移住・定住を希望しているかたや、空き家を利活用したいかたに市内の空き家情報を提供する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）		①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）	
	事業費	3,255	3,257	3,257	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	3,255	3,257	3,257	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	空き家バンク登録物件利活用件数（累計）	2	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	6				
活動指標	空き家バンク登録物件数（累計）	6	目標値	7	14	21	28	35
		単位：件	実績値	5				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,255 千円	令和3年度決算額	1,561 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家バンク登録物件 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度～令和3年度の累計実績 18件 内訳(令和元年度: 6件 令和2年度: 7件 令和3年度: 5件) ■空き家バンク利用希望者数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度～令和3年度の累計実績 13人 内訳(令和元年度: 2人 令和2年度: 8人 令和3年度: 3人) ■空き家利活用助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度～令和3年度の累計実績 17件 内訳(令和元年度: 2件、令和2年度: 6件、令和3年度: 9件) ※令和3年度については、登録助成金3件含む。 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	空き家バンク登録物件利活用件数については目標値を上回っている一方、空き家バンク登録物件数は下回る結果となった。過去の記録を整理すると、相談事業者を介した物件は利活用につながる傾向があることが分かる。 また、令和3年度については、空き家バンク利用希望者数も減少している。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家所有者の意向把握 ・空家バンク認知度の向上、登録物件の増加 ・相談事業者との連携 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	年々空家件数は増加しており、周辺住民や地域へ悪影響を与える空家になる前の段階で、空き家バンクの利活用等により継続して課題解決を図る必要がある。 本市の空き家バンク登録物件数については、県内他市と比べても少ないことが分かっているため、相談事業者と連携しながら、まずは物件数及び利用希望者の増加から取り組んでいく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家購入への助成 ・空き家賃貸借への助成 ・空家登録者への助成 ・空き家バンクの拡充 ・空き家見学会の実施 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	253	重要事業		総合戦略		担当部署	市民協働課	市民相談係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
2・1・7	市民相談事業			5,503千円	5,257千円	5,995千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶1_地方創生施策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民からの意見や要望、苦情等を受け付け関係各課と調整し対応することで、市民が抱える問題の解決を図り、市民の声を生かした行政運営に努める。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①市民の声への対応（受付、対応調整、対応状況管理、全庁的情報共有）
- ②市庁舎総合案内の運営
- ③法律相談（月4回：第1～4火曜）及び婚活応援事業（月2回：第2・4日曜の相談業務等）の実施
- ④行政相談委員の活動支援

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内の運営 ③法律相談及び婚活応援事業の実施 ④行政相談委員の活動支援	①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内の運営 ③法律相談及び婚活応援事業の実施 ④行政相談委員の活動支援	①市民の声への対応 ②市庁舎総合案内の運営 ③法律相談及び婚活応援事業の実施 ④行政相談委員の活動支援
事業費		5,995	4,985	4,985
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,995	4,985	4,985

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	5,995 千円	令和3年度決算額	5,742 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①市民の声への対応 令和元年度103件 令和2年度96件 令和3年度125件 ②市庁舎総合案内の運営 ③法律相談及び婚活応援事業の実施 ④行政相談委員の活動支援			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政に関する意見については、所管部署において対応が図られるよう、「館林市市民の声取扱規定」に基づき、適切に対応した。 ・ 法律相談・婚活相談については、社会福祉協議会と連携し、相談希望者の対応を行った。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の貴重な声を聴き、理解と協力を得ながら行政運営に繋げる。 ・ 来庁者をスムーズに目的の部署に案内するための庁舎内の情報の集約を強化する。 ・ 結婚相談（婚活応援事業）については、登録者確保のため、ニーズに合わせた事業を行い、カップル成立に繋げる。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民からの意見要望等を適正に管理し、関係各課と連携を図りながら、行政運営の理解・協力が得られるよう努める。 ・ 結婚相談（婚活応援事業）については、今後も社会福祉協議会や結婚支援員と連携し、コロナ禍の状況でもニーズにあった事業を展開することで登録者確保に繋げ、目的を達成するための支援を継続していく。 					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政のさまざまな情報を適切に管理するとともに、市民が行政の持つ情報資源を有効に活用できるよう情報の共有を図る。 ・ 市民との意思疎通を図り、理解と協力を得ながら行政課題を解決するために、市政情報のわかりやすい広報を進める。 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	254	重要事業	総合戦略	担当部署	産業政策課 産業政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)
7・1・8	産業政策総務			4,078千円	425千円
				当初予算額 (R3)	4,058千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地（旧土地開発公社保有地）の民間売却、有効活用促進及び維持管理 ・公拡法に基づく届出・申出の受理 ・地価公示法に基づく適正価格による土地取引の推進 ・産業祭開催に伴う全体総括業務 ・公民連携による地域資源利活用の仕組みづくり
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
産業政策総務 ○市有地（旧公社保有地）の民間売却及び有効活用促進、維持管理 ・普通財産に区分された用地の一般競争入札による早期売却の推進及び貸付等有効活用、売却できるまでの除草等維持管理 ○公拡法に基づく公共事業予定地の確保、適正価格による土地取引推進 ・住みよい街づくりに必要な公共用地（道路、公園、学校等）を計画的に取得するため、一定の要件に該当する土地の売買についての届出・申出を受け付け、公有地としての先行取得の希望調査を実施する。 ○産業祭開催に伴う全体統括業務 ・館林市の農業・商業・工業等の事業者と消費者が一体となって、交流都市の物産展やはたらくくるま展示、木工広場等の体験ブースの設置、郷土の生産物の販売等により交流人口の拡大を図る。 ○公民連携による地域資源利活用の仕組みづくり ・官と民とをつなぐ有機的にマネジメントできる仕組み（中間組織）づくりの推進	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	産業政策総務	○市有地(旧公社保有地)関連事業 ・一般競争入札の実施 ・入札不調物件の随時売払 ・売却のための整備 ・有効活用 ・維持管理 ○公民連携資源利活用の仕組みづくり ・団体との意見交換 ・社会実験 ・中間組織(地域経営組織)づくり	産業政策総務 ○市有地(旧公社保有地)関連事業 ・一般競争入札の実施 ・入札不調物件の随時売払 ・売却のための整備 ・有効活用 ・維持管理 ○公民連携資源利活用の仕組みづくり ・団体との意見交換 ・社会実験 ・地域資源活用のルール作り ・中間組織(地域経営組織)の設立	産業政策総務 ○市有地(旧公社保有地)関連事業 ・一般競争入札の実施 ・入札不調物件の随時売払 ・売却のための整備 ・有効活用 ・維持管理 ○公民連携資源利活用の仕組みづくり ・団体との意見交換 ・社会実験 ・中間組織(地域経営組織)の運営
	事業費	4,058	4,081	4,081
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,058	4,081	4,081

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	市有地(旧公社保有地)の民間売却 【R4.6追加】	3	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	0				
活動指標	官と民とをつなぐ仕組みづくり（イベント開催）【R4.6追加】	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：件	実績値	1				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,058 千円	令和3年度決算額	520,890 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○市有地（旧公社保有地）の民間売却及び有効活用促進、維持管理 ・旧公社解散時に売却面積は約4.2haであったが、これまでに約2.4haを売却（約0.8haは事業用地として担当課へ所管替え。約1.0haの土地が未処分） ○公拡法に基づく公共事業予定地の確保、適正価格による土地取引推進 ・令和3年度の実績内訳（4条：6件、5条：3件） 買取協議が1件あったが、不成立 ○産業祭開催に伴う全体統括業務 ・令和元年度の来場者数は「のべ約4万3千人」。前年度よりも市外から来場者が約4%増加 ・令和2年度、令和3年度は中止 ○公民連携による地域資源利活用の仕組みづくり ・官と民とを有機的につなぐ仕組みとして、令和3年11月23日に「つなぐ・まちなかフェス in たてばやし」を実施		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、市有地（旧公社保有地）の民間売却が交渉中である。公拡法は申請に基づく内容である。公民連携については地域資源である公共施設を利活用したイベントを実施した。
課題	・市有地（旧公社保有地）の売却の推進及び貸付等の有効活用 ・公民連携について、団体との意見交換によるニーズの把握
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	未処分となっている土地は、形状が悪い土地や狭小な土地、隣接地権者しか利用できない土地など、売却が困難な土地も多いが、引き続き、一般競争入札や個別交渉により更なる売却を進める。
令和5年度事業計画	・市有地（旧公社保有地）の民間売却及び有効活用促進、維持管理 ・公拡法に基づく公共事業予定地の確保、適正価格による土地取引推進 ・産業祭開催に伴う全体統括業務 ・公民連携による地域資源利活用の仕組みづくり
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	255	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	まちなか商業活性化事業			6,237 千円	2,068 千円	5,493 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり、市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	中心市街地における駐車場の確保、商店街や商工会議所などが主体となったイベントへの助成などにより、便利で快適な市民生活を確保する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ○市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借） ○初市開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・主催：商店街連合会、商工会議所、館林市 ・起源：明治15年頃 ○七夕まつり開催負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・主催：たてばやし七夕まつり実行委員会（5商店街、商工会議所、会議所青年部、青年会議所、館林市） ・起源：明治中期 ○商店街環境改善事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：プランター設置等による街路装飾事業に対する補助 ・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱） ○商店街活性化事業費助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：商店街、商店街連合会等が行う研修やイベントを補助し、市商業の発展に寄与する。 ・積算根拠：事業費の1/3補助（館林市商店街等活性化事業助成要綱） ○まちづくり総合支援事業助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：商業及び近隣商業地域に設置しており、商店街又は街路灯維持管理団体が管理している街路灯への補助。 ・積算根拠：電気料1年分（9月分×12か月分）の30%を補助 ○まちなかフェス開催委託 <ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大と公共空間を利活用して官民連携のフェスを開催する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場用地確保 ・初市開催負担金 ・七夕まつり開催負担金 ・商店街環境改善事業費補助金 ・商店街活性化事業費助成金 ・商店街連合会、5商店街事業補助 ・グルメ総選挙開催補助 ・まちゼミ開催補助 ・まちづくり総合支援事業助成金 ・まちなかフェス開催委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場用地確保 ・初市開催負担金 ・七夕まつり開催負担金 ・商店街環境改善事業費補助金 ・商店街活性化事業費助成金 ・商店街連合会、5商店街事業補助 ・グルメ総選挙開催補助 ・まちゼミ開催補助 ・まちづくり総合支援事業助成金 ・まちなかフェス開催委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場用地確保 ・初市開催負担金 ・七夕まつり開催負担金 ・商店街環境改善事業費補助金 ・商店街活性化事業費助成金 ・商店街連合会、5商店街事業補助 ・グルメ総選挙開催補助 ・まちゼミ開催補助 ・まちづくり総合支援事業助成金 ・まちなかフェス開催委託
	事業費	5,493	5,493	5,493
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,493	5,493	5,493

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど) の利便さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,493千円	令和3年度決算額	3,245千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①初市開催（来場者数） 令和元年度：38,000人、令和2年度：5,000人、令和3年度：5,000人 ②七夕まつり開催（来場者数） 令和元年度：35,000人、令和2年度：中止、令和3年度：中止 ③まちなかフェス開催委託 「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」開催（来場者数） 令和2年度：コロナ禍により未開催、令和3年度：7,500人 ④麺-1グランプリin館林 来場者数 令和元年度：70,000人 令和2年度：開催中止 令和3年度：開催中止 参加店舗 令和元年度：42店舗 売上金額 令和元年度：13,251千円 ⑤館林まちゼミ 参加店 令和元年度：27店舗、37講座、令和2年度：開催中止、令和3年度：開催中止 ⑥グルメ総選挙 ・激辛・激甘・激冷グルメ総選挙 ※R02から「家でも店でも楽しめるグルメ総選挙」へ移行 参加店舗数 令和元年度：35店舗、41メニュー（激辛23、激甘7、激冷11） ・家でも店でも楽しめるグルメ総選挙 参加店舗数 令和2年度：40店舗、40メニュー 令和3年度：42店舗、42メニュー ⑦まちづくり総合支援事業助成金（街路灯電気料補助）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントによるまちなかへの集客が困難な状況の中、グルメ総選挙や官民連と公共空間の利活用をテーマにした「つなぐ・まちなかフェスinたてばやし」を開催することができた。 一方、中央通り線の拡幅工事の進捗に反比例して、商店数が減少しており、買物(商店、スーパーなど)の利便さ、まちなかのにぎわい満足度が得られにくい状況になっている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中央通り線拡幅事業により減少した商業活動の再生 ・イベント開催における新型コロナウイルス感染症の拡大防止策 ・商店街の再編 					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・中央通り線沿線の商業活動再生施策 ・商店街環境改善事業費補助金及び商店街活性化事業費助成金によるまちなかのにぎわい満足度の向上 					
令和5年度事業計画	①中央通り線出店促進事業 ②市営駐車場設置（大手町市営駐車場、下町市営駐車場※用地賃借） ③初市開催負担金 ④七夕まつり開催負担金 ⑤商店街環境改善事業費補助金 ⑥商店街活性化事業費助成金 ⑦まちづくり総合支援事業助成金 ⑧まちなかフェス開催委託					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	256	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	創業支援事業			8,188 千円	2,067 千円	7,910 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	創業に興味のある方や創業しようと考えている方が、新しく事業を起こし、事業を継続することができるために、創業の段階に応じた支援を行い、空き店舗などの遊休不動産の活用や雇用の創出に繋げる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①創業塾開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本編（単発講座、年2回） ・応用編（5回連続講座、年1回） <p>②創業支援補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備費補助（改装・設備費） <p>③店舗診断</p> <p>④創業なんでも相談会</p> <p>たてばやし創業ネットワーク（日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市）</p> <p>⑤会社設立支援補助</p> <p>⑥チャレンジショップ整備</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業費	7,910	8,330	8,330	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	115	483	483
一般財源		7,795	7,847	7,847	

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業（経営改善、跡取り、担い手など）の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,910 千円	令和3年度決算額	6,257 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:4件) ①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) 令和元年度:年1回(15人)、令和2年度:年1回※オンライン(4人)、令和3年度:年2回(創業塾6人、創業カフェ6人) ・応用編(5回連続講座、年1回) 令和元年度:年1回(6人)、令和2年度:年1回(6人)、令和3年度:年1回(7人) ・応用編受講後創業した人数 令和元年度:一人、令和2年度:2人、令和3年度:3人 ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ③店舗診断 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ④創業なんでも相談会 令和元年度:0件、令和2年度:2件、令和3年度:1件 ⑤会社設立支援補助 令和3年度【新規】2件(株式会社 1件、合同会社 1件) ⑥チャレンジショップ整備		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。		
課題	・創業のあらゆるステージに対応した支援の実施 ・創業経験者による創業支援 ・創業塾修了後の起業支援の継続		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	多様化する創業の形態に対応した創業支援を実施する		
令和5年度事業計画	①創業塾開催 ・基本編(単発講座、年2回) ・応用編(5回連続講座、年1回) ②創業支援補助金 ・設備費補助(改装・設備費) ③店舗診断 ④創業なんでも相談会 たてばやし創業ネットワーク(日本政策金融公庫前橋支店、群馬県信用保証協会太田支部、館林信用金庫、関東信越税理士会館林支部、群馬県社会保険労務士会太田支部、群馬県行政書士会、群馬県中小企業診断士協会、館林商工会議所、Tatebayashi West Farm Market、館林市) ⑤会社設立支援補助 ⑥チャレンジショップ管理運営		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較	
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	257	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	商工課	商業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・2	たてばやし商業支援事業			8,934 千円	5,213 千円	8,417 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶18_事業者が元気で活力のあるまちになる
施策目的	▶22_人が集まり市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶2_アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用
	▶3_経営の支援
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	事業者の稼ぐ力や遊休不動産の活用によるエリアの価値、「食」を資源とした地域のブランディングなど、公 民連携により、地域の価値を高める事業を実施する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①商店店舗診断	
②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座（全6回） ※最終回にマルシェ出店	
③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験 ・「百年小麦」食育事業 ・「百年小麦」販売促進 ・「百年饅頭」給食導入	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブラン ディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブラン ディング事業	・商店店舗診断 ・リノベーションまちづくり事業 ・たてばやしグルメ地域ブラン ディング事業
	事業費	8,417	8,417	8,417
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	180	180	180
	一般財源	8,237	8,237	8,237

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商 品販売額	337	目標値	-	338	339	339	340
		単位：百万円	実績値	-				
総合計画 指標	遊休不動産の利活用件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：	実績値	4				
総合計画 指標	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど) の利便さ、まちなかのにぎわい満足度	28.5	目標値	-	31.5	-	-	34.5
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	【市民アンケート】商工業(経営改善、 跡取り、担い手など)の振興の満足度	6.7	目標値	-	9.7	-	-	12.7
		単位：%	実績値	-				
総合計画 指標	既存商店店舗診断の件数（累計） 【総合戦略KPI兼ねる】	2	目標値	3	6	9	12	15
		単位：件	実績値	1				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	8,417 千円	令和3年度決算額	4,277 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■遊休不動産の利活用件数 令和3年度までの累計実績 6件 (令和元年度: 0件、令和2年度: 2件、令和3年度: 4件) ■既存商店店舗診断 令和3年度までの累計実績 3件 (令和元年度: 2件、令和2年度: 0件、令和3年度: 1件)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	遊休不動産の利活用件数の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値のとおりの実績をあげることができた。 既存商店店舗診断の指標については、計画期間5か年の累計値としての目標値を実績値が下回った。原因としては、コロナ禍により、商店主が中小企業診断士の店舗訪問及び3回の面談に対して抵抗感を持ったことなどが考えられる。					
課題	・遊休不動産の利活用件数の増加 ・既存商店への店舗診断の実施による経営改善、事業継続、魅力ある商品の・サービスの提供による売り上げ増加					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・リノベーションまちづくりの推進によって、遊休不動産を利活用する人材の育成とまちなかのにぎわい満足度の向上 ・商店店舗診断の実施による年間商品販売額の増加と商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度向上 ・たてばやしグルメ地域ブランディング事業による「百年小麦」を核とした商品の付加価値向上					
令和5年度事業計画	①商店店舗診断 ②リノベーションまちづくり事業 「わたしたちの月3万円ビジネス」開催 ・体験ワークショップ 1回 ・講座(全6回) ※最終回にマルシェ出店 ③たてばやしグルメ地域ブランディング事業 「百年小麦」ブランディング委員会 ・公式ホームページの運用 ・「百年小麦」生産収穫体験、食育事業、販売促進、給食導入					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	258	重要事業		総合戦略		担当部署	商工課 工業振興係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・4	観光総務			7,500千円	65千円	7,500千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶8_市民協働によるまちづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	○館林まつり運営補助金 館林まつり運営のための補助金支出
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○館林まつり事業補助金（交付額） R3年度：当初予算7,500,000円 R3.7.17、7.18 前夜祭、本まつり R3.7.24 手筒花火大会 を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、中止	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	新型コロナウイルスの影響により、館林まつり・手筒花火大会共に中止		館林まつり事業補助金（交付額）	館林まつり事業補助金（交付額）
	事業費	7,500	10,000	10,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,500	10,000	10,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	館林まつりイベント入込数	目標値	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000
		実績値	2,870				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,500 千円	令和3年度決算額	326 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○館林まつり事業補助金（交付額） R元：7,500,000円 R2：64,790円（コロナの影響により館林まつりは中止）準備に要した費用 R3：326,000円（コロナの影響により館林まつりは中止）準備に要した費用及び代替事業費 ・館林まつりみこし展示事業 期 間：R3.7.25～8.21（28日間） 会 場：アゼリアモール1Fアゼリアホール前 来場者：2,870人（平日80人*19日間、土日祝日150人*9日間）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和3年度の館林まつり及び手筒花火大会は中止のため、代替事業である館林まつりみこし展示事業のみの実績となる。					
課題	館林まつりの経費は、ステージの増加、保険料の増額、人件費の高騰などを理由に増加傾向にある。今後の運営における予算確保が必要となる。 本市まつりは交流人流増加のための資源であり、他の観光事業とともに実施することが観光振興に寄するものと考えられる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	令和4年度の第51回館林まつりは中止、第23回手筒花火大会は開催予定であるが、コロナの影響にも着目しながら、調整が必要となる。 コロナ禍や物価高騰を背景に費用が増加しており、協賛企業も減少傾向にあることから、従来規模での実施が危ぶまれる。場合によっては、規模の縮小や予算の増額が必要となる。					
令和5年度事業計画	第52回館林まつり 第24回手筒花火大会 館林まつりみこし展示					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	259	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課 計画指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・1	都市計画総務			35,030千円	34,258千円	16,359千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり、市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
施策の方向	▶5_コンパクトシティの推進
施策の方向	▶2_地域に合わせた土地利用の検討
	▶3_用途地域の見直し
	▶5_適正な市街化区域の設定

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	適切な土地利用の規制・誘導を行い、良好な市街地の形成に努める。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①土地利用計画等決定推進事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査 都市計画法第6条に基づきおおむね5年ごとに実施し、人口規模、土地利用、交通量等の現況及び将来の見通しを把握する（県事業に対する負担金） ・都市計画手続き（地区計画の変更、都市計画道路の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） 地区計画の変更：谷田川北部地区地区計画、楠地区地区計画 都市計画道路の変更：西部三号線、茂林寺中通り線、学校通り線、花山線、南部環状線 区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定：北部第四地区 ・スマートインターチェンジの整備検討 	
②都市計画総務	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基本図の見直し 平成23年度に作成した都市計画基本図（通称、白図）の更新 ・各種許認可及び届出等事務（風致地区、立地適正化計画、地区計画等） ・都市計画道路用地管理 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、都市計画道路の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・スマートインターチェンジの整備検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・スマートインターチェンジの整備検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・館林市立地適正化計画の改定検討 ・スマートインターチェンジの整備検討
	事業費	16,359	25,709	4,685
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	16,359	25,709	4,685

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		人/ha	実績値	-				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	16,359千円	令和3年度決算額	11,916千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林市立地適正化計画の策定 (H31.4) ・ 館林市都市計画マスタープランの改定 (R3.3) ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 産業拠点である北部第四地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 各種都市計画の変更等 (用途地域・地区計画・土地区画整理事業) ・ 都市計画基本図の更新 ・ 各種許認可及び届出等事務 (風致地区・立地適正化計画・地区計画等) ・ スマートICの設置検討 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	区域区分の見直しのための都市計画手続き等を並行して3拠点進めるなか、用途地域の見直しについても検討を実施した。今後も関係課との連携を図りながら、事業を推進していく。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 複合拠点である館林IC周辺地区の区域区分の見直し (定期見直し) ・ 館林市立地適正化計画の改定 ・ スマートICの設置検討 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引続き、当該事業を推進していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 複合拠点である館林IC周辺地区の区域区分の見直し (定期見直し) ・ 用途地域の見直し ・ 館林市立地適正化計画の改定検討 ・ 各種許認可及び届出等事務 (風致地区・立地適正化計画・地区計画等) ・ スマートICの設置検討 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	260	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	都市計画課 施設計画係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・2	中央通り線道路改良事業			1,185,077 千円	1,444,181 千円	830,421 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり、市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通行路を確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

平成29年度	用地測量、建物等補償調査
平成30年度	用地買収 A= 376.31㎡
令和元年度	用地買収 A= 357.08㎡
令和2年度	用地買収 A=1,674.71㎡
令和3年度	用地買収 A= 462.24㎡

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 462.24㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 2,259.0㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 ・次年度以降の用地交渉
事業費		830,421	762,611	762,611
財源	国庫	0	0	0
	県費	715,750	644,175	644,175
	市債	113,400	113,400	113,400
	その他	0	0	0
	一般財源	1,271	5,036	5,036

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	-	-	-	-	65.2
		単位：%	実績値	-	-	-	-	-
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	-	-	-	-	39.87
		単位：km	実績値	-	-	-	-	-
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	830,421 千円	令和3年度決算額	630,633 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度以前	用地買収 A=	376.31 m ²	
	令和元年度	用地買収 A=	357.08 m ²	
	令和2年度	用地買収 A=	1,674.71 m ²	
	令和3年度	用地買収 A=	492.37 m ²	
	合計	用地買収 A=	2,900.47 m ²	全体進捗 約 46.55% (6,230.74 m ²)

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	計画的に用地の取得が行えていることで段階的であるが拡幅工事も計画されている。令和11年度の工事完成向け都市計画道路の整備率、都市計画道路の整備延長の増進が図れている。
課題	権利者の再建計画や事業理解を得て、早期の工事着手に向けた用地取得が課題である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	工事着手が可能となるよう連続した区間の土地取得を進める。
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・用地の取得交渉 ・群馬県による埋蔵文化財調査や電線共同溝工事を予定
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	261	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	都市計画課	都市再生推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
8・4・4	都市再生整備計画事業			4,320千円	2,596千円	4,389千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	まちのにぎわい再生に向け、移住定住などの人口減少対策、商業振興・観光施策及び都市機能をまちなかへ誘導することと併せ、路地を含めた街路空間の利活用により、ウォーカブル（居心地が良く歩きたくなる）なまちなかを形成する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画の作成【重要事業】 地域の特性を踏まえ、まちづくりの目標と目標を実現するために実施する各種事業等を記した都市再生整備計画を作成する。 ・公共空間等利活用に向けた検討【重要事業】 民間の主体的な参加を促す仕組みを検討する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		都市再生整備計画の作成【重】 公共空間等利活用に向けた検討【重】	都市再生整備計画の作成【重】 公共空間等利活用に向けた検討【重】	公共空間等利活用に向けた検討【重】
事業費		4,389	9,766	10,000
財源	国庫	0	0	5,000
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,389	9,766	5,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		人/ha	実績値	-				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,389 千円	令和3年度決算額	4,005 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 令和3年度実績 ・都市再生整備計画の作成 ・つなぐ・まちなかフェス in たてばやしの実施 ・館林駅東口駅前広場でのミチカツ社会実験の実施			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	これまで、なかなか進まなかったまちなか活性化であるが、既に始まった人口減少・少子高齢化の時代に対応した持続するまちづくりを推進していくため、事業を検討、展開していく必要がある。					
課題	官民が連携して特定エリアの価値向上に取り組んでいくための体制づくりを検討する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引き続き、事業の検討や見直しを行い、展開していく。					
令和5年度事業計画	公共空間等利活用に向けた検討及び実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	262	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課	都市再生推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
6・1・6	地籍調査事業			19,159千円	18,661千円	26,504千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
施策の方向	▶6_地籍調査の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	土地の境界及び地番・地目・地積を明確にすることにより、土地をめぐる行政活動・経済活動すべての基礎データを築き、土地の管理や活用における利便性向上を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
地籍調査事業作成【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・下早川田町4地区地籍図原図等作成 地籍測量結果に基づき、地籍図・地籍簿を作成し、地権者への閲覧等を行う。 ・上早川田町1地区地籍測量 地権者境界立合い、筆界点の観測及び測定、計算等を行う。 ・まちなか再生重点エリア内地籍調査計画作成 まちなか再生重点エリア内における優先実施地区を検討・決定 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・下早川田町4地区地籍図原図等作成【重】 ・上早川田町1地区地籍測量【重】 ・まちなか再生重点エリア地籍調査計画作成【重】 	<ul style="list-style-type: none"> ・上早川田町1地区地籍図原図等作成【重】 ・上早川田町2地区地籍測量【重】 ・大手町地区地籍測量【重】 ・仲町地区調査図素図等作成【重】 	<ul style="list-style-type: none"> ・上早川田町2地区地籍図原図等作成【重】 ・大手町地区地籍図原図等作成【重】 ・仲町地区地籍測量【重】 ・次年度地籍測量地区調査図素図等作成【重】
	事業費	26,504	24,002	24,002
財源	国庫	11,362	9,583	9,583
	県費	5,681	4,792	4,792
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,461	9,628	9,628

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	地籍調査実施面積	目標値	11.16	11.48	11.64	11.76	11.87
		実績値	11.16				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	26,504 千円	令和3年度決算額	22,367 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■地籍調査終了地区 令和元年度：下早川田2地区 令和2年度：下早川田3地区 令和3年度：下早川田4地区			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	□ 高	成果が高水準にある	■ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地籍調査で正確な地籍を整備することで、土地の境界紛争の未然防止、課税の適正化、公共事業や都市開発の円滑化、災害被災地の復旧工事の促進などの効果がある。					
課題	未実施地区が多く残されている中、現在の進捗では、当面地籍調査が行われない地区が相当程度残るため、公共事業や都市開発の推進、迅速な災害復旧事業の実施等に支障を生じる恐れがある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	計画的な事業実施に努める。					
令和5年度事業計画	■地籍調査実施地区 ・上早川田町2地区地籍図原図等作成 ・大手町地区地籍図原図等作成 ・仲町地区地籍測量 ・本町一丁目地区調査図素図等作成					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	263	重要事業	○	総合戦略		担当部署	都市計画課 計画指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・1	都市計画総務			35,030千円	34,258千円	16,359千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり、市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
施策の方向	▶5_コンパクトシティの推進
施策の方向	▶2_地域に合わせた土地利用の検討
	▶3_用途地域の見直し
	▶5_適正な市街化区域の設定

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	適切な土地利用の規制・誘導を行い、良好な市街地の形成に努める。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①土地利用計画等決定推進事業【重要事業】	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査 都市計画法第6条に基づきおおむね5年ごとに実施し、人口規模、土地利用、交通量等の現況及び将来の見通しを把握する（県事業に対する負担金） ・都市計画手続き（地区計画の変更、都市計画道路の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） 地区計画の変更：谷田川北部地区地区計画、楠地区地区計画 都市計画道路の変更：西部三号線、茂林寺中通り線、学校通り線、花山線、南部環状線 区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定：北部第四地区 ・スマートインターチェンジの整備検討 	
②都市計画総務	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基本図の見直し 平成23年度に作成した都市計画基本図（通称、白図）の更新 ・各種許認可及び届出等事務（風致地区、立地適正化計画、地区計画等） ・都市計画道路用地管理 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、都市計画道路の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・スマートインターチェンジの整備検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・スマートインターチェンジの整備検討	①土地利用計画等決定推進事業【重】 ・都市計画手続き（地区計画の変更、区域区分の変更、用途地域の変更、工業団地造成事業の決定等） ・館林市立地適正化計画の改定検討 ・スマートインターチェンジの整備検討
	事業費	16,359	25,709	4,685
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	16,359	25,709	4,685

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	居住誘導区域の人口密度【平成27年度】	39	目標値	-	-	-	-	39
		人/ha	実績値	-				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	16,359千円	令和3年度決算額	11,916千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林市立地適正化計画の策定 (H31.4) ・ 館林市都市計画マスタープランの改定 (R3.3) ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 産業拠点である北部第四地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 各種都市計画の変更等 (用途地域・地区計画・土地区画整理事業) ・ 都市計画基本図の更新 ・ 各種許認可及び届出等事務 (風致地区・立地適正化計画・地区計画等) ・ スマートICの設置検討 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	区域区分の見直しのための都市計画手続き等を並行して3拠点進めるなか、用途地域の見直しについても検討を実施した。今後も関係課との連携を図りながら、事業を推進していく。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 複合拠点である館林IC周辺地区の区域区分の見直し (定期見直し) ・ 館林市立地適正化計画の改定 ・ スマートICの設置検討 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引続き、当該事業を推進していく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業拠点である大島地区の区域区分の見直し (随時編入) ・ 複合拠点である館林IC周辺地区の区域区分の見直し (定期見直し) ・ 用途地域の見直し ・ 館林市立地適正化計画の改定検討 ・ 各種許認可及び届出等事務 (風致地区・立地適正化計画・地区計画等) ・ スマートICの設置検討 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	264	重要事業		総合戦略		担当部署	都市計画課 計画指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・1	開発指導			280千円	155千円	266千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶23_地域性に応じた土地利用ができていくまちになる
施策の方向	▶4_開発許可制度の運用

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	良好な宅地を確保し、無秩序な市街地拡散を抑制する。
----------------	---------------------------

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①開発指導
- ・ 開発行為許可申請等の許認可事務
 - ・ 開発登録簿の調整及び保管
 - ・ 館林市開発事業指導要綱に基づく事前協議事務
 - ・ 開発許可基準の見直し（改正都市計画法に関わる内容）
都市計画法第34条第12号の条例区域から、原則として浸水ハザードエリアを除くことの検討
 - ・ 被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加
 - ・ 開発許可事務連絡協議会への参加
 - ・ 庁内開発行為関係事務説明会の開催

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①開発指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発許可基準の見直し（改正都市計画法に関わる内容） ・ 被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加 ・ 開発許可事務連絡協議会への参加 ・ 庁内開発行為関係事務説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①開発指導 ・ 開発許可基準の見直し（市街化調整区域内のまちのまとまり） ・ 被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加 ・ 開発許可事務連絡協議会への参加 ・ 庁内開発行為関係事務説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①開発指導 ・ 開発許可基準の見直し（技術基準） ・ 被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加 ・ 開発許可事務連絡協議会への参加 ・ 庁内開発行為関係事務説明会の開催 	
	事業費	266	284	284	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	266	284	284	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	266 千円	令和3年度決算額	152 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 開発許可申請事務処理件数 平成元年度：92件 令和2年度：95件 令和3年度：109件		

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	都市計画法に基づき適切な許認可業務を行うことにより、秩序ある開発が行われ、良好な環境形成、安全性の確保に寄与している。今後も関係課との連携を図りながら、事業を推進していく。					
課題	市街化区域に居住や都市機能を誘導すべき区域を設定し、コンパクトなまちづくりを推進する一方で、市街化調整区域では人口減少が続き、地域コミュニティの維持が難しくなっている。このため、集落基盤の整っている市街化を促進する恐れのない市街化調整区域では「人口減少における土地利用ガイドライン（群馬県）」を参考に“まちのまとまり”を検討する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引続き、都市計画法に基づき適切な許認可業務を遂行する。					
令和5年度事業計画	・ 開発許可基準の見直し（地区計画の検討、条例改正の検討） ・ 庁内開発行為関係事務説明会の開催 ・ 開発許可研修への参加 ・ 被災宅地危険度判定ワーキング部会への参加 ・ 開発許可事務連絡協議会への参加 ・ 県開発審査会への諮問					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	265	重要事業	総合戦略	担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
2・1・11	交通安全活動推進事業		37,388千円	24,848千円	36,306千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶4_連携による交通安全対策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・交通指導體制の充実と交通安全活動を普及啓発することにより、交通秩序の確立及び交通事故防止に努める。 ・高齢者が公共交通機関を利用せずに医療機関までタクシーを利用した場合に、その料金の一部を補助することにより、高齢者の通院等の便宜を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①交通安全活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館林地区三交連絡協議会 四季の交通安全運動等における啓発活動を実施。 ・高齢者免許返納タクシー券 70歳以上の高齢者が運転免許を自主返納した場合、タクシー券を交付。 交付枚数：24枚（2年間有効） 助成額：500円（1回） <p>②高齢者医療機関通院等助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者通院等タクシー券 70歳以上の高齢者が医療機関を受診する際にタクシーを利用した場合、タクシー料金の一部を助成。 交付枚数：年間24枚 助成額：500円（1回） 令和2年度から一部（8枚）の用途制限解除する実証実験を実施中 令和3年度から相乗り時の複数枚使用可 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①交通安全活動推進 ・館林地区三交連絡協議会による啓発活動 ・高齢者免許自主返納事業補助金		①交通安全活動推進 ・館林地区三交連絡協議会による啓発活動 ・高齢者免許自主返納事業補助金	①交通安全活動推進 ・館林地区三交連絡協議会による啓発活動 ・高齢者免許自主返納事業補助金
	②高齢者医療機関通院等助成事業 ・高齢者通院等タクシー料金補助金		②高齢者医療機関通院等助成事業 ・高齢者通院等タクシー料金補助金	②高齢者医療機関通院等助成事業 ・高齢者通院等タクシー料金補助金
事業費		36,306	36,306	36,306
財源	国庫	0	0	0
	県費	51	51	51
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	36,255	36,255	36,255

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
交通安全発生件数【総合戦略KPIを兼ねる】		283	目標値	282	281	281	280	280
	単位：件		実績値	281				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	36,306千円	令和3年度決算額	27,518千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①交通安全活動推進 ・館林地区三交連絡協議会による啓発活動実績 令和元年度：春：決起集会・街頭啓発 夏：街頭啓発 秋：決起大会・街頭啓発・交通安全フェスティバル 冬：街頭啓発 令和2年度：夏：交通安全啓発映像撮影 秋：交通安全啓発映像撮影 令和3年度：春：決起集会・交通安全パトロール 夏：自転車マナーアップ啓発 秋：未実施 冬：決起集会、街頭啓発 通年：交通安全啓発映像放送 ・高齢者免許自主返納事業補助実績 令和元年度：申請者数 274人/利用枚数 1,710枚 令和2年度：申請者数 258人/利用枚数 1,638枚 令和3年度：申請者数 212人/利用枚数 1,773枚 ②高齢者医療機関通院等助成事業 ・高齢者通院等タクシー料金補助実績 令和元年度：申請者 6,445人 / 利用枚数 38,022枚 令和2年度：申請者 6,338人 / 利用枚数 30,639枚 令和3年度：申請者 6,986人 / 利用枚数 35,446枚		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	・関係団体との連携による交通安全街頭啓発などによる交通事故抑止活動等により、交通事故は減少傾向にある。 ・高齢者通院タクシー券は令和3年度から利用券の用途を撤廃し、通院以外でも利用可能になった。また、自主返納事業助成については、件数は減ってきているが、社会情勢等を考慮すると、今後、申請者数が増加することが見込まれる。		
課題	・「高齢者通院タクシー券」と福祉部局の「いきいきタクシー券」は制度体系が複雑で、運用面でも混乱生じやすいため、誰もが分かりやす制度へと一元化を図ることが課題である。現在、関係各課で調整中。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
令和5年度事業計画	・関係各課及び関係団体との協力・連携を更に図り、より一層の交通安全対策に努める。 ・タクシー券の制度改正を行い、複雑化している制度の整理と明確な支援程度の差別化を図り公平性を確保する。		
令和5年度事業計画	・館林地区三交連絡協議会による交通安全啓発（随時） ・高齢者免許自主返納事業補助 利用見込枚数 2,000枚/1,000,000円 ・高齢者通院等タクシー料金補助 利用見込枚数 50,000枚/25,000,000円		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	266	重要事業		総合戦略		担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・11	交通安全施設整備事業			16,039千円	14,902千円	14,969千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶4_連携による交通安全対策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の整備及び緊急修繕を行い、交通安全の確保に努める。 ・館林駅東口自転車駐車場の管理及び放置自転車等の適正管理を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①道路反射鏡等交通安全施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路反射鏡等交通安全施設整備工事 カーブミラー、道路区画線、警戒標識等の設置により、通学路等における交通安全の確保に努める。 <p>②自転車等駐車場整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車等駐車場受付業務委託 放置自転車対策として、館林駅東口自転車駐車場の設置及び管理を行う。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備 工事		①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備 工事	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備 工事
	②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託		②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託	②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託
事業費		14,969	14,969	14,969
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	604	604	604
	一般財源	14,365	14,365	14,365

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	交通事故発生件数【総合戦略KPIを兼ねる】	283	目標値	282	281	281	280	280
		単位：件	実績値	281				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	14,969千円	令和3年度決算額	14,806千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①道路反射鏡等交通安全施設整備 ・道路反射鏡等交通安全施設整備実績 道路反射鏡・警戒標識 令和元年度：36基 令和2年度：32基 令和3年度 38基・2基 道路区画線 令和元年度：7,471m 令和2年度：10,628m 令和3年度：10,250m ②自転車等駐車場整備事業 ・自転車等駐車場受付業務委託実績 一時使用延べ台数 令和元年度：788台 令和2年度：377台 令和3年度：283台 定期使用延べ台数 令和元年度：9,506台 令和2年度：9,638台 令和3年度：10,858台 放置自転車撤去台数 令和元年度：9台 令和2年度：9台 令和3年度：4台			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・行政区等からの要望に基づき、交通安全施設の新設及び更新を行い、交通安全確保の役割りを果たしている。 ・駐輪場の一時利用者は減少しているものの、定期利用者は増加している。					
課題	・交通安全施設は行政棟からの要望に基づき、迅速な対応が求められている。また、老朽化も見られるため、計画的な修繕が必要である。 ・隣接する駐輪場が市営駐車場より低価格なため一時利用者は減少しているが、定期利用者は、一定水準で利用がある。今後は西口駐輪場の状況を注視しながら、方向性を検討する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・交通安全施設の迅速かつ計画的な設置・修繕を行い、交通安全の確保を徹底する。 ・自転車等駐車場の必要性等を検討し、整備を行う。					
令和5年度事業計画	交通安全施設 ・道路反射鏡、警戒標識修繕等 ・道路反射鏡、警戒標識整備工事 ・道路区画線設置工事					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	267	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・11	公共交通整備事業			152,582千円	145,968千円	131,320千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶5_移動環境の確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通弱者の移動手段確保のため、公共交通機関としての路線バスの安定した継続的運行を図る。 ・ 公共交通の利便性や効率性の向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークの再構築を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①公共交通整備【重要事業】

- ・ 公共路線バスの安定した運行
「館林・板倉北線」、「館林・千代田線」、「館林・板倉線」、「多々良巡回線」、「渡瀬巡回線」、「館林・明和・千代田線」、「館林・邑楽・千代田線」を運行し、運行費補助金を交付
「赤羽線」及び「（仮称）茂林寺巡回線」を新設し、運行費補助金を交付
館林駅東口と公立館林厚生病院を結ぶ「厚生病院シャトル線」の運行
- ・ 分かりやすい公共交通情報の提供

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①公共交通整備【重】 ・ 公共路線バス運行費補助 ・ 「赤羽線」及び「（仮称）茂林寺巡回線」新設 ・ バスロケーションシステム運用	①公共交通整備【重】 ・ 公共路線バス運行費補助 ・ 広域路線バス見直し ・ 市内巡回線新設 ・ バスロケーションシステム運用	①公共交通整備【重】 ・ 公共路線バス運行費補助 ・ 広域路線バス見直し ・ 市内巡回線新設 ・ バスロケーションシステム運用
事業費		131,320	131,320	131,320
財源	国庫	0	0	0
	県費	6,207	6,207	6,207
	市債	0	0	0
	その他	49,647	49,647	49,647
	一般財源	75,466	75,466	75,466

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
路線バスの年間利用者数【総合戦略KPIを兼ねる】		248,074	目標値	258,459	268,844	279,229	289,614	300,000
	単位：人		実績値	209,681				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	131,320 千円	令和3年度決算額	121,959 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①公共交通整備【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共路線バス運行費補助実績 令和元年度：利用者数 248,074人 / 109,397,000円 令和2年度：利用者数 188,632人 / 132,482,000円 令和3年度：利用者数 209,681人 / 115,027,000円 ・ 「赤羽線」及び「茂林寺巡回線」新設実績 令和3年度：赤羽線（R3.3.23運行開始）利用者数 1,847人 茂林寺巡回線（R3.12.15運行開始）利用者数 740人 ・ バスロケーションシステム運用実績（アクセス数） 令和元年度：63,482件 令和2年度：54,462件 令和3年度：49,285件 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
評価根拠	・ 高齢者や学生など運転免許証や自動車を保有していない交通弱者にとって、路線バスは移動手段の要であり、今後、「館林都市圏地域公共交通計画」に基づき、市内の生活路線を新設・拡充することにより、利用者や移動目的に合わせた地域公共交通網を構築していく必要がある。		
課題	・ バス利用者の増加 ・ 「館林都市圏地域公共交通計画」に基づき、持続性のある公共交通ネットワークを整備予定であるが、広域路線の再編については四町との合意形成に時間を要する。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	・ 公共路線バスは、高齢者や学生など、交通弱者にとって日常生活に必要な交通手段であるため、利用しやすいよう、広域路線の再編や市内路線の整備を行う。		
令和5年度事業計画	・ 広域路線の再編及び市内路線の整備 ・ バスロケーションシステムのPR		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	268	重要事業		総合戦略		担当部署	都市計画課 施設計画係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・2	東部環状線改良事業 (県事業区画)			10,584 千円	5,386 千円	3,989 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶1_幹線道路の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	通過交通を含めた中心市街地の慢性的な交通渋滞を解消するための環状道路の整備。 山王赤生田線から板倉粉谷館林線を結ぶ延長500m区間を県道整備事業として実施。 事業期間：平成23年度～令和9年度
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
平成29年度	用地買収 A= 19.73㎡ 埋蔵文化財調査、盛土工事 (群馬県事業)
平成30年度	用地買収 A= 3,106.14㎡ 埋蔵文化財調査 (群馬県事業)
令和元年度	埋蔵文化財調査 道路改良工事 (群馬県事業)
令和2年度	用地買収 A= 124.55㎡ 埋蔵文化財調査、軟弱地盤対策盛土工事
令和3年度	用地買収 A= 42.74㎡

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	用地買収	A=42.74㎡	A=325.44㎡	
	事業費	3,989	3,035	
財源	国庫	0	0	
	県費	3,906	2,952	
	市債	0	0	
	その他	0	0	
	一般財源	83	83	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	-	-	-	-	65.2
		単位：%	実績値	-	-	-	-	-
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	-	-	-	-	39.87
		単位：km	実績値	-	-	-	-	-
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,989 千円	令和3年度決算額	934 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度以前	用地買収 A=	11,229.78 m ²	
	令和2年度	用地買収 A=	124.55 m ²	
	令和3年度	用地買収 A=	42.74 m ²	年次達成度 100.00%
	合計	用地買収 A=	11,397.07 m ²	全体進捗 約 97.22% (11,722.51 m ²)

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	計画的に用地の取得が行えていることで道路築造工事も並行して実施されている。 令和9年度の工事完成向け都市計画道路の整備率、都市計画道路の整備延長の増進が図れている。
課題	用地取得も終盤となり権利者へ事業協力の理解
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	令和4年度の用地取得も残り僅かであり、権利者からの理解・協力を得て県受託業務を完了させる必要がある。
令和5年度事業計画	・用地買収業務(受託業務)完了予定 ・群馬県による道路築造工事の継続
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	269	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	都市計画課 施設計画係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・2	中央通り線道路改良事業			1,185,077 千円	1,444,181 千円	830,421 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり、市民自らがつくるにぎわいと魅力あるまちになる
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶6_ウォーカブルなまちづくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の中心部を南北に通る骨格軸であり、近隣コミュニティ相互の連携を強化し、歩行者の安全な通行を確保するため道路整備を実施。群馬県の一次緊急輸送道路に指定されており、電線類の地中化により、災害時の通行路を確保するとともに都市景観の向上を図る。 事業期間：平成28年度～令和11年度 中央通り線 560m、大手町大街道線 220m
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

平成29年度	用地測量、建物等補償調査
平成30年度	用地買収 A= 376.31㎡
令和元年度	用地買収 A= 357.08㎡
令和2年度	用地買収 A=1,674.71㎡
令和3年度	用地買収 A= 462.24㎡

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 462.24㎡ ・次年度以降の用地交渉		【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 A= 2,259.0㎡ ・次年度以降の用地交渉	【中央通り線用地買収業務の受託】 ・用地買収 ・次年度以降の用地交渉
事業費		830,421	762,611	762,611
財源	国庫	0	0	0
	県費	715,750	644,175	644,175
	市債	113,400	113,400	113,400
	その他	0	0	0
	一般財源	1,271	5,036	5,036

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	都市計画道路の整備率	64.4	目標値	-	-	-	-	65.2
		単位：%	実績値	-	-	-	-	-
活動指標	都市計画道路の整備延長	39.37	目標値	-	-	-	-	39.87
		単位：km	実績値	-	-	-	-	-
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	830,421 千円	令和3年度決算額	630,633 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和元年度以前	用地買収 A=	376.31 m ²	
	令和元年度	用地買収 A=	357.08 m ²	
	令和2年度	用地買収 A=	1,674.71 m ²	
	令和3年度	用地買収 A=	492.37 m ²	
	合計	用地買収 A=	2,900.47 m ²	全体進捗 約 46.55% (6,230.74 m ²)

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	計画的に用地の取得が行えていることで段階的であるが拡幅工事も計画されている。令和11年度の工事完成向け都市計画道路の整備率、都市計画道路の整備延長の増進が図れている。
課題	権利者の再建計画や事業理解を得て、早期の工事着手に向けた用地取得が課題である。
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	工事着手が可能となるよう連続した区間の土地取得を進める。
令和5年度事業計画	・用地の取得交渉 ・群馬県による埋蔵文化財調査や電線共同溝工事を予定
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	270	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 維持係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・2・2	道路維持管理			318,263千円	307,621千円	392,773千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内における移動手段の適切な確保のため、都市基盤となる道路、橋梁等の施設を適正に維持管理し、市民生活における利便性の向上と安全性を確保する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①道路維持管理 円滑で安全な交通を確保するための施設の維持管理（除草、清掃、ポンプ施設等） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（舗装、側溝、防護柵、ポンプ施設等）</p> <p>②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 81橋 横断歩道橋補修工事 1橋</p> <p>③道路長寿命化修繕事業 舗装補修設計 延長 820.0m 舗装補修工事 延長 854.3m</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度			
事業 スケジュール	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等）	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等） ②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 81橋 横断歩道橋補修工事 1橋 ③道路長寿命化修繕事業 舗装補修設計 延長 820.0m 舗装補修工事 延長 854.3m	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等） ②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 69橋 橋梁補修設計業務 1橋 橋梁補修工事 1橋 横断歩道橋補修工事 1橋 ③道路長寿命化修繕事業 舗装補修設計 延長 2051.0m 舗装補修工事 延長 790.0m	①道路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（舗装、側溝等） ②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 51橋 橋梁補修工事 2橋 ③道路長寿命化修繕事業 舗装補修設計 延長 1000.0m 舗装補修工事 延長 1300.0m			
	②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 81橋 横断歩道橋補修工事 1橋						
	③道路長寿命化修繕事業 舗装補修設計 延長 820.0m 舗装補修工事 延長 854.3m						
	事業費				392,773	536,687	535,000
	財源						
	国庫	108,650	180,069	180,000			
	県費	0	0	0			
	市債	84,400	140,500	140,000			
	その他	12,034	11,956	12,000			
	一般財源	187,689	204,162	203,000			

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 道路補修等要望件数	635	目標値	613	603	592	581	570
	単位：件	実績値	648				
活動指標 橋梁点検結果に基づく措置着手率	67	目標値	78	83.5	89	94.5	100
	単位：%	実績値	67				
活動指標 舗装の点検路線数（累計）	3	目標値	1	1	2	2	3
	単位：路線	実績値	33				
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	392,773千円	令和3年度決算額	386,032千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①道路維持管理事業 令和元年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事5路線、側溝補修工事4路線 令和2年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事5路線、側溝補修工事1路線 令和3年度：市道等の舗装、砂利道、側溝等の緊急補修工事 舗装補修工事6路線、側溝補修工事4路線 ②橋梁長寿命化修繕事業 令和元年度：点検 78橋、補修設計 5橋（うち歩道橋 3橋）、補修工事 2橋 令和2年度：点検 85橋、補修工事 3橋（うち歩道橋2橋） 令和3年度：点検 81橋、補修工事 歩道橋1橋 ③道路長寿命化修繕事業 令和元年度：長寿命化計画策定 令和2年度：舗装補修工事 延長164.1m 令和3年度：長寿命化計画更新、舗装補修工事 延長874.3m		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	市道（約894km）及び橋梁（橋梁364橋、歩道橋4橋）等の社会インフラの不良は、市民生活において安全性や利便性を欠くこととなり、災害時等においても大きなリスクとなる。そのようなことから、安全安心なまちづくりを進めるためにも、道路及び橋梁の長寿命化を計画的に推進するとともに、施設の日常的な維持管理を適切に推進することで、公共インフラとしての機能を担保することが不可欠である。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化が進む舗装、橋梁、道路施設の破損、損傷個所の増加 ・ 限りある資源（予算・人材・高騰する資材）の効率的な活用
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	これまでの事後的な維持管理ではなく、日常パトロール方法を見直すとともに補修や維持管理コストを軽減できる対策を検討し、長期的な維持管理コスト縮減に努める必要がある。
令和5年度事業計画	①道路維持管理 円滑で安全な交通を確保するための施設の維持管理（除草、清掃、ポンプ施設等） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（舗装、側溝、防護柵、ポンプ施設等） ②橋梁長寿命化修繕事業 橋梁点検業務 51橋 横断歩道橋補修工事 2橋 ③道路長寿命化修繕事業 舗装補修工事 延長 450.0m
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	271	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・2・3	道路新設改良事業			111,724千円	101,666千円	174,168千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶1_幹線道路の整備

【事業の目的及び内容】

<p>【Plan】 事業目的</p>	<p>本事業の対象路線は、地域間を結ぶ幹線道路及び生活道路であり、総合計画の方針である市内の幹線道路網を体系的に整備することにより、円滑な道路ネットワークの確立や、市内移動手段の利便性及び安全性向上を目指し、機能的な都市の形成を図ることを目的とする。</p>
<p>令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）</p>	
<p>①道路新設改良事業（市単独） 主に地元要望による拡幅改良路線が大半ではあるが、市施策による路線も存する。 測量・設計・調査 3路線 工事 11路線 用地買収 3路線 移転補償 4路線</p> <p>②道路新設改良事業（国庫補助） 江川橋架替事業 本橋は多々良川治水上の弱点（架橋位置のみ堤防が切欠かれている状態、所謂もぐり橋の状態）となっており、この解消を第一義に、更には架橋以来80年以上が経過し老朽化が著しいことも次位の要因となり、架橋位置を南に移し新設するもの。併せてアプローチ道路も整備する。 地質・用地・補償調査、用地・路線測量、道路・橋梁詳細設計、各種協議、地元説明会開催</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①道路新設改良事業（市単独） 測量・設計・調査 3路線 工事 11路線 用地買収 3路線 移転補償 4路線 ②道路新設改良事業（国庫補助） 地質・用地・補償調査、用地・路線測量、道路・橋梁詳細設計、各種協議、地元説明会開催	①道路新設改良事業（市単独） 測量・設計 3路線 工事 10路線 用地買収 2路線 移転補償 3路線 ②道路新設改良事業（国庫補助） 補償調査、用地測量、旧橋撤去設計、用地交渉、各種協議、市道認定	①道路新設改良事業（市単独） 市道7084号線 買収（新規） 他 ②道路新設改良事業（国庫補助） 移転補償・用地買収 （日向町・木戸町）
	事業費	174,168	113,115	197,970
財源	国庫	37,000	8,500	34,500
	県費	0	0	0
	市債	119,800	81,500	157,973
	その他	0	0	0
	一般財源	17,368	23,115	5,497

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	市道の整備率	38.4	目標値	38.5	38.6	38.7	38.9	39.1
		単位：%	実績値	38.7				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	174,168 千円	令和3年度決算額	115,723 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①道路新設改良事業（市単独） 測量・設計・調査 令和元年度…3業務、令和2年度…13業務、令和3年度…6業務 工事 令和元年度…16路線、令和2年度…16路線、令和3年度…13路線 移転補償費 令和元年度…13件、令和2年度…8件、令和3年度…7件 ②道路新設改良事業（国庫補助） 江川橋掛替事業 測量・設計・調査 令和元年度…計画準備、令和2年度…橋梁予備設計、令和3年度…橋梁詳細設計			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	道路新設改良事業は、主に地域要望における道路整備が多くを締め、道路の拡幅や舗装化により、人や車両の移動が速やかになります。また、側溝の整備により、道路排水機能等が高まります。					
課題	境界確認や用地取得の難航等により、事業の長期化が懸念されます。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	地域の要望道路に加え、他事業関連事業や政策道路の増加が見込まれます。江川橋掛替事業に関しては、木戸町ほ場整備事業の進捗によっては計画の見直しが必要となります。					
令和5年 度事業計 画	地域要望道路の整備推進 江川橋掛替事業の各種協議や用地取得 他事業関連事業（工業団地造成、国道122号館林バイパス）との連携 政策道路（茂林寺前駅西側区域市道整備等）の整備推進					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	272	重要事業	○	総合戦略		担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・2・3	道のでこぼこ解消事業 (歩道整備)			35,017千円	33,770千円	33,632千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶24_人や物が安全で快適に移動できるまちになる
施策の方向	▶2_道路の利便性と安全性の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	道路における市内移動の利便性、安全性を向上させるため、歩道空間における段差解消及び狭い歩道を広くする整備ならびに、老朽化した排水構造物等によるでこぼこの解消を図り、利用する方々が安全で安心して通行できる整備を進めるもの。
----------------	--

令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

道のでこぼこ解消事業【重要事業】

市内移動の利便性、安全性を向上させるため、主に歩道・路肩における段差解消を目的とする。

市道4103号線歩道改修 98.4m (国庫補助事業)

市道8012号線 境界測量 117.6m

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		道のでこぼこ解消事業【重】 市道4103号線歩道改修 98.4m (国庫補助事業) 市道8012号線 境界測量 117.6m	道のでこぼこ解消事業【重】 市道4103号線歩道改修 100.0m	道のでこぼこ解消事業【重】 市道4103号線 歩道改修 100.0m 市道8012号線 道路改良 60.0m
	事業費	33,632	44,000	44,000
財源	国庫	16,500	16,500	16,500
	県費	0	0	0
	市債	12,100	12,100	12,100
	その他	0	0	0
	一般財源	5,032	15,400	15,400

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	市道の整備率	38.4	目標値	38.5	38.6	38.7	38.9	39.1
		単位：%	実績値	38.7				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	33,632 千円	令和4年度決算額	31,594 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	測量・設計・調査 令和元年度…1業務、令和2年度…1業務、令和3年度…1業務 工事 令和元年度…2路線 (126.6m)、令和2年度…1路線 (105.0m)、令和3年度…1路線 (98.4m)		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	歩道の段差解消では、マウンドアップ構造をセミフラット構造にすることで、人（車椅子、ベビーカー利用者）に優しい歩道になります。また、老朽化した側溝を改修することにより、歩道空間を確保し、道路利用者が安全安心して道路の利用ができます。		
課題	歩道の段差解消や側溝の高さを変えることにより、隣接民地への出入りに影響を及ぼすことが多く、民地側に擦り付け工事が必要になる場合があります。道のでこぼこ改修事業は、隣接地権者の事業への協力が特に必要になります。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	計画的に事業を推進して参ります。		
令和6年度事業計画	市道4103号線歩道整備 市道8012号線道路改良		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小
備考	※前年度比較		

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	273	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	企画課	政策推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
8・6・1	空家対策事業			23,673千円	41,342千円	3,255千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶22_人が集まり.市民自らがつくる.にぎわいと魅力あるまちになる
	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶7_健全な市街地の形成
	▶2_健全な市街地の形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	年々増加する空き家の問題に対し、購入費用または家賃の助成等の支援をし、居住可能な空き家の利活用を図るとともに移住者・定住者の増加を目指す。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①空家利活用事業【重要事業】

- ・空家利活用助成金
市内市外の方を問わず、市内の空き家を自ら居住する目的で購入または賃借した場合に、購入費用の一部または家賃の一部を助成する。また貸主に対しても維持管理費用の一部として助成金を交付し、空き家利活用促進のために、空き家バンク登録者に対しても、登録助成金を支給する。
- ・空き家情報登録制度（空き家バンク）
「空き家情報登録制度」を設け、移住・定住を希望しているかたや、空き家を利活用したいかたに市内の空き家情報を提供する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）		①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）	①空家利活用事業【重】 ・空き家利活用助成金 ・空き家情報登録制度（空き家バンク）
	事業費	3,255	3,257	3,257
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,255	3,257	3,257

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	空き家バンク登録物件利活用件数（累計）	2	目標値	4	8	12	16	20
		単位：件	実績値	6				
活動指標	空き家バンク登録物件数（累計）	6	目標値	7	14	21	28	35
		単位：件	実績値	5				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,255 千円	令和3年度決算額	1,561 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家バンク登録物件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 18件 内訳（令和元年度：6件 令和2年度：7件 令和3年度：5件） ■ 空き家バンク利用希望者数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 13人 内訳（令和元年度：2人 令和2年度：8人 令和3年度：3人） ■ 空き家利活用助成金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度～令和3年度の累計実績 17件 内訳（令和元年度：2件、令和2年度：6件、令和3年度：9件） ※令和3年度については、登録助成金3件含む。 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	空き家バンク登録物件利活用件数については目標値を上回っている一方、空き家バンク登録物件数は下回る結果となった。過去の記録を整理すると、相談事業者を介した物件は利活用につながる傾向があることが分かる。 また、令和3年度については、空き家バンク利用希望者数も減少している。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家所有者の意向把握 ・ 空き家バンク認知度の向上、登録物件の増加 ・ 相談事業者との連携 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	年々空き家件数は増加しており、周辺住民や地域へ悪影響を与える空家になる前の段階で、空き家バンクの利活用等により継続して課題解決を図る必要がある。 本市の空き家バンク登録物件数については、県内他市と比べても少ないことが分かっているため、相談事業者と連携しながら、まずは物件数及び利用希望者の増加から取り組んでいく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家購入への助成 ・ 空き家賃貸借への助成 ・ 空家登録者への助成 ・ 空き家バンクの拡充 ・ 空き家見学会の実施 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	275	重要事業	○	総合戦略		担当部署	建築課 住宅施設係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・6・1	公営住宅ストック総合改善事業			72,589千円	66,451千円	73,535千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶1_良質な住宅の供給

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で文化的な生活を送るためには、居住の確保が必要である。そのため、公営住宅ストックの計画的な修繕により、住宅に困窮する低額所得者の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい公営住宅を安定的に供給することが重要となる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①公営住宅ストック総合改善事業【重要事業】</p> <p>群馬県地域住宅等整備計画及び館林市市営住宅長寿命化計画に基づき、子育て世帯や高齢者世帯等が安心して住み続けられる住宅ストックの充実を図り、地域における住宅に対する多様な需要に応じた住宅や居住環境の整備を行う。</p> <p>（群馬県地域住宅等整備計画（地域住宅計画 群馬地域（4期）（計画期間：R2～R6）） （館林市市営住宅長寿命化計画（計画期間：R3～R12））</p> <p>（R3年度事業）市営栄町住宅外装改修工事</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①公営住宅ストック総合改善事業【重要事業】	①公営住宅ストック総合改善事業【重要事業】	①公営住宅ストック総合改善事業【重要事業】
事業費		73,535	73,535	73,535
財源	国庫	27,860	27,860	27,860
	県費	0	0	0
	市債	45,600	45,600	45,600
	その他	75	75	75
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	73,535 千円	令和3年度決算額	64,823 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業 ・平成30年度 市営若宮町第1住宅外装改修工事 ・令和元年度 市営松原第2住宅外装改修工事、市営若宮町第2住宅外装改修工事、市営松原第1住宅階段室塗装工事 ・令和2年度 市営若宮町第3住宅外装改修工事、市営若宮町第4住宅外装改修工事 ・令和3年度 市営栄町住宅外装改修工事			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	住宅に困窮する低額所得の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい住宅の確保と適切な維持管理を行う必要があるため。					
課題	本市では、令和4年3月末現在で、14団地、66棟、765戸の市営住宅（市単独住宅1戸除く）を管理している。その中で、耐用年数70年の鉄筋コンクリート造の住宅は8団地614戸あるが、建設から30年～40年以上経過している住宅が増え、多くの住宅で建物、設備等の老朽化が進んでいる。さらに、入居世帯の高齢化、単身高齢者やひとり親世帯の増加など世帯構成の多様化、入居率減少など、家賃収入等は減少傾向にあり財政面においても深刻な課題に直面している。今後は耐用年数を過ぎた住宅の用途廃止を行い、事業の効率化及び平準化を図る必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	社会資本整備総合交付金を最大限に活用し、適切な維持管理に努める。					
令和5年度事業計画	・市営松沼町第1住宅外装改修工事 ・市営住宅内装改修工事					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	274	重要事業	総合戦略	担当部署	建築課 住宅施設係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・6・1	市営住宅管理		105,734千円	101,187千円	98,439千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶1_良質な住宅の供給

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で文化的な生活を送るためには、居住の確保が必要である。そのため、住宅に困窮する低額所得者の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい公営住宅を安定的に供給することが重要となる。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①市営住宅管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅管理業務委託 <p>平成24年度から群馬県住宅供給公社へ管理代行し、入居相談や徴収業務、修繕等、市営住宅に関する管理全般を住宅供給公社で実施。（令和3年度 管理戸数（条例戸数）765戸）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者への法的措置 <p>平成24年度から悪質な滞納者に対し弁護士へ委託し法的措置（即決和解、強制執行）を行っている。</p> <p>②市営住宅管理（工事等）</p> <p>良好な住環境を整備するため、年次計画で設備機器の交換等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営上三林町第2住宅水道メーター取替工事 市営東部第6住宅風呂釜取替工事 市営若宮町第1住宅インターホン設備設置工事 など 	

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）	①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）	①市営住宅管理 ・市営住宅管理業務委託 ・滞納者への法的措置 ②市営住宅管理（工事等）
	事業費	98,439	98,439	98,439
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	98,439	98,439	98,439
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	市営住宅家賃滞納整理（収納率）	82.00	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0
		単位：%	実績値	84.21				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	98,439 千円	令和3年度決算額	92,467 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	主な事業 ・市営住宅管理業務委託 平成24年度から継続 ・滞納者への法的措置 平成30年度 即決和解1件 令和元年度 即決和解2件 ・市営住宅管理工事 平成30年度 水道メーター取替工事、風呂釜取替工事、給湯器取替工事、火災警報器取替工事、インターホン設備設置工 事 令和元年度 水道メーター取替工事、風呂釜取替工事、給湯器取替工事、火災警報器取替工事、インターホン設備設置工 事 令和2年度 水道メーター取替工事、風呂釜取替工事、給湯器取替工事、火災警報器取替工事、インターホン設備設置工 事			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	住宅を困窮する低額所得の高齢者世帯や子育て世帯等が入居しやすい住宅の確保と適切な維持管理を行う必要があるため。			
課題	本市では、令和4年3月末現在で、14団地、66棟、765戸の市営住宅（市単独住宅1戸除く）を管理している。その中でも、木造住宅は3団地11戸あり、築60年以上経過したものも存在する。簡易耐火構造の住宅は3団地135戸全て築40年以上経過している。鉄筋コンクリート造の住宅においても築40年以上を経過するものがある。このように多くの市営住宅が老朽化しており、さらに、入居世帯の高齢化、単身高齢者やひとり親世帯の増加など世帯構成の多様化、入居率減少など、入居者管理面及び財政面において深刻な課題に直面している。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	建物の老朽化や入居率の減少、入居者対応など課題は年々増えるが、限られた予算で少しでも事業目的に沿った市営住宅管理ができるよう創意工夫して市営住宅管理に努める。			
令和5年度事業計画	主な業務 ・市営住宅管理業務委託（平成24年度から継続） ・滞納者への法的措置（即決和解、明渡強制執行） ・市営住宅管理工事 （水道メーター取替工事、風呂釜・給湯器取替工事、インターホン設備設置工事、火災警報器取替工事など）			
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較
備考				

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	276	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・3	西部第一南土地区画整理事業			128,680千円	177,087千円	128,463千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本区域は、東武伊勢崎線により中心市街地と分断されていたため、公共用地の未整備で市街化が遅れ、住工混在となっている。このため、安心して快適な住居環境を確立するため、公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図り、本市西部の拠点として新たな市街地を形成する。(施行面積 73.2ha)
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①西部第一南土地区画整理事業【重要事業】

■取組内容

平成29年9月に県施行の（都）西部一号線（岡野アンダー）が開通したが、本地区内の（都）西部一号線の起点部（国道354号から約300mの区間）が未整備であるため、この区間の整備を実施し、国道50号から国道354号までを全線開通する必要がある。このため、西部一号線等の都市計画道路の整備を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、ならびに区画道路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。

■主要な事業

- ・画地確定測量等委託料
- ・工事費（側溝布設・道路改良等）
- ・配水管布設工事負担金
- ・補償費（電柱等）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①西部第一南土地区画整理事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（電柱等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・画地確定測量（建物調査）等委託 ・工事（都市計画道路及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）
	事業費	128,463	109,790	110,000
財源	国庫	28,950	29,450	29,000
	県費	16,051	1,051	51
	市債	40,400	26,400	26,000
	その他	7,001	7,001	7,000
	一般財源	36,061	45,888	47,949

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	西部第一南土地区画整理事業事業進捗率（事業費ベース）	90.6	目標値	91.7	92.3	92.8	93.4	94
		単位：%	実績値	93.2				
			目標値					
			単位：					
			実績値					
			目標値					
			単位：					
		90.6	目標値					
			単位：					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	128,463 千円	令和3年度決算額	127,256 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■建物移転移転補償 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 6戸12棟 ■仮換地指定件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 2件 ■道路築造延長 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 523.1m ■付保留地新規契約件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 10件 ■土地区画整理法76条申請件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 60件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標(事業進捗率)については年度目標を上回っている。 また、移転件数を大きく上回る数で建物が新たに建築されており、館林市全体の人口が減少している中で、当該地区の世帯数並びに人口増加している点については、区画整理事業の進捗と相関関係があると思われる。 当該地区は立地適正化計画における都市機能誘導区域並びに居住誘導区域に指定されており、事業の推進は当該計画の目標とも整合している。					
課題	(都)西部一号線の整備を進めているが、完成させるためには難航地権者の理解・承諾を得ることが必要となる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	(都)西部一号線はその整備効果を十分に発揮するためには、国道50号から国道354号までの区間が開通する必要がある。令和4年度を以て国道354号から北側約200mの区間の整備が完了するため、未整備区間は当該都市計画道路と(都)富士西線の交差点から南側約90m区間となる。この区間には3名の仮換地未承諾地権者が居るため、引き続き換地の指定交渉を頻回に行い、換地を指定した後は、速やかに移転補償を実施する必要がある。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・画地確定測量等委託料 ・工事費(側溝布設・道路改良等) ・配水管布設工事負担金 ・補償費(電柱等) 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較				
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	277	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・3	西部第一中土地区画整理事業			109,329千円	150,497千円	72,690千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本地区は、館林駅に隣接した利便性の高い地区であるため、宅地化が急速に進行し住宅地と工業地の用途の混在が起きている。このため、都市計画道路、区画道路、公園等の公共施設を整備し、本市の西部地区の核となる市街地を形成し、もって公共の福祉の増進に資することを目的とする。（施行面積 34.2ha）
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①西部第一中土地区画整理事業【重要事業】	
■取組内容 西口駅前広場が完成したことにより、駅西側の利便性が向上し、駅周辺の混雑解消や送迎車両の安全確保にもつながった。今後は、事業も最終段階のため、早期の事業完了を目指し、宅地の利用増進を図るため土地の区画形質の変更、ならびに区画道路等の公共施設の整備を計画的に行う。	
■主要な事業 ・工事費（区画道路等） ・配水管布設工事負担金 ・補償費（立竹木等）	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①西部第一中土地区画整理事業【重】	・工事（区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（立竹木等）	①西部第一中土地区画整理事業【重】 ・工事（植栽及び区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）	①西部第一中土地区画整理事業【重】 ・工事（区画道路等） ・配水管布設工事 ・補償（建物移転等）
	事業費	72,690	111,187	75,000
財源	国庫	24,000	44,000	0
	県費	0	0	0
	市債	21,600	39,600	0
	その他	2,960	3,081	3,801
	一般財源	24,130	24,506	71,199

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	西部第一中土地区画整理事業事業進捗率（事業費ベース）	89.7	目標値	90.8	91.4	91.9	92.5	93.0
		単位：%	実績値	91.8				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
		90.6	目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	72,690 千円	令和3年度決算額	40,757 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■建物移転移転補償 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 5戸7棟 ■仮換地指定件数 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度時点で指定率100%達成 ■道路築造延長 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 193.8m ■付保留地新規契約件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 2件 ■土地区画整理法76条申請件数 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの累計実績 24件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標(事業進捗率)については年度目標を上回っている。 また、移転件数を上回る数で建物が新たに建築されており、館林市全体の人口が減少している中で、当該地区の世帯数並びに人口増加している点については、区画整理事業の進捗と相関関係があると思われる。 当該地区は立地適正化計画における都市機能誘導区域並びに居住誘導区域に指定されており、事業の推進は当該計画の目標とも整合している。					
課題	現在、市が施行している区画整理事業は3事業あり、いずれも事業期間が長期化している。 当該区画整理事業の期間は令和9年度までとなっているが、早期に事業を完了させることが必要。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	未整備道路や未移転物件が残りわずかとなっており、これらの解決を図りつつ、並行して国土調査法19条5項に基づく画地確定測量を実施するなど、事業の完了にむけた作業も計画的に行う。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・画地確定測量等委託料 ・工事費(区画道路等) ・配水管布設工事負担金 ・補償費(立竹木等) 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	278	重要事業	○	総合戦略		担当部署	区画整理課
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・4・3	西部第二土地区画整理事業			221,279千円	357,773千円	355,824千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶25_快適な居住環境で暮らしやすいまちになる
施策の方向	▶2_健全な市街地の形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本地区は、館林駅より南西約1kmという立地条件にあり、今後急速な市街化が予想され、都市基盤の整備が必要な地区である。そこで、本事業の施行により、都市計画道路、区画道路、公園等の公共施設を整備すると共に、健全な市街地の造成を図るものである。（施行面積 74.7ha）
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①西部第二土地区画整理事業【重要事業】

■取組内容

本地区は、事業の進捗に伴い宅地化が進行しているため、雨水排水能力の強化が必要とされているが、幹線排水路の整備が遅れている。このため、幹線排水路が布設される道路用地を確保するため、地権者の理解を得られるかどうか課題となっている。また、西部三号線、西部二号線、富士原線等の都市計画道路の整備を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地の区画形質の変更、ならびに区画道路、水路、公園等の公共施設の整備を計画的に行う。

■主要な事業

- ・ 画地確定測量等委託料
- ・ 工事費（歩道築造・側溝布設・道路改良等）
- ・ 配水管布設工事負担金
- ・ 補償費（建物移転等）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①西部第二土地区画整理事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画地確定測量（建物調査）等委託 ・ 工事（都市計画道路及び区画道路等） ・ 配水管布設工事 ・ 補償（建物移転等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画地確定測量（建物調査）等委託 ・ 工事（都市計画道路及び区画道路等） ・ 配水管布設工事 ・ 補償（建物移転等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画地確定測量（建物調査）等委託 ・ 工事（都市計画道路及び区画道路等） ・ 配水管布設工事 ・ 補償（建物移転等）
	事業費	355,824	310,379	310,000
財源	国庫	156,950	135,072	135,000
	県費	2,500	1,875	2,000
	市債	146,200	126,200	126,000
	その他	8,402	8,402	8,000
	一般財源	41,772	38,830	39,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	西部第二土地区画整理事業事業進捗率 (事業費ベース)	44.9	目標値	47.2	48.4	49.5	50.7	51.9
		単位：%	実績値	51.3				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
		90.6	目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	355,824 千円	令和3年度決算額	328,231 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建物移転移転補償 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度までの累計実績 22戸43棟 ■ 仮換地指定件数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度までの累計実績 17件 ■ 道路築造延長 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度までの累計実績 1,079.9m ■ 付保留地新規契約件数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度までの累計実績 30件 ■ 土地区画整理法76条申請件数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度までの累計実績 63件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標(事業進捗率)については年度目標を上回っている。 また、移転件数を上回る数で建物が新たに建築されており、館林市全体の人口が減少している中で、当該地区の世帯数並びに人口増加している点については、区画整理事業の進捗と相関関係があると思われる。 当該地区は立地適正化計画における居住誘導区域に指定されており、事業の推進は当該計画の目標とも整合している。					
課題	当該事業は進捗率が目標値を大きく上回っているものの、令和3年度末時点で51.3%であり、事業完了までの道のりは遠い。 当該区域は事業化に伴い、市街化区域に編入したため、従前は農地が多かったが、事業の進捗に伴い、宅地化が著しい。 これに比べて雨水排水施設が脆弱であり、これらの機能強化が喫緊の課題となっている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	雨水排水対策の強化を主軸として、都市計画道路等の幹線道路網の整備も並行して行う。 具体的には、仮換地指定未承諾地権者からの同意取り付けや移転交渉を継続することになるが、上記対策を進める上で必要な箇所を重点的にせめていく。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画地確定測量等委託料 ・ 工事費 (側溝布設・道路改良等) ・ 配水管布設工事負担金 ・ 補償費 (電柱等) 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	279	重要事業	○	総合戦略		担当部署	つつじのまち観光課 つつじが岡公園係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
7・1・5	つつじ保護育成事業			9,114千円	7,069千円	6,442千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶21_多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶5_観光資源の保護・保存・育成と普及啓発
施策の方向	▶2_公園・緑地の魅力の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の都市公園の中でも歴史ある観光型の公園であり、国指定名勝「躑躅ヶ岡」のつつじを保護育成しながら後世に伝えていくため、丁寧な管理と調査を行っていきと共に、貴重な文化財として地元の小中学生などに、貴重さ大切さをPRする。さらに、「つつじまつり」の開催による、入園料等による自主財源の確保及び地元経済の活性化に繋げる。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- つつじ保護育成事業【重】
- ・ ツツジの保護管理（病虫害防除、整枝剪定、施肥、灌水などの肥培管理）
 - ・ 樹勢回復、開花保持のための調査（開花調査、着花調査、土中水分調査、花芽調査、着蕾率調査等）
 - ・ 後継木の育成（品種の保持、歴史的文化的価値の継承、観賞的価値の高い品種の育成）
 - ・ 館林のつつじ啓発活動（歴史的文化的価値の理解促進つつじガイド指導育成、館林つつじサポーターズ倶楽部事務局運営）
 - ・ 文化財保護（文化財の保護、行為申請、保存活用計画策定準備のための関係機関協議）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	○つつじ保護育成【重】	○つつじ保護育成【重】	○つつじ保護育成【重】	○つつじ保護育成【重】
	・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施	・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施	・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施	・ つつじ保護育成対策委員会 ・ つつじ後継木育成 ・ つつじの着花に関する調査の実施
		・ 土壌分析業務の実施 ・ 灌水パイプ布設工事の実施 ・ ツツジ移植工事の実施	・ 土壌分析業務の実施 ・ ツツジ移植工事の実施	・ 土壌分析業務の実施 ・ ツツジ移植工事の実施
事業費		3,786	3,786	3,786
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,200	1,200	1,200
	一般財源	2,586	2,586	2,586

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合戦略 KPI	つつじまつり入園者数	目標値	65,000	78,000	93,600	112,320	134,784
		実績値	62,283				
活動指標	つつじサポーターズ倶楽部個人会員数	目標値	571	581	591	601	611
		実績値	426				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	6,442 千円	令和3年度決算額	3,197 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 灌水パイプ敷設 令和元年度：141.0m 令和2年度：142.0m 令和3年度：134.0m ・ つつじ植栽 令和元年度：5本 令和2年度：8本 令和3年度：10本 ・ つつじガイドボランティア案内人数実績 令和元年度：467回7,641名 令和2年度：つつじまつり中止 令和3年度：コロナ感染防止により案内実績はなし 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	古木管理について、平成25年度に開花不良があったため、平成26年度から県林業試験場との共同研究により、着花調査等を実施している。 ※着花指数（H26年度3.75、H27年度3.60、H28年度3.98、H29～R元年度4.00、R2年度3.88、R3年度3.87）⇒ 安定 なお、公園の維持管理については、令和2年度から業者への維持管理業務委託を行っている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ つつじの保護管理の継続（樹勢回復、開花保持のための調査、後継木の育成、つつじ保護育成対策委員会） ・ 維持管理の安定化（技術の継承） ・ 文化財の保護、行為申請、館林のつつじ啓発活動 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	国指定名勝「躑躅ヶ岡」をはじめとする園内のつつじ定植エリアでは、つつじの保護育成の徹底と、つつじまつりを中心とした集客力の向上を図るとともに、周辺エリアを含めた賑わいの創出を図る。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ つつじの保護管理（樹勢回復、開花保持のための調査、後継木の育成、つつじ保護育成対策委員会） ・ 公園施設維持管理の安定化（業務委託の更新） ※つつじが岡公園等維持管理業務委託（3か年の長期継続契約：R2.4.1～R5.3.31） ・ 館林のつつじ啓発活動 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	280	重要事業	○	総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 緑化政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・1	緑化推進一般事業			7,329千円	6,422千円	7,543千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶3_適切な緑の管理
	▶4_市民協働による緑化推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	豊かな緑が守られ、市民にとってかけがえのない良好な緑化環境を市民協働で保全・創出・啓発する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①花と緑のまちづくり事業 市民協働・市民協力により緑化推進し、森林や花と緑の意識高揚を図るため啓発事業を行う。	
②民有地等の緑化保全事業 市や市民に重要な樹木・樹林・生垣を保存指定し、保存に関する維持費を助成する。	
③緑化推進事業 家庭や事業所の緑化を推進する。	
④基本方針等策定【重】 都市公園の整備や施設緑化、ボランティア活動等の施策を計画的かつ系統的に緑地の保全・創出を図る。 令和3年度から作成に向けた準備・検討を開始する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		①花と緑のまちづくり事業 オープンガーデン事業 緑化ポスターコンクール ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 緑とのふれあい事業 緑化団体運営事業費補助 ②民有地等の緑化保全事業 保存樹木・樹林・生垣の指定及び維持 ③緑化推進事業 誕生・新築記念樹の交付 樹木・生垣植栽事業費補助 ④基本方針等策定事業【重】 緑の基本計画作成準備・検討	①花と緑のまちづくり事業 オープンガーデン事業 緑化ポスターコンクール ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 緑とのふれあい事業 緑化団体運営事業費補助 ②民有地等の緑化保全事業 保存樹木・樹林・生垣の指定及び維持 ③緑化推進事業 誕生・新築記念樹の交付 樹木・生垣植栽事業費補助 ④基本方針等策定事業【重】 緑の基本計画現況調査・分析	①花と緑のまちづくり事業 オープンガーデン事業 緑化ポスターコンクール ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 緑とのふれあい事業 緑化団体運営事業費補助 ②民有地等の緑化保全事業 保存樹木・樹林・生垣の指定及び維持 ③緑化推進事業 誕生・新築記念樹の交付 樹木・生垣植栽事業費補助 ④基本方針等策定事業【重】 緑の基本計画策定	
	事業費	7,543	11,353	7,543	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	1,263	1,203	1,263
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
一般財源	6,280	10,150	6,280		

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	緑化推進事業補助件数	目標値	10	10	10	10	10
		単位：件 実績値	8				
活動指標	啓発活動事業開催回数	目標値	12	12	12	12	12
		単位：回 実績値	5				
活動指標		目標値					
		単位： 実績値					
活動指標		目標値					
		単位： 実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,543 千円	令和3年度決算額	6,574 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■花と緑のまちづくり事業 ・オープンガーデン事業 令和元年度：21件 令和2年度：公開中止 令和3年度：10件 ・ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業 令和元年度：3事業実施 令和2年度：5事業全中止 令和3年度：2事業中1事業実施 ・緑化団体運営事業費補助 令和元年度～3年度：市内11小学校へ補助 ■緑化推進事業 誕生・新築記念樹の交付 令和元年度：305本 令和2年度：327本 令和3年度：284本 樹木・生垣植栽事業費補助 令和元年度：5件 令和2年度：8件 令和3年度：8件		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	指標である緑化推進事業の樹木・生垣植栽事業費補助交付については、目標値を下回ってはいるものの、横ばい状況である。また、啓発活動事業開催回数については、新型コロナの影響もあり、伸ばすことが困難であった。		
課題	オープンガーデン事業については、各庭主が創意工夫し、育ててきた庭を公開することで、ガーデニングの輪を広げていく事業であるが、公開件数を伸ばすことに苦慮している。庭主同士の交流はもとより、花を育てる庭が増えるような効果や実績に繋がるよう、検討したい。 また緑の基本計画策定事業については、計画のスキームや方向性、策定体制などを検討し、計画樹立を進める。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	各種事業実施による緑化の推進が目的であり、効果の捉えかたが難しいが、季節に応じた緑の楽しみ方や、緑を育てる楽しさなどを感じることができるよう、事業を実施しながら、改善をすべきところはしていく。		
令和5年度事業計画	①花と緑のまちづくり事業 オープンガーデン事業、緑化ポスターコンクール、ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業、緑化団体運営事業費補助 ②民有地等の緑化保全事業 保存樹木・樹林・生垣の指定及び維持 ③緑化推進事業 誕生・新築記念樹の交付樹木・生垣植栽事業費補助 ④基本方針等策定事業【重】 緑の基本計画策定		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	281	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 緑化政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・1	グリーンバンク管理運営事業			2,593 千円	2,211 千円	3,093 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ憩いと安らぎのあふれたガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶3_適切な緑の管理
	▶4_市民協働による緑化推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	樹木・緑のリサイクルや緑化講習会を通じて花と緑の市民協働のつながりを広げる緑化拠点とする。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①グリーンバンク事業 樹木の寄付・交付をつうじて緑化の推進を図る。寄付を受けた樹木を適正に管理する。 施設内での見本花壇を設置・維持する。 市民が集える緑化拠点とする。</p> <p>②緑のリサイクル事業 公園伐採木等を薪として交付し緑のリサイクルを行う。</p> <p>③緑化講習会 花や樹木の育成・管理や作業機材の手入れ等の講習を行い、宅内緑化推進と緑化意識の高揚を図る。</p> <p>④ボランティアの活動作業補助 まちなか緑地管理ボランティアである花緑ふやし隊と連携し作業環境を整える。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		グリーンバンク維持管理 樹木リサイクル（寄付受入・交付） 緑のリサイクル（薪の配布） 緑化講習会 緑化推進ボランティア活動作業補助	グリーンバンク維持管理 樹木リサイクル（寄付受入・交付） 緑のリサイクル（薪の配布） 緑化講習会 緑化推進ボランティア活動作業補助	グリーンバンク維持管理 樹木リサイクル（寄付受入・交付） 緑のリサイクル（薪の配布） 緑化講習会 緑化推進ボランティア活動作業補助
	事業費	3,093	3,142	3,142
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,093	3,142	3,142

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 緑化講習会回数	4	目標値	7	7	7	7	7
	単位：回	実績値	4				
活動指標 グリーンバンク交付樹木数【R4.6追加】	40	目標値	60	60	60	60	60
	単位：本	実績値	80				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,093 千円	令和3年度決算額	2,608 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■樹木リサイクル（寄付受入・交付） 寄付 令和元年度：126本 令和2年度：311本 令和3年度：113本 交付 令和元年度：40本 令和2年度：60本 令和3年度：80本 ■緑化講習会 令和元年度：4件 令和2年度：4件 令和3年度：4件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	グリーンバンク事業については、緑のリサイクルに資する事業であり、また緑化講習会については、緑化を推進し多くのかたに、緑を植え育てる方法を知っていただくための機会となるよう、行っているものである。コロナの影響で開催準備を行った後に中止としたこともあり目標に届かなかったが、参加者のアンケートではおおむね肯定的かつ次回の講習への参加意欲もみられ、今後継続的に講習会を行っていくことにより、啓発にもつなげていきたい。					
課題	講習テーマの設定に際し、季節やニーズを捉えて、講師依頼をする必要がある。また、年齢や参加形態も様々であり、広い年齢層で参加がある。他自治体や緑化センター等の講座の講習・民間を参考に、講座のメニューを検討したい。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	家庭に植栽する樹木の種類が変化してきており、本数や規模なども併せて変化しており、樹木植栽補助においても、従来の代表的な樹種から、洋風の樹種が多くなってきていることから、ニーズが変化している可能性がある。 緑化の推進を進めるために、グリーンバンク活用も一躍を担う施設であり、併せて緑化講習会もその中心施設として、活用の幅を広げていく必要がある。					
令和5年度事業計画	グリーンバンク維持管理 樹木リサイクル（寄付受入・交付） 緑のリサイクル（薪の配布） 緑化講習会 緑化推進ボランティア活動作業補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	282	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 公園管理係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・1	緑地保全整備事業			12,729 千円	11,567 千円	10,845 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ.憩いと安らぎのあふれた.ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶5_緑地の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	多々良・堀工保安林及び野鳥の森自然公園の貴重な平地林を保護・保全し、次世代へと引き継ぐ。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①貴重平地林保全事業（保安林松くい虫被害防除事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別伐倒駆除 多々良保安林及び堀工保安林において、松くい虫の被害により枯れてしまったアカマツを除伐する。 ・樹幹注入 多々良保安林及び堀工保安林のアカマツを対象に、松くい虫の被害防除のための薬剤を樹幹注入する。 <p>②保安林再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働による保安林補植事業 地域住民、緑の少年団等のボランティア団体と抵抗性アカマツの苗を植樹し、次世代に保安林を引き継ぐ事業。 <p>③保安林維持・緑地除草業務</p> <p>対象地を計画的に除草作業を行う。また除草機械等の日常点検及び整備を行う。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①貴重平地林保全事業（保安林松くい虫被害防除事業） ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入 ②保安林再生事業 ・市民協働による保安林補植事業 ③保安林維持管理 ・緑地管理	①貴重平地林保全事業（保安林松くい虫被害防除事業） ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入 ②保安林再生事業 ・市民協働による保安林補植事業 ③保安林維持管理 ・緑地管理	①貴重平地林保全事業（保安林松くい虫被害防除事業） ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入 ②保安林再生事業 ・市民協働による保安林補植事業 ③保安林維持管理 ・緑地管理
事業費		10,845	10,845	10,845
財源	国庫	0	0	0
	県費	4,113	4,113	4,113
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,732	6,732	6,732

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	抵抗性アカマツ苗の補植数	目標値	250	250	250	250	250
		実績値	100				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	10,845 千円	令和3年度決算額	9,384 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■特別伐倒駆除件数 令和3年度までの累計実績 42本 内訳 令和元年度：7本 令和2年度：18本 令和3年度：17本 ■保安林再生事業 令和3年度までの累計実績 多々良保安林400本 堀工保安林140本 実績内訳 多々良保安林・・・多々良アカマツ植樹体験事業 抵抗性アカマツの植樹 令和元年度：100本 令和2年度：200本 令和3年度：100本 堀工保安林・・・県事業 保安林リフレッシュ事業 令和元年度：140本 令和2年度：0本 令和3年度：0本			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	評価根拠については、抵抗性アカマツの捕植数を根拠にしており、令和3年度は目標値を下回っている。事業内容としては、令和元年度、2年度においては各年度200本以上植栽しており、令和元年度は52名出席、2年度・3年度は植樹体験事業は中止したが、直営にて植栽を行った。					
課題	伐倒駆除については、枯木の伐倒を行っているが、樹幹注入の効果により本数は落ち着いている。今後も多々良・堀工両保安林について巡回を行いながら適切に管理を行っていく。 また補植については、近年では多々良保安林に数多く補植を行っており、令和元年度からの3年間で400本補植を行った。補植後は特に、除草や支柱調整などの維持管理が必要となることや、下草刈りの支障となる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	保安林全体の維持管理を考えた補植を行いながら、保安林内に、圃場的にアカマツを育てる必要がある。下草刈りが適切に行われ、維持管理された場所となることで、アカマツの生長にも適する環境をつくる。 令和4年度より、補植間隔をこれまでより広くし、補植を行っている。					
令和5年度事業計画	①貴重平地林保全事業（保安林松くい虫被害防除事業） ・特別伐倒駆除 ・樹幹注入 ②保安林再生事業 ・市民協働による保安林補植事業 ③保安林維持管理 ・緑地管理					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	283	重要事業	○	総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 緑化政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・1	花と緑推進事業			4,980 千円	0 千円	3,170 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ.憩いと安らぎのあふれた.ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶3_適切な緑の管理
	▶4_市民協働による緑化推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民協働によるイベント開催や飾花、地域ボランティアによる地域花壇の維持管理を通じて花と緑の豊かなまちづくりを推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①イベント開催 花と緑の館林づくり協議会による市民協働での『花と緑のフェスティバル』、『緑化フェスティバル』を開催し、花と緑の豊かなまちづくりと緑化意識の高揚を図る。	
②ボランティア活動の推進 地域花壇の維持管理を行う花ねっと、まちなか緑地の維持管理を行う花緑ふやし隊のボランティア活動の推進を図る。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		花と緑のフェスティバル 緑化フェスティバル ボランティア活動の推進 (花緑ふやし隊、花ねっと)	花と緑のフェスティバル 緑化フェスティバル ボランティア活動の推進 (花緑ふやし隊、花ねっと)	花と緑のフェスティバル 緑化フェスティバル ボランティア活動の推進 (花緑ふやし隊、花ねっと)
	事業費	3,170	3,170	4,170
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,170	3,170	4,170

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,170 千円	令和3年度決算額	3,032 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■花と緑のフェスティバル 令和元年度：飾花32種10,000株 開催場所：つつじが岡公園大芝生広場 5/3,4 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：飾花18種6,500株 開催場所：つつじが岡公園陽だまりの広場 5/4 ■緑化フェスティバル 令和元年度：台風19号のため中止 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：苗木配布会として実施 温州ミカン150本、ブルーベリー150本を配布 ※市民フェスティバル中止			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	本事業におけるイベントの実施については、「花と緑の館林づくり協議会」が行っており、市はその事務局を務めている。新型コロナウイルス感染拡大防止などにより影響があったものの、令和3年度は、実施方法を工夫し、イベントを実施した。					
課題	花と緑のフェスティバルについては、イベントの内容を工夫し、実施している。春の時期にあたり、通常の公園利用のほか、「つつじまつり」や「こいのぼり」などお客様も多い。また緑化フェスティバルは、苗木配布を中心に行っており、盛況である。イベント内容については、団体と協議しながら、今後も工夫をしていきたい。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	花と緑のフェスティバルについては、平成22年(2010年)から開催している。発端となった県主催イベントは平成21年(2009年)から開始され、令和3年度をもって終了している。今後のイベント内容などは関係団体とともに検討したい。また、緑化フェスティバルについても、苗木配布が中心であるが、内容や実施方法など、実施方法について、検討したい。					
令和5年度事業計画	花と緑のフェスティバル 緑化フェスティバル ボランティア活動の推進 (花緑ふやし隊、花ねっと)					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	284	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 公園管理係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・2	都市公園維持管理事業			244,456 千円	246,301 千円	252,469 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ.憩いと安らぎのあふれた.ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶1_公園の災害時活用の検討
	▶2_公園・緑地の魅力の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	安全で安心して利用できる公園・緑地を目指し、常に健全な状態を保全するため、公園の遊具や施設、樹木の適切な維持管理を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①都市公園等維持管理事業 市内の公園を常に健全な状態に保全するため、公園の遊具や施設、樹木の維持管理を実施し、樹木剪定・伐採、設備改修工事等により、公園機能の維持・改修を実施する。また、災害に備えた施設設備の検討を行う。</p> <p>②都市公園内における緑地保全整備事業 クビアカツヤカミキリ対策として、市内で被害が発生している桜に対して薬剤の樹幹注入や伐倒駆除を行い、被害の拡大を防ぎ、公園のサクラの保全を図る。</p> <p>③公園施設長寿命化計画策定 公園施設長寿命化計画の更新に向け、予備調査、健全度調査を実施する。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①都市公園等維持管理事業 都市公園等の維持管理及び令和5年度以降のプロポーザル準備 ②都市公園内における緑地保全整備事業 クビアカツヤカミキリ対策 被害木（サクラ）の伐倒駆除及び薬剤の樹幹注入 ③公園施設長寿命化計画の調査・分析	①都市公園等維持管理事業 都市公園等の維持管理及び令和5年度以降のプロポーザルの実施 ②都市公園内における緑地保全整備事業 クビアカツヤカミキリ対策 被害木（サクラ）の伐倒駆除及び薬剤の樹幹注入 ③公園施設長寿命化計画の策定（更新）	①都市公園等維持管理事業 新たな契約による都市公園等の維持管理 ②都市公園内における緑地保全整備事業 クビアカツヤカミキリ対策 被害木（サクラ）の伐倒駆除及び薬剤の樹幹注入 ③公園施設長寿命化計画事業の実施
	事業費	252,469	253,722	252,469
財源	国庫		5,000	0
	県費	5,179	4,227	5,179
	市債		0	0
	その他	12,443	5,631	12,443
	一般財源	234,847	238,864	234,847

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	公園遊具の重大事故件数	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0				
	単位：件	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	252,469千円	令和3年度決算額	245,091千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【都市公園等維持管理業務】4ブロック分割 H27～29 計165か所 → H30～R4 計167か所 【公園施設長寿命化更新工事】 R元 つつじが岡公園他 遊具7基 R2 仲町公園外 遊具26基(塗装) R3 三角公園外 遊具26基(塗装) 【公園樹木の取り扱い方針】 H30 公園樹木の取り扱い方針策定 R2 方針に基づく剪定(高根2号公園) R3 方針に基づく剪定(中央公園、松原3号公園) 【クビアカ対策】 H27～被害発生確認。R元:685本 R2:736本 R3:840本 H30年度より伐倒駆除を実施。R元:35本 R2:46本 R3:78本			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	長寿命化計画については、画一的に整備された街区公園遊具の更新計画から、少子高齢化や市民ニーズの多様化に対応した公園に再編する計画に見直すことを見据えて、現計画の国庫交付金による遊具更新ではなく遊具塗装工事を実施して延命を行っている。 また、公園再編については、令和4年度に市民アンケート調査を行うための準備を進めるとともに、より良い公園の維持をしていくため、プロポーザルによる維持管理業務の更新準備を行っている。					
課題	現在の公園施設長寿命化計画は令和4年度が最終年度となっている。補助率の低下により計画どおりに実行されていない。次回の計画では、今後の公園機能の再編等を見据えたうえで、近隣・総合公園の大型施設を中心に長寿命化を図る内容を検討しており、令和4年度中の計画更新を目標として準備を進めている。また、これまで計画に含まれていなかったつつじが岡公園内にあるつつじのまち観光課、スポーツ振興課の管理する施設も含めた内容で長寿命化計画を更新する必要がある。 都市公園等維持管理業務委託の契約期間が令和4年度までとなり、令和5年度以降の維持管理業務委託の契約内容、維持管理施設の見直しは課題である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	公園施設長寿命化計画の更新に基づき、今後10年間における公園施設の保全更新を行っていく。 都市公園等維持管理業務委託の契約更新での契約内容、維持管理施設の見直し維持管理していく。					
令和5年度事業計画	○都市公園等維持管理業務ほか維持管理業務 ○維持管理に伴う樹木管理・施設更新工事 ○クビアカツヤカミキリ被害木対策 樹幹注入(県補)・伐採・更新等工事 ○都市公園施設長寿命化計画による工事等の準備					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	285	重要事業		総合戦略		担当部署	緑のまち推進課 公園管理係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・5・2	ちびっ子広場等維持管理事業			3,718 千円	3,341 千円	3,833 千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶IV_都市と自然が調和し人と産業が躍動する魅力あるまち
施策目的	▶26_花と緑に囲まれ.憩いと安らぎのあふれた.ガーデンシティと言われるまちになる
施策の方向	▶2_公園・緑地の魅力の向上

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ちびっ子広場等について地域住民と共同により、適切な維持管理を行う。
----------------	-----------------------------------

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

	<p>ちびっ子広場等維持管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具維持管理 ちびっ子広場等の専門業者による遊具の保守点検や修繕を行う。 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業 地元がちびっ子広場に施設を設置、維持管理のための補助を行う。 ・ちびっ子広場等の支援 ちびっ子広場の日常管理を行っている、各行政区に対し支援を行う。
--	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	事業スケジュール	ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業 ・ちびっ子広場等協定説明会及び締結	ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業 ・日向町運動広場工作物等撤去	ちびっ子広場等維持管理事業 ・維持管理業務 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業
	事業費	3,833	7,921	5,877
財源	国庫		0	0
	県費		0	0
	市債		0	0
	その他		0	0
	一般財源	3,833	7,921	5,877

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	公園遊具の重大事故件数	0	目標値	0	0	0	0	0
		単位：件	実績値	0				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	3,833 千円	令和3年度決算額	3,728 千円		
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【地元管理広場等箇所数】				
	R元	ちびっ子広場 57箇所	運動広場 12箇所	憩いの広場 8箇所	
	R2	ちびっ子広場 57箇所	運動広場 12箇所	憩いの広場 9箇所	
	R3	ちびっ子広場 45箇所	運動広場 10箇所	憩いの広場 11箇所	
		【遊具点検】	【遊具施設撤去】	【遊具施設改修】	【遊具施設修繕】
	R元	51箇所 122基	7か所 7基撤去 (地元要望)	改修 0件	修繕 1か所1基
R2	51箇所 116基	1か所 1基撤去 (地元要望)	改修 3か所3基	修繕 2か所2基	
R3	51箇所 115基	10か所29基撤去 (地元要望)	改修 0件	修繕 2か所2基	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地元による維持管理の課題の解消に向け現状を確認し、改善策を検討し、市民協働に取り組んでいる。安全な利用のために維持管理を適切にすることが不可欠であり、継続していくもの。
課題	ちびっ子広場や運動広場においては、地元行政区が維持管理を行っているが、少子高齢化により行政区での維持管理が困難な状況になってきており、市が相談を受けて直営剪定・伐採作業をする機会が増えている。また、地域の意識としても、自らが管理する広場という意識が薄れている場合が多いため、改めてちびっこ広場の管理について行政区に理解を求める必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	ちびっ子広場や運動広場においては、地元行政区の協力のもと、維持管理を行ってもらい、行政として支援していく。
令和5年度事業計画	ちびっ子広場等維持管理事業 ・遊具維持管理 ちびっ子広場等の専門業者による遊具の保守点検や修繕を行う。 ・ちびっ子広場等整備維持管理費補助事業 地元がちびっ子広場に施設を設置、維持管理のための補助を行う。 ・ちびっ子広場等の支援 ちびっ子広場の日常管理を行っている、各行政区に対し支援を行う。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	